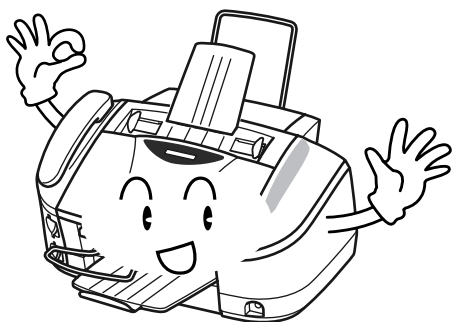
有効にご活用いただくために必ずお読みください。

ファクシミリ 取扱説明書 MFC-7400J

基本の準備と設定だけですぐ使えます。

やりたいこと 目次

やりたいこと別の一覧があります。

※ 11 ページをご覧ください。

MFC-7400J専用　0120-143410

この商品の取り扱い・操作についてご不明な点がございましたら、上記フリーダイヤルにお気軽にお申し付けください。

受付時間　午前10:00～11:45　午後1:00～5:00　　営業日　月曜日～金曜日

（土日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます）

添付ソフトウェア（Presto!™PageManager/MaxReader）お客様窓口

ニューソフトジャパン株式会社　ニューソフトカスタマーサポートセンター

TEL : 03-5472-7008 FAX : 03-5472-7009

受付時間　午前10:00～12:00　午後1:00～5:00　（土日・祝日を除く）

※本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

安全にお使い頂くために

このたびは本機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

記号	意味	記号	意味	記号	意味	記号	意味
	特定しない禁止事項		分解してはいけません		水に濡らしてはいけません		火気に近づけてはいけません
	特定しない義務行為		電源プラグを抜いてください		アースをつないでください		
	特定しない危険通告		感電の危険があります		火災の危険があります		

●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、フリーダイヤル 0120-143410 へお申し付けください。

●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●このファクシミリの設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもとになりますので絶対にお止めください

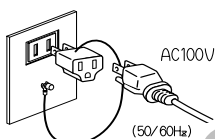
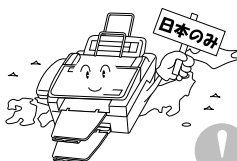
●取扱説明書等、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店へ申し出ていただければ購入できます。

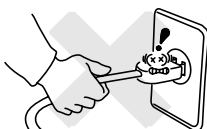
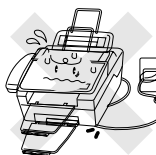
本機をいつも快適な状態で安全にお使いいただけるよう、次の点にご注意ください。
「警告・注意事項」をよくお読みいただき、お守りください。

◆電源について

火災や感電、やけどの原因になります。

警告

電源は AC100V、50Hz または 60Hz でご使用ください。

国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。

ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。

電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグの本体（金属でない部分）を持って抜いてください。

電源コードの上に重い物をのせたり、引っぱったり、たばねたりしないでください。

タコ足配線はしないでください。

感電や火災防止のため、電源コード及び３極-2極変換アダプタ（日本国内でのみ使用可）は、必ず付属のものを使用してください。

感電防止のため必ず保護接地を行ってください。付属の電源コードは、保護接地端子のある３極の電源コンセントに接続するか、付属の３極-2極変換アダプタ（日本国内でのみ使用可）を使用して、電源コンセントの保護接地端子に変換アダプタのアース線を確実に接続してください。

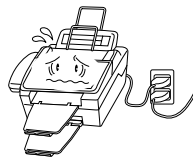
保護接地線のない延長用コードを使用しないでください。保護動作が無効になります。

注意

雷がはげしいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
また、電話機コードを本機から抜いてください。

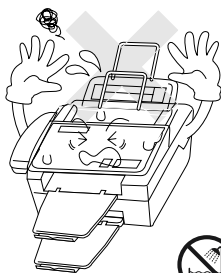
電源コードはコンセントに確実に差し込んでください。

お 願 い

電源コンセントの共用にはご注意ください。
複写機などと同じ電源はさけてください。

◆このような場所に置かないで

以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

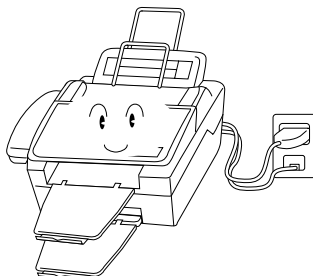
警告

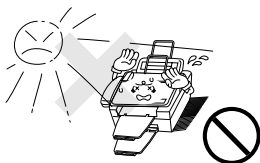
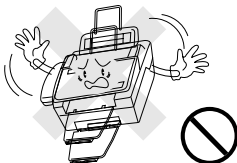
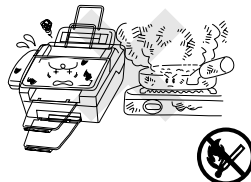
湿度の高い場所
ふろ場や加湿器のそばなど。

アース線を取り付けてください
万一漏電した場合の感電防止や外部からの電圧（雷など）がかかったとき本機を守るため、できるだけアース線を取り付けてください。取り付け方については、9 ページの「本体を接続する」を参照してください。

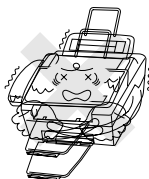
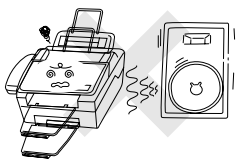
■取り付けられるところ

●電源コンセントのアース端子
●銅片などを 65cm 以上、地中に埋めたもの
●設置工事（第 3 種）がおこなわれている設置端子

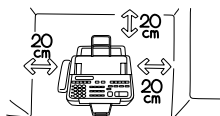
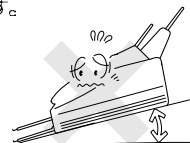
■絶対に取り付けてはいけないところ

●電話専用アース線
●避雷針

注意

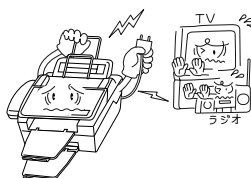
温度の高い場所
直射日光の当たるところ、暖房設備のそばなど

不安定な場所
ぐらついた台の上や傾いたところなど

油飛びや湯気の当たる場所
調理台のそばなど

お願い

いちじるしく低温な場所
製氷倉庫など

磁気の発生する場所
テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど

高温、多湿、低温の場所
本機をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

温度：10～35℃
湿度：20～80%
（結露なし）

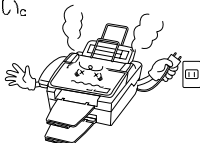
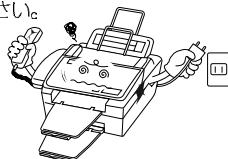
壁のそば
このファクシミリを正しく使用し性能を維持するために設置スペースを確保してください。

傾いたところ
水平な机、台の上に設置してください。傾いたところに置くと正常に動作しない場合があります。

◎急激に温度が変化する場所
◎風が直接あたる場所（クーラー、換気口など）
◎ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
◎換気の悪い場所
◎揮発性可燃物やカーテンに近い場所

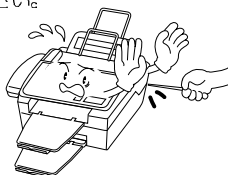
電波障害時の対処
近くに置いたラジオへ雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したり、コードレス電話の子機で通話できなくなる場合があります。その場合は電源コードをコンセントから１度抜いてください。電源コードを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。

・本体をテレビから遠ざける。
・本体またはテレビなどの向きを変える。
・本体をコードレス電話の親機から遠ざける。

◆もしもこんなときには

そのまま使用すると火災、感電の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

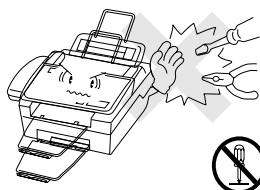
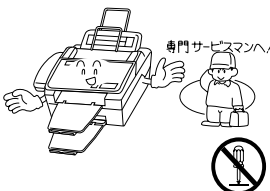
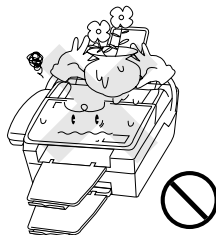
 警告

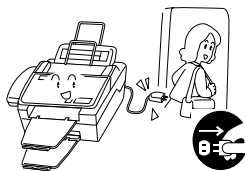
煙が出たり、へんなにおいがしたとき
すぐに電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対にお止めください。

本機を落としたり、キャビネットを破損したとき
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

内部に水が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

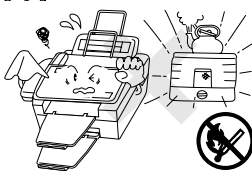
内部に異物が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

◆その他のご注意

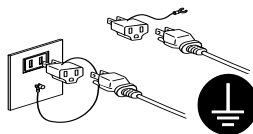
故障や火災、感電の原因となります

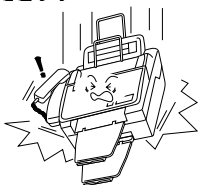
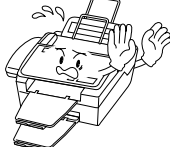
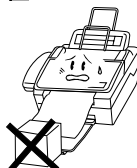
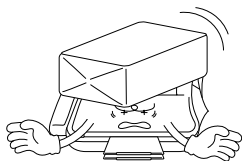
 警告

分解しないでください。
法律で罰せられることがあります。

改造しないでください。
修理などは販売店にご相談ください。法律で罰せられることがあります。

本機の上に水、薬品などを置かないでください。

注意

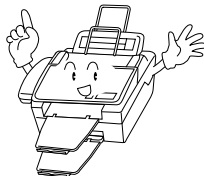
長期不在するときは電源コードをコンセントから抜いてください。

火気を近づけないでください。

故障や火災・感電の原因となります。

アース線について

万一漏電した場合の感電防止や外部から雷などの電圧がかかったときに本機を守るため、アース線を取り付けてください。

お 願 い

落下、衝撃を与えないでください。

動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。

原稿および用紙排出の妨げになりますので本体前方には物を置かないでください。

このファクシミリの上に重い物を置かないでください。

室内温度を急激に変えないでください。

装置内部が結露するおそれがあります。

指定以外の部品は使用しないでください。

本機に貼られているラベル類ははがさないでください。

梱包されている部品は必ず取り付けてください。

海外通信をご利用になるとき

回線の状況により正常な通信ができない場合があります。

NTT の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、最寄りの NTT の支店、営業所へご相談ください。（116 番）

◆停電がおきたときは

お　願　い

停電時にはデータの種類によってただちに消去されるデータがあります。

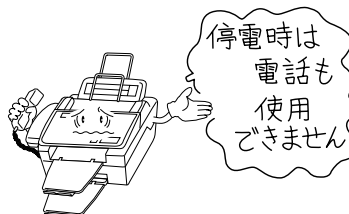
消去されないデータ
- ・ワンタッチダイヤル
- ・短縮ダイヤル
- ・グループダイヤル
- ・各種登録・設定の内容

消去されるデータ
- ・送信メモリー文書
- ・通信管理レポート
- ・受信メモリ文書

無停電復旧時について

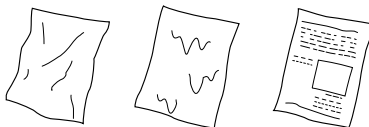
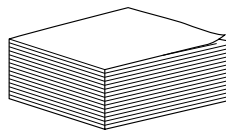
1 時間以上停電が続いた場合は、日付の再設定をしてください。

停電中はファクスの送受信ができません。

外付電話機は機器によって使用できます(外付電話機の取扱説明書をご覧ください)。本機の機能はすべて使用できなくなります。

◆記録紙について

お　願　い

使用する記録紙にはご注意ください

しわ、折れのある紙、湿っている紙などは使用しないでください。

保管は直射日光、高温、高湿を避けてください。

本書の使い方

本書の上手な使い方

このページは本書を有効にご活用いただくためのご案内のページです。実際の操作とは関係ありませんのでご注意ください。

検索が簡単です。

音量を調節する

このページで案内する内容です。

具体的な操作内容です。

キータッチ音量を変える〔キータッチ&ブザー音量〕

ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」とキータッチ音が鳴ります。その音量を変更します。

1. 機能 1 1 4 を押します。
   4. キータッチオンリョウ
2. ◁ ▷ で音量を選択します。*1
   キータッチオンリョウ :ダイ
3. セット を押します。
4. 停止 を押して操作は終了です。

*1 キータッチ音量は、3種類（OFF、ショウ、ダイ）の内から選びます。お買い上げ時は「ショウ」になっています。

● OFF（キータッチ音なし）を選んでも、エラーのときは鳴ります。

実際に操作する内容です。

左側の操作をすると表示されるディスプレイです。

操作に関連する補足説明です。

メモ

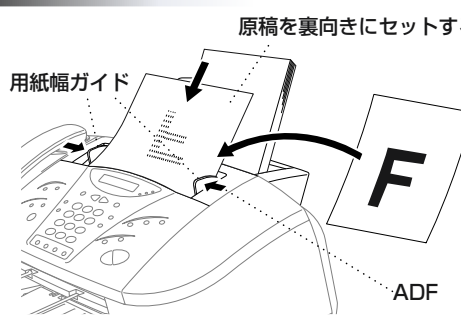
●ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」とキータッチ音が鳴ります。

注意すべき点、制限事項等の情報です。

文中に番号がある項目は番号順に操作してください。

関連する項目への参照ページの案内です。

ご利用になる上で必ず実行して頂きたい項目です。【重要】

コピーをする

1. ADF（自動原稿送り装置）にコピーしたい原稿を〔裏向き〕にセットします。
2. 「モノクロ／カラーコピー」ボタンを押します。
3. 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。
4. 「ダイヤル」ボタンでコピー枚数を設定します。
5. 「モノクロ／カラーコピー」ボタンを押します。
   注）2で押した同じボタンを押す。

●ADFには一度に20枚までセットできます。
●コピーの詳細は下記をご参照ください。

拡大・縮小コピー P. 111
オプションコピー P. 113
単色コピー P. 122

メモ

メモリーフル表示に注意

最初のページで「メモリーフル」が表示されたときは「停止」ボタンを押してください。2枚目以降のときは、コピーボタンを押すか、「停止」ボタンを押して中断することができます。

おぼえておきましょう ●音量の設定は大き…
●一般的に青い色の原稿…

直接操作には関係が少ないが覚えておきたい情報です。

こんな時には…………
★送信できないときは

実際の操作上で起こりうる問題点を解決するヒントです。

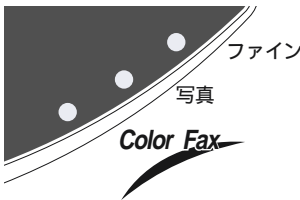
本書の使い方

やりたいこと目次 -1

あなたの「○○したい」から該当ページを参照できます。

ファクス

●簡単に送信したい。（短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、電話帳）P. 43

●複数の相手に同じ文書をまとめて送信したい。（同報送信）P. 61

●きちんと送信できたか確認したい。（通信管理レポート）P. 103

ツウシン カンリ レポート　ジコク：00-05-15-15:25

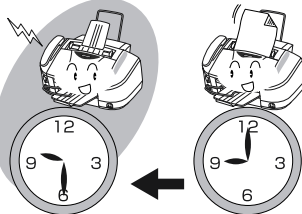
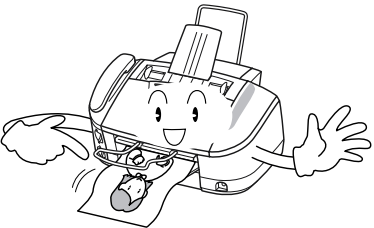
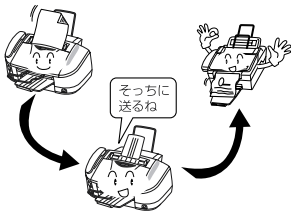
No.	ヒヅケ	ジコク	アイテサキ メイショウ	ツウシン ジカン	ページ	ケッカ	コメント
#01	05-15	12:04	タナカ ヨウコ	24	01	OK	TX ECM
#02	05-15	12:07	イノウエ タツヤ	24	01	OK	TX ECM
#03	05-15	12:26	サカイ ヒデオ	24	01	OK	TX ECM
#04	05-15	12:27	イトウ サトコ	24	01	OK	TX ECM
#05	05-15	12:31	スズキ エイイチ	24	01	OK	TX POL ECM
#06	05-15	13:45	タナカ マコト	27	01	OK	TX ECM
#07	05-15	13:47	カトウ マリコ	25	01	OK	TX ECM
#08	05-15	13:55	タナカ イチロウ	25	01	OK	TX ECM
#09	05-15	14:52	サトウ コウジ	25	01	OK	TX ECM

SO：ソウフショ
ME：デンゴンメッセージ
POL：ポーリング
RET：リトリーバル
TX：ソウシン
RX：ジュシン

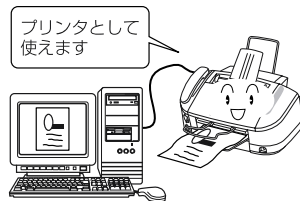
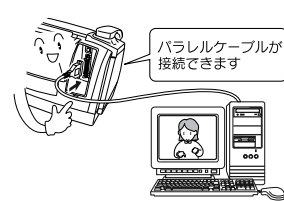
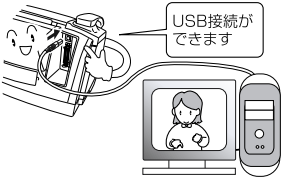
●指定した時刻に送信したい。（タイマー送信）P. 67

●画質を調整したりカラーで送信したい。P. 55

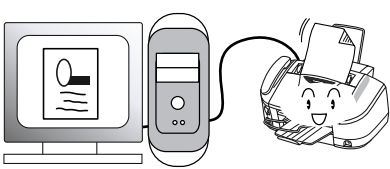
●送付書を付けて送信したい。P. 57

ソウフショ brother
TO:
FROM:
FAX:
TEL:
ページ オクリマス
コメント:

●自動で受信したい。P. 71

●外出先で受信したい。（ファクス転送）P. 91

プリンタ

（プリンタを使用するにはドライバのインストールが必要です。P. 151）

●プリンタとして使いたい。P. 183

●パラレルケーブルを接続したい。P. 155

● USB ケーブルを接続したい。
Windows® の方 P. 155
Macintosh® の方 P. 155

スキャナ

（スキャナを使用するにはドライバのインストールが必要です。P. 151）

●文字や写真をそのまま PC データにしたい。（PC スキャン）P. 201

おぼえておきましょう　●プリンタスキャナとしてご利用になるにはお使いのコンピュータにドライバのインストールが必要です。

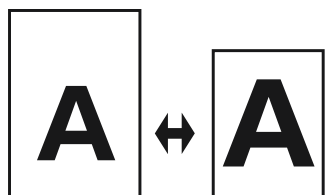
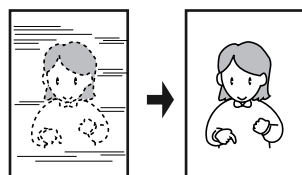
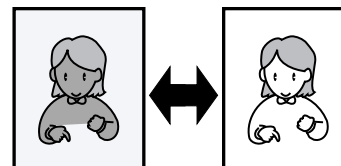
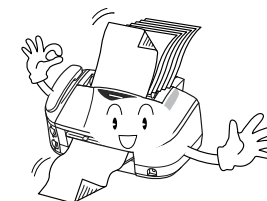
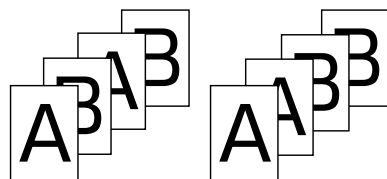
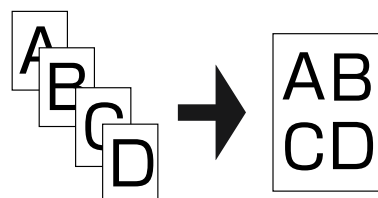
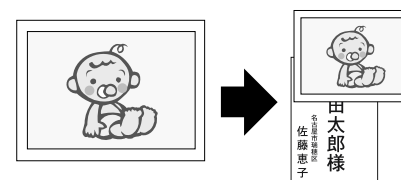
こんなときは……

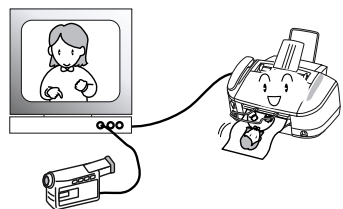
★各機能をご利用になる前に「ご使用前の準備」を必ずお読みください。

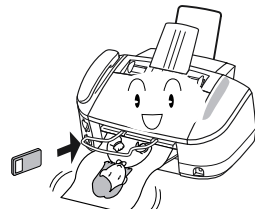
本書の使い方

やりたいこと目次 -2

コピー

●縮小 / 拡大コピーしたい。
P. 111

●画質をきれいにコピーしたい。
P. 111

●画質を明るく（暗く）したい。
P. 115

●たくさんの文書を連続コピーしたい。
（ADF 自動原稿送り装置）P. 109

●効率よく複数部コピーしたい。
ソートコピー P. 109
スタックコピー P. 118

●複数の文書を 1 枚にコピーしたい。
（2in1,4in1）P. 117

●ハガキにコピーしたい。P. 119

ビデオプリント

●ビデオの画像をプリントしたい。
P. 123

フォトキャプチャープリント

●デジタルカメラのメディアカード
からプリントしたい。P. 135

おぼえておきましょう ●コピーが禁止されているものがあります。ご注意ください。P. 107

こんなときは…
★各機能をご利用になる前に「ご使用前の準備」を必ずお読みください。

目　次

序章

1章　操作パネル

2章　ご使用前の準備

3章　使ってみましょう

4章　ご使用前の基本設定

ディスプレイの特徴

音量を調節する

デイスプレイの表示言語を切り替える

5章　ファクス送信

ファクスを送信する

便利にダイヤルする

ファクスを便利に送信する

目　次

8章　レポート・リストについて

9章　コピー

10章　ビデオプリント

11章　フォトメディアキャプチャー

目　次

13章　プリンタとして使う

14章　スキャナとして利用する

15章　メディアドックを使う

目　次

16 章　日常のお手入れ

17 章　困ったときには

各部の名称とはたらき

1. ディスプレイ
月日、時刻、宛先、電話番号、各動作の状態やエラーメッセージを表示します。

2. 再ダイヤル / ポーズボタン
最後にダイヤルした番号を再びダイヤルするときに押します P. 43。

3. カラープリンタ機能
◎リセットボタン
プリンタのメモリーの中のデータをすべて削除したいときに押します。P. 185

◎インクカートリッジボタン
ヘッド・クリーニング P. 225 およびインクカートリッジ交換のときに押します。P. 219

4. コピー機能：
◎カラーコピーボタン
原稿をカラーコピー、またはビデオプリントやフォトメディアキャプチャーをするときに押します。

◎モノクロコピーボタン
原稿をモノクロコピーや単色コピーまたモノクロビデオプリントをするときに押します。

◎オプションボタン
コピー、ビデオプリンタ、フォトメディアキャプチャーの設定を変更するときに押します。

コピー P. 113

ビデオプリント P. 127

フォトメディアキャプチャー P. 143

◎拡大 / 縮小ボタン P. 111
拡大 / 縮小コピーをするときに押します。

◎画質ボタン
コピー P. 111、ビデオプリント P. 125、フォトメディアキャプチャー P. 141 の画質を設定するときに押します。

5. 保留 / オンフックボタン
電話中に保留したいときに押します。
受話器を上げずにダイヤルするときに押します。P. 41

6. ダイヤルボタン
ダイヤルするときや発信元データなどの文字入力をするときに押します。P. 15

7. ワンタッチボタン
あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。
P. 43

8. シフトボタン
ワンタッチダイヤルの５～８を登録またはダイヤルするときにこのボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

9. 電話帳 / 短縮ボタン / キャッチ
ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている電話番号を検索するときに押します。P. 45

あらかじめ登録した短縮ダイヤルをダイヤルするときに押します。P. 44

キャッチホンを受ける時に押します。
P. 74

10. 停止ボタン
ファクス送信または操作を中止する時、機能モードを解除するときに押します。

11. スタートボタン
ファクス送信または受信するときなどに押します。

12. ファクス機能：
◎受信モードボタン
受信モードを変更するときに押します。P. 75

◎画質ボタン
ファクスの画質を設定する原稿に合わせて、解像度を設定するごとに押します。
押すごとに解像度表示ランプが「ファイン」､「写真」､「Color Fax」と点灯します。P. 53

13. カラースキャナ機能：
◎スキャンボタン
パソコンに画像を取り込むときに押します。

◎スキャン OCR ボタン
ボタンを押すと、テキストブリッジソフトが起動し、パソコン上で編集可能なワープロソフトにデータを送ります。

◎スキャン E メールボタン
ボタンを押すと原稿をスキャンし、自動的に E メールの添付ファイルを作成します。

14. ファクス解像度表示ランプ
解像度を表示します。「ファイン」、「写真」、「Color Fax」の３種類があり、点灯によって状態を表示します。P. 53

15. 設定機能：
◎機能ボタン
機能モードに入るときに押します。

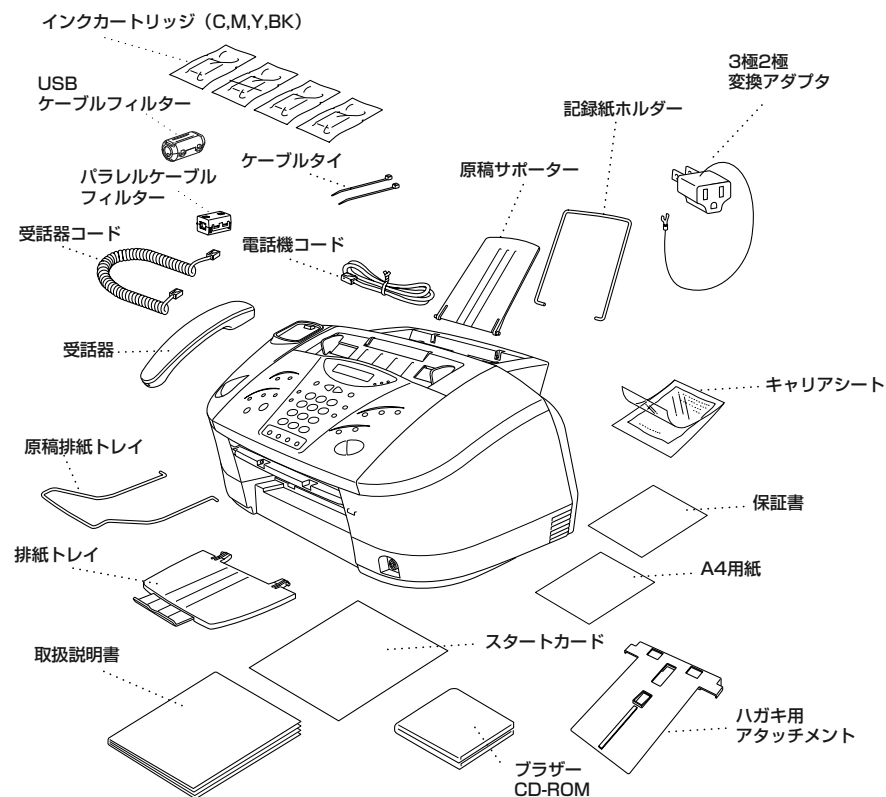
◎矢印ボタン（音量ボタン）
各種登録・設定で選択するときやディスプレイのカーソルを左右に動かすときに押します。
スピーカー音量 P. 35
呼び出しベル音量 P. 37 を調整します。

◎セットボタン
各種機能の設定や各種データの登録のときに押します。

ゆっくり押してください

操作パネルのボタンを押すときはゆっくり操作してください。急いで押すと誤作動の原因になります。

1. 商品を確認する

次の物が揃っているか確かめてください。万一、足りない物があったり、取扱説明書に落丁があったときは、
フリーダイヤル 0120-143410 にご連絡ください。

●付属品リスト

品名	数量
本体	1 台
受話器	1 個
電話機コード	1 本
受話器コード	1 個
インクカートリッジ	1 セット
ケーブルフィルタ	
USB 用	1 個
パラレル用	1 個
ケーブルタイ	2 本
3 極 -2 極 変換アダプタ	1 個
スタートカード	1 部
取扱説明書	1 部
保証書	1 部
A 4 用紙	1 セット
キャリアシート	1 個
ブラザー CD-ROM	1 枚
原稿排紙トレイ	1 個
排紙トレイ	1 個
原稿サポーター	1 個
記録紙ホルダー	1 個
ハガキ用アタッチメント	1 個

メモ

お願い

●この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、フリーダイヤル 0120-143410 までご連絡ください。

●お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

●この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

おぼえておきましょう　●本体を輸送するときは、付属品と本体を同梱し、確実に固定して輸送してください。固定しないで輸送された場合、保証の対象外になることがあります。

2. 記録紙の種類と規格

●記録紙について

プリントの印字品質は用紙によって大きく左右されます。以下の説明をよくお読みになり、目的にあった用紙を選択してください。以下の用紙が使用できます。

本機では下記のサイズの記録紙が使用できますが、受信したファクスはA4サイズでのみプリントできます。

給紙方法	種　類	サイズ
記録紙トレイ	普通紙	A4、レター、リーガル、JIS B5、A5
	OHP用紙	A4、レター
	官製はがき	
	封筒	洋形4号、洋形定形最大
	システム手帳用紙	バイブルサイズ
	OHP用紙	A4、レター

●記録紙の印刷可能範囲について

記録紙にはプリントできない部分があります。
下表はプリントできない部分の数値を表したものです。

単位mm

用紙のタイプ	用紙のサイズ	モード	上端	下端	左端	右端
カット紙	A4	ファクス	3	11	3.4	3.4
		コピー				
		プリンタ			2	4.8
	ｴｸｾﾞｸﾃｨﾌﾞ	プリンタ	3	11	3.4	3.4
オーガナイザー	K,L	プリンタ	3	11	3.4	3.4
ハガキ	官製ハガキ	コピー	3	11	3.4	3.4
		プリンタ				
封筒	洋形定型最大 洋形4号	プリンタ	10	20	3.4	3.4

※プリンタとしてご利用の場合お使いのプリンタドライバによっても変わってきます。

推奨紙
●当社推奨
　ハイクオリティーコート紙
●専用光沢紙（BP-GLA）
　巻末の消耗品オーダーシートにて注文ください。

! 当社推奨紙 BP72CA は“720dpi 専用コート紙”とパッケージに記載されていますが問題なくご使用いただけます。
以下の用紙は使用できません。誤ってご使用になると、故障や紙づまりの原因となります。

- 傷がついていたりカール、シワのある用紙あるいは封筒
- 特別に光沢のある用紙、あるいは封筒
- 留め金の付いた封筒
- すでにレーザープリンタなどで印字された用紙、あるいは封筒
- 内側に印刷がしてある封筒
- 著しく寸法にばらつきのある用紙、あるいは封筒
- 表面が均一でない用紙、あるいは封筒。（エンボス紙等）

●当社のインクジェット用コート紙は本機用に特別に製造されたもので、優秀な印字品質を提供します。

●高品質な印字を要求される場合は、当社推奨品の使用をおすすめします。

●当社推奨のコート紙は片面のみコートしてあります。コート面に印字してください。

●一般的な光沢紙の場合、印字面には直接手をふれないようにしてください。

●記録紙トレイには印字面を上にしてセットしてください。

●特殊な用紙をご使用になる場合は、必ず印字テストを行ってください。

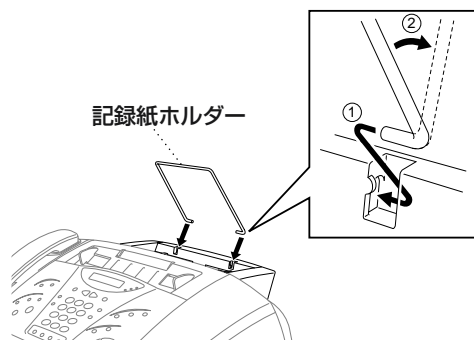
●OHP用紙をご使用になると次に印字される用紙を汚すことがあります。
重ならないように1枚づつ抜きとってください。

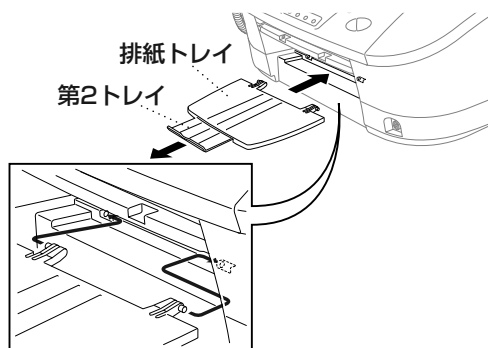
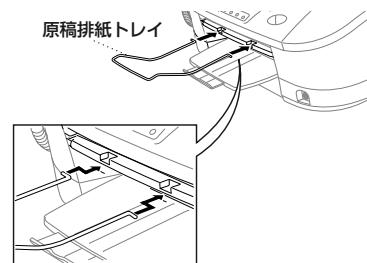
ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語集・索引

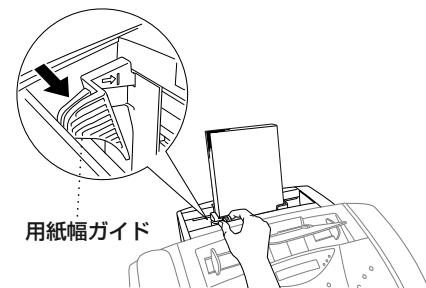
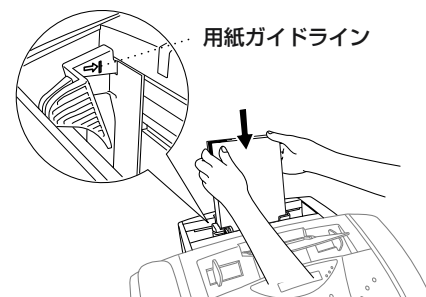
おぼえておきましょう ●インクジェット用紙は表面と裏面があります。
※オーダーシートはプリント出力することもできます。P. 106

こんな時は…
★どんな用紙を使ったら良いのかわからないときは、当社推奨紙をご利用ください。

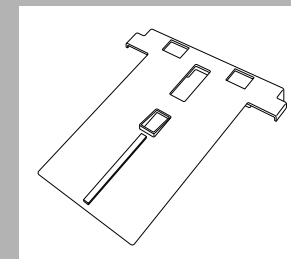
3. 本体を接続する

1. 記録紙ホルダーを右図のように取り付けます。

2. 原稿サポーターを右図のように取り付けます。

3. 排紙トレイを下図のように取り付け第二トレイを引き出します。

4. 原稿排紙トレイを下図のように取り付けます。

5. 記録紙を給紙口へセットします

●よく紙をさばき、印刷面を**表向き**にしてセットします。
●用紙幅ガイドを合わせます。

●使用できる記録紙については P. 5 を参照してください。

●記録紙詰まりを防ぎ、印字品質を保つために必ず本体に付属の排紙トレイを取り付けてください。

●はがきのような厚手の記録紙をセットする場合は付属のはがきアタッチメントを取り付けてください。取り付け方は P. 119 を参照ください。

尚、OHP 用紙または薄手の記録紙をセットする場合、はがき用アタッチメントは取りはずしてください。重送の原因となります。

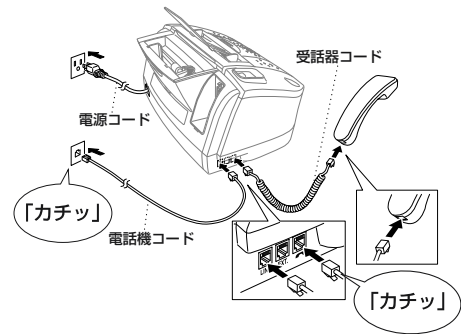
◎**記録紙トレイの容量**
・A4（75g/m² 紙にて）　約 100 枚
・OHP　約 20 枚
・官製はがき　約 30 枚
◎**排紙トレイの容量**
・A4（75g/m² 紙にて）　約 50 枚

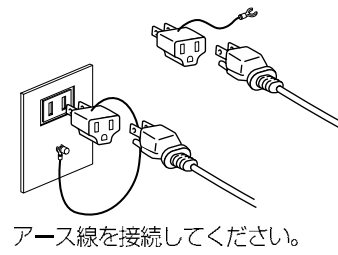
ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語集・索引

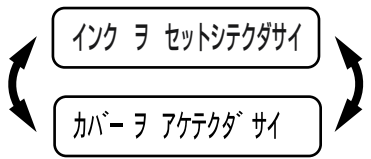
おぼえておきましょう ●磁気を帯びている場所には設置しないでください。（ラジオ、テレビ、こたつなど）雑音や受信障害の原因になります。

3. 本体を接続する（続き）

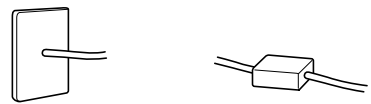
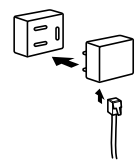
6. 受話器を接続します。
受話器コードを本機へ、もう一方を受話器に接続します。

7. 電話回線を接続します。
付属の電話機コードを本体の回線接続(LINE)端子と電話機コンセントに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

8. 電源コードを接続します。
（本機には電源スイッチがありません）
電源コンセントは、保護接地端子を備えた 3 極コンセントを使用するか、右図のように付属の 3 極-2 極変換アダプタをご使用になり、アース線を接続してから電源コードをコンセントに接続してください。

アース線を接続してください。

9. 電源コードを接続すると「ピピピ」と警告音が鳴り本機が自動的に回線種別設定を行います。P. 11

10. 回線種別設定が終わるとディスプレイに下記の画面が交互に表示されます。

P. 13 「インクカートリッジを取り付ける」を参照し、インクカートリッジを取り付けてください。

電話機コンセントのタイプについて

●直接配線の場合（ローゼット／プレート） 最寄りの NTT 窓口にご相談ください。（局番なしの 116 番）

● 3 ピンプラグ式コンセントの場合
市販のモジュラー付の電話キャップをお買い求めください。

●この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
●「電波障害時の対処」を参照してください。P. ④

4. 回線種別の自動設定

電話回線が接続され、電源が投入されると本機は回線種別の自動設定を行います。
接続されると、ディスプレイに以下のどちらかが表示されます。

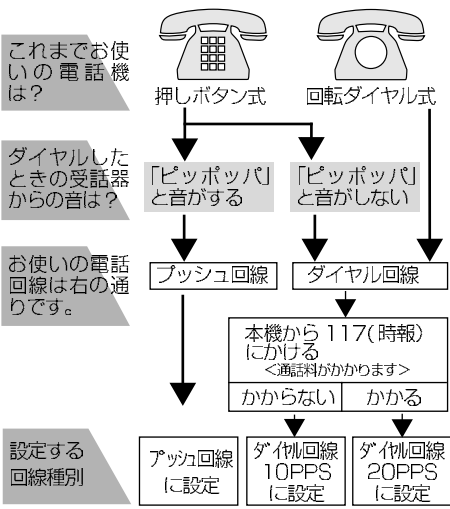
PB　カイセン デス	20PPS カイセン デス
プッシュ回線に設定されたとき	ダイヤル回線（20PPS）に設定されたとき

デンワキ コードヲ
セツゾク シテクダサイ
と表示されたとき

回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、上記のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。正しく接続しないまま5分以上放置すると、回線種別は「PB」に設定されます。

セッテイデ キマセンデ シタ
と表示されたとき

回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、上記のメッセージが表示されたときは、電話回線に何らかの問題があります。自動的に回線種別を設定することができませんので、手動で設定する必要があります。

●ご利用中の電話回線の調べかた
回線の種類は、次の手順で調べることができます。もし、わからないときは、最寄りのNTTの支店・営業所またはNTT窓口（116：無料）にお問い合わせください。

メモ

●電話回線にはプッシュ（PB）回線とダイヤル（10PPSまたは20PPS）回線の2種類があります。本機では、ご利用中の電話回線の種類に合わせて自動的に回線種別を設定することができます。

●構内交換機など一般と異なる回線につないでいるときは、自動設定できないときがあります。

●通話中は自動設定できません。

●いったん自動回線設定をすると電源コードを差し込み直しても、再度自動回線設定は行ないません。設定し直したいときは手動で設定し直してください。

5. 手動で回線種別の設定をする

1. 機能 ア1 ア1 ア1 を押します。
2. ◁ ▷（小 音量 大）で回線種別を選択します。[*1]
3. セット を押します。
4. 停止 を押して操作は終了です。

1.カイセンシュベツ セッテイ
シュベツ：PB
ウケツケマシタ

●何らかの原因で自動で回線種別を設定できなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、左記の手順で利用中の電話回線に合わせて設定します。

*1 回線種別の表示
●プッシュ回線のとき…………………PB
●ダイヤル回線10PPSとき……10PPS
●ダイヤル回線20PPSのとき…20PPS
●自動設定を行うとき……ジドウ セッテイ

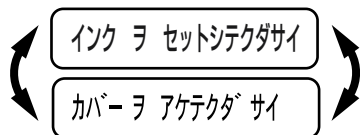
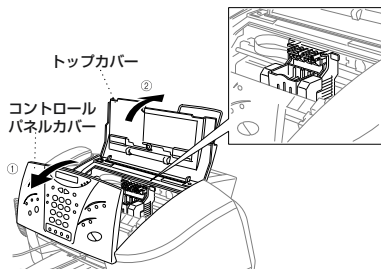
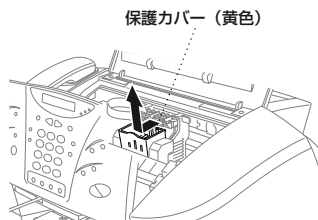
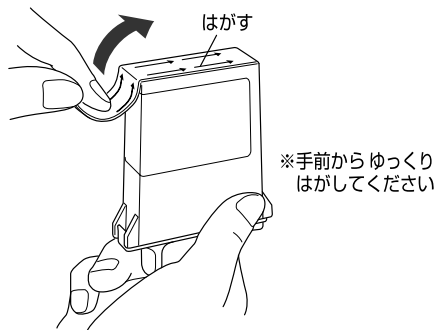
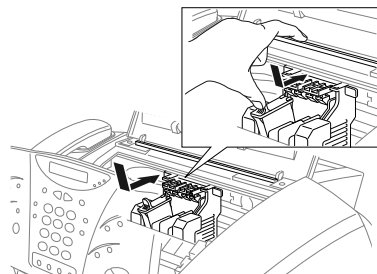
メモ

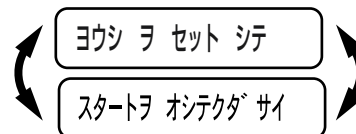
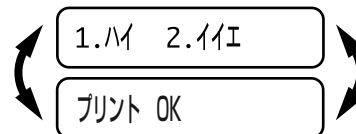
●回線の種類を選ぶときのディスプレイ表示は「←/→」ボタンで下記のように変わります。
10PPS↔20 PPS↔ジドウセッテイ↔PB

●設定を間違えると、間違った相手にかかることや、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。

おぼえておきましょう ●移動の時などコンセントを抜いてしまったときは手動で回線設定をし直す必要がある場合があります。

6. インクカートリッジを取り付ける

1. 自動回線種別設定が終わるとディスプレイに下記のように表示されます。

2. コントロールパネルカバーとトップカバーを下図の手順で開けます。プリンタヘッドが左側のカートリッジ交換位置まで移動します。

3. 輸送用の黄色の保護カバーを手前に引き上に引き抜きます。
取り外した黄色の保護カバーの下は、インクでぬれています。衣類に付くとシミになりますのでご注意ください。

4. 付属のインクカートリッジを袋から取り出します。
カートリッジの底のテープを手前からゆっくりはがしてください。急激にはがすとインクがこぼれるおそれがあります。
はがした部分にさわらないでください。

5. カートリッジホルダーの色に合わせてインクを取り付けます。カートリッジを少し手前側に傾けて入れ、親指でロックする位置までしっかり押し込みます。
必ず４色とも取り付けてください。
黒、イエロー、シアン、マゼンタの順番で取り付けることをおすすめします。

6. インクカートリッジの取り付けが終わったら、コントロールパネルカバーとトップカバーを静かに閉めます。カバーが閉じられると自動的にヘッドクリーニングを行います。（約６分）

7. ヘッドクリーニングが終了するとディスプレイに下記のように表示されます。

8. スタートボタンを押します。
テストプリントが始まります。
プリントが終了すると下記の表示が交互に繰り返されます。

9. プリント結果に問題がなければ 1 を押して手順 10 に進んでください。問題があれば 2 を押してください。2 を押した場合は、各色について下記のように問題がないか確認表示が出ます。

ブラック 1.ハイ 2.イイエ

各色について問題がなければ 1 を、問題があれば 2 を押してください。ディスプレイに「スタートヲ　オシテクダサイ」と表示されますので「スタート」ボタンを押してください。2 度目のテストプリントが始まります。

10. テストプリントに書かれている手順に従って縦罫線を調整してください。P. 187

メモ

- 必要な時以外はインクカートリッジを交換しないでください。インク品質を損なうことがあります。さらに本機がカートリッジのインク残量を把握できなくなります。
- インクカートリッジはふらないでください。テープをはがすときに、インクが漏れる可能性があります。
- もし、間違った色のカートリッジを取り付けてしまった場合は正しい色のカートリッジを取り付けた後に、数回ヘッドクリーニングを行ってください。最初のプリントは色が混ざる場合があります。P. 225
- インクカートリッジは開封後、6ヶ月以内に使い切ってください。また、開封前の物は品質保証期限までにご使用ください。
- インクカートリッジにインクを補充しないでください。インクヘッドに障害を与える可能性があります。また、保証の対象外となります。
- カートリッジを取り付ける前に電源が入っていることと、用紙が給紙口にはいっていることを確認してください。
- 本機は印字品質維持のためにオートクリーニング機構により電源投入中および印刷中に定期的にインクの各色の強制吐出を行い消費します。（モノクロ印刷時においてもカラー各色のインク消費をする場合があります。）

ご注意ください

誤ってインクが目に入ってしまった時は、すぐに水で洗い流してください。もし炎症等の症状が表れた場合は、医師にご相談ください。

おぼえておきましょう ●インクが衣類に付着するとシミになる場合があります。

こんな時は…
★「インクギレ」と表示されたときはカートリッジが正しく取り付けられているか再確認してください。

7. 文字入力をする

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル・電話帳の相手先名称の登録や、発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。入力できる文字は 20 文字までです。

●文字配列

ダイヤルボタンの数字ボタンには、下記の表のように押す回数に応じてカタカナ、アルファベット、数字が割りふられています。また、記号ボタンには各種の記号などが割りふられています。

ダイヤルボタン ＼ 押す回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
ア 1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	1					
カ ABC 2	カ	キ	ク	ケ	コ	A	B	C	2							
サ DEF 3	サ	シ	ス	セ	ソ	D	E	F	3							
タ GHI 4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	G	H	I	4						
ナ JKL 5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	5							
ハ MNO 6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	M	N	O	6							
マ PQRS 7	マ	ミ	ム	メ	モ	P	Q	R	S	7						
ヤ TUV 8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ	T	U	V	8						
ラ WXYZ 9	ラ	リ	ル	レ	ロ	W	X	Y	Z	9						
ワ 0	ワ	ヲ	ン	゛	゜	ー	0									
記号1 * トーン	スペース	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+	,	ー	.	／
記号2 #	:	;	<	=	>	?	@	[	]	^	_					

●基本的な文字入力のしかた

発信元データの発信元名称などの登録を行うときは、右のような手順で入力します。

●例えば発信元データの「ナマエ」の項目に「スズキ　ケイコ」という名前を入力するときは、当ページの「文字配列」を見ながら以下の手順で入力します。

1. （サ DEF 3）を３回押します。　［ナマエ：ス］

同じボタンを使って入力するときは

2. （▷）を押してカーソルを右へ移動します。　［ナマエ：ス_］
3. （サ DEF 3）を３回（ワ 0）を４回押します。　［ナマエ：スズ_］
4. （カ ABC 2）を２回押します。　［ナマエ：スズキ］
5. （記号1 * トーン）を押します。　［ナマエ：スズキ_］
6. （カ ABC 2）を４回、（ア 1）を２回、（カ ABC 2）を５回押します。　［ナマエ：スズキ ケイコ］
7. （セット）を押します。　［ウケツケマシタ］
8. （停止）を押して登録終了。

●文字を間違えて入力したときの修正方法

●矢印ボタンを押して、修正する文字までカーソルを移動し、正しい文字を入力し直します。途中の文字を入力し忘れたときは、文字を挿入できませんので挿入する箇所までカーソルを移動し、正しい文字を上書きしてください。

●文字と文字の間に空白をあけるときは、「*」を１回押すか、「→」ボタンを２回押します。
●同じダイヤルボタンを使って入力する文字が続くときは、「→」ボタンを押してカーソルを移動させて、文字を入力します。
移動させないと文字が上書きされてしまいます。

おぼえておきましょう　●文字の入力は 20 字まで入力できます。

8. 日付・時刻を合わせる〔時計セット〕

1. 機能 ア1 ア1 カABC2 と押します。
2. 年号(西暦下2桁)を入力してセットを押します。*1
3. 月を入力してセットを押します。
4. 日付を入力してセットを押します。
5. 時刻（24時間制）*2を入力してセットを押します。
6. 停止 を押して登録終了。

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻はディスプレイに表示され、同時に、ファクス送信したとき相手側の記録紙に印字されます。

*1. 年号は西暦の下2桁を入力します。
【例】2001年は「01」

*2. 時刻は24時間制で入力します。
【例】午後3時25分は「15:25」

●ディスプレイは下記のように日付と時刻と受信モードを表示します。

05/15　15:25　FAX
5月15日　午後3時25分　受信モード

●数字を入れ間違えたときは、「停止」ボタンを押して最初から入力し直してください。

9. 名前と電話番号を登録する〔発信元登録〕

1. 機能 ア1 ア1 サDEF3 と押します。
2. ファクス番号を入力してセットを押します。
3. 電話番号を入力してセットを押します。
4. 名前を入力してセットを押します。*3
5. 停止 を押して登録終了。

ファクスを送信したとき、お客さまの名前と電話番号が相手側の記録紙にプリントされます。

●発信元登録の消去のしかた

1.「機能」ボタンを押し、ダイヤルボタン①①③を押します。
2. ダイヤルボタン①を押して「ヘンコウ　1.スル」を選びます。
3.「停止」ボタンを押して、登録内容を消去します。
4.「セット」ボタンを押します。

メモ

●ファクス番号･電話番号は20桁まで登録できます。ファクス番号・電話番号には数字しか入力できません。

●入力した名前や番号を消すときは、カーソルを番号や名前の一番はじめまで「←/→」ボタンを使って移動させ、「停止」ボタンを押すと、あらかじめ入力してあった名前や番号を消すことができます。

●数字を入れ間違えたときは、「←/→」ボタンを押して修正する文字までカーソルを移動し、正しい文字を上から入力し直します(上書き)。
挿入はできませんので、途中の数字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動し、それ以降の数字も入力し直してください。

●発信元データ(ファクス番号、電話番号、名前)を登録しないと、送付書 P. 57 を送信することはできません。

*3 文字の入力のしかたは P. 15 をご参照ください。

表示時刻について

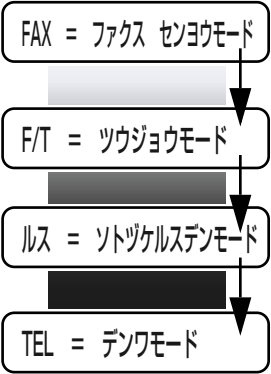
長期間電源を切ったままにして、時刻が合っていないときは、もう1度現在の日付と時刻に合わせてください。
時刻はあくまで目安ですので、気になるときは 1ヶ月おきに合わせてください。

10. 受信モードを選ぶ

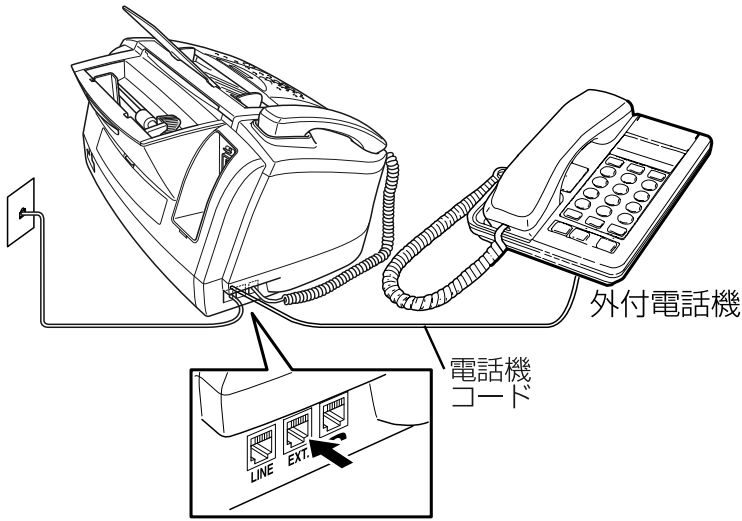
本機の使用用途に応じて、受信モードを FAX 専用モード、通常モード、外付留守電モード、電話モードの中から選びます。
選択した受信モードは、日付：時刻とともにディスプレイに表示されます。お買い上げ時は「FAX 専用モード」に設定してあります。

受信モード	本機の使用目的	受信モード表示
FAX専用モード	ファクスとして使いたい。 （ファクスを自動で受ける）	FAX
通常モード	主として電話を受けたい。 ファクスも自動で受けたい。	F/T
外付け留守電モード	ファクスを自動で受けたい、 外付の留守番電話機でメッセージを受けたい。	ルス
電話モード	同じ電話回線でコンピュータモデムを使いたい、または主に受話器を使い自分で電話とファクスを切り替える。 （ファクスを手動で受ける）	TEL

1. 受信モード を押してモードを選択します。

2. 停止 を押して操作は終了です。

●受信モードについての詳細は、P. 75 をご参照ください。

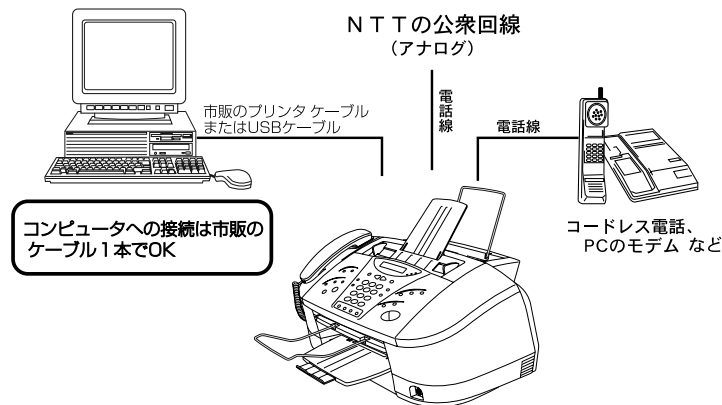
11. 外付け電話機を接続する

外付電話機のラインコードを本体の外付電話 (EXT.) 端子に接続します。外付電話機は 1 台まで接続できます。

●お使いの電話回線に、すでに何台かの電話機が接続されている場合 (親子電話・ホームテレホン・ビジネスホンなど) は、本機あるいは外付電話機がご使用になれない場合があります。この場合配線工事が必要で、工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、親子電話・ホームテレホン・ビジネスホンの取付工事を行った販売店か、最寄りの NTT 窓口 (116 番) にご相談ください。

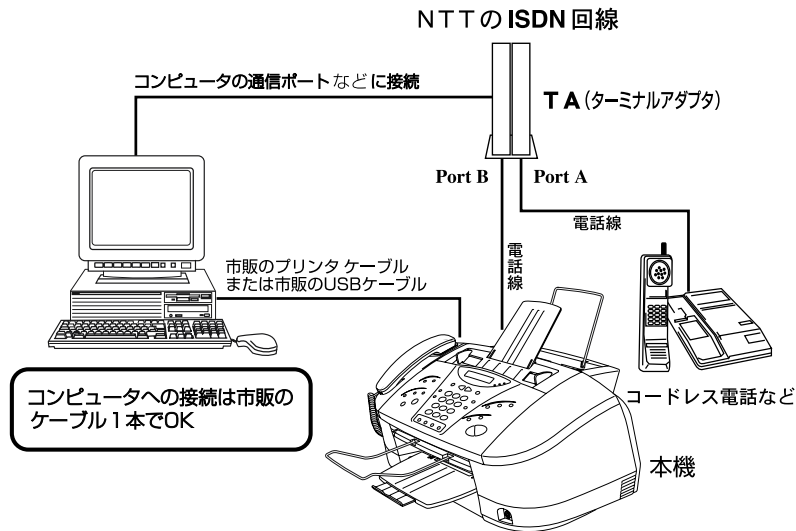
●ナンバーディスプレイ対応の電話機を外付電話機として接続する場合は着信ベル回数を長めに設定してください。P. 77
電話を受けるときは外付電話機が鳴り出してから電話に出てください。

本機の接続イメージ

■本機ではいろいろな接続の方法があります。以下は代表的な例です。

◆公衆回線に接続する場合（最も代表的な方法です。）

◆ ISDN 回線に接続する場合

2 回線分の使用が可能ですから、ファクス送受信中でも、通話が可能です。

おぼえておきましょう ● ISDN 回線はコンピュータを接続される場合に特にお奨めです。

各種接続を正常に動作させるためには正しい設定が必要です。

本書をよくお読みになり、正しく接続、設定してください。

コンピュータと接続する。........ P. 151

パラレル接続

Windows®95/98/98SE/Me/
2000Professional/NT®4.0........ P. 155

USB 接続

Macintosh®G3/G4/iMac™/iBook
(Mac OS 8.5/8.51/8.6/9.0/9.0.4)........ P. 155
Windows®98/98SE/Me/
2000Professional/NT®4.0........ P. 155

外付電話機を接続する。........ P. 20

●本機を ISDN 回線の TA に接続する場合、次のことを確認してください。
FAX 本機側：
回線種別を「PB」に設定してください。お買い上げ時の設定は、「PB」になっています。
TA 側：
本機を接続して電話がかけられること、また電話が受けられることを確認してください。万一、本機が使えないときは、TA の設定を確認してください。TA の設定について詳しくは、TA の取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせください。

●電話回線の設定の詳細については P. 11 をご参照ください。

ISDN 回線のお客様

ターミナルアダプタ、およびダイヤルアップルーターに接続してからのご利用になります。詳しくは機器をお求めの販売店にご相談ください。

●電話番号 1 つの場合

Port A/B 両方の端末が着信ベルを鳴らしますが、電話でファクスを受けてしまった場合は、Port A から B へ転送できます。

●電話番号 2 つの場合

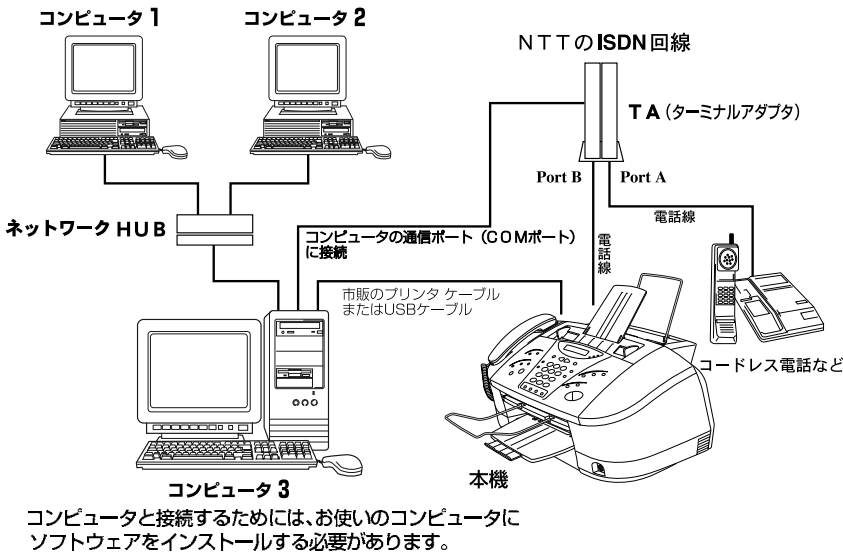
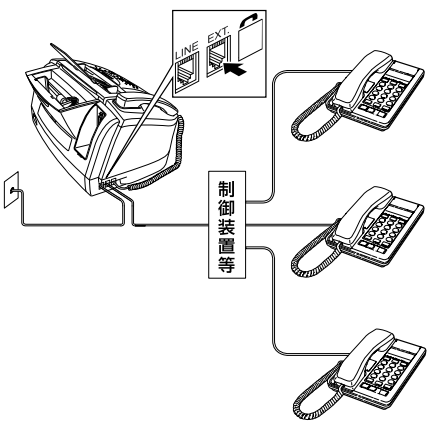
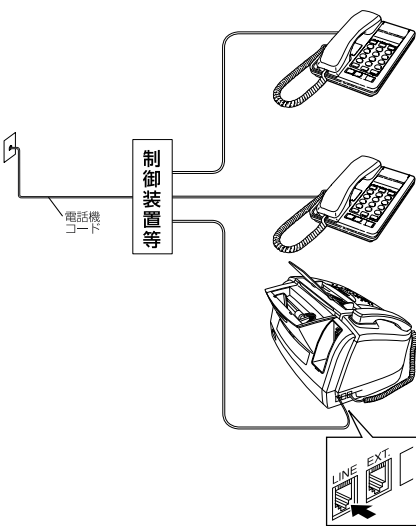
（ダイヤルインサービスまたは i- ナンバーサービス加入時）
TA 側で TA の各アナログポートの着信電話番号を設定すると、鳴り分けすることができます。

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスする / コピーする / ビデオプリントする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こんなときには / 用語集・索引

本機の接続イメージ

◆プリンタを共有する場合

ネットワークプリンタとして使用することができます。

コンピュータと接続するためには、お使いのコンピュータにソフトウェアをインストールする必要があります。

◆親子電話、ホームテレホン、ビジネスホンに接続する場合

◆内線電話として接続する場合

回線数が１つの場合の例です。

●プリンタ共有について　(Port Monitor)

コンピュータ１および２から、本機が接続されているコンピュータ３を経由して、プリントアウトすることができます。コンピュータ３でプリンタ共有に設定してください。

●内線電話として接続する場合

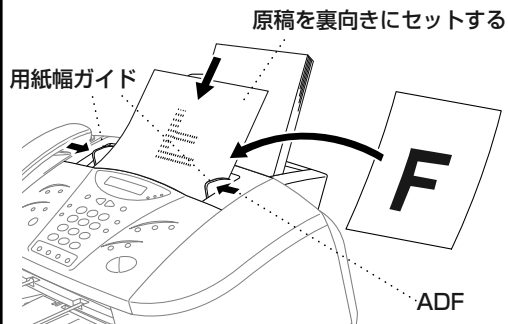
構内交換機またはビジネスホンを使用しているところに本機を内線接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定を２芯用に変更してください。

設定変更を行いませんと、本機をお使いいただくことはできません。詳しくは、内線工事を行った販売店にご相談ください。

おぼえておきましょう　●間違った接続は他の機器に影響を与える場合があります。

こんな時は…………

★お使いのコンピュータがネットワーク接続されている場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

ファクスを送信する

1. ADF（自動原稿送り装置）にファクスしたい原稿を先端を揃えて〔裏向き〕にセットします。
2. 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。
3. 送信先をダイヤルし、「スタート」ボタンを押します。

●ADF には一度に20枚までセットできます。
●ファクス送信の詳細は下記をご参照ください。

ダイヤルのしかた .... P. 43
カラーファクスをする.............. P. 55
送付書を付ける .... P. 57
同じ原稿を一度に送信する...... P. 61
指定時刻に送信する .... P. 67

メモ

●解像度の変更は P. 53 をご参照ください。

●送信できる用紙については P. 39 をご参照ください。

ファクスを受信する（自動受信時）

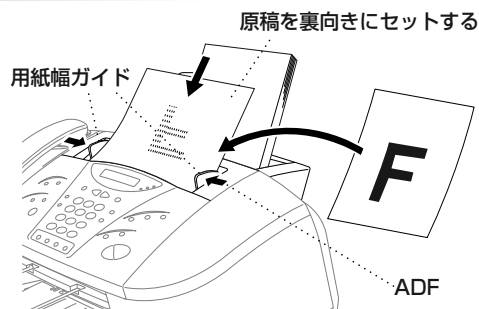
何も操作は必要ありません。
本機はお買い上げ時に自動受信に設定されています。

本機は ADF（原稿自動送り装置）に原稿がないとき、送受信、またはプリント実行時にも、次のファクス原稿の読み込みおよび、一時設定が可能です。

●ファクス受信の詳細は下記をご参照ください。

受信モードを選択する.............. P. 75
親切受信する .... P. 79
リモート起動をする .... P. 81
ポーリング受信する .... P. 89
メモリー受信する .... P. 93

メモ

●デュアルアクセス機能を搭載しています。詳細は P. 41 を参照してください。

コピーをする

1. ADF（自動原稿送り装置）にコピーしたい原稿を〔裏向き〕にセットします。
2. 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。
3. 「モノクロ / カラーコピー」ボタンを押します。
4. 「ダイヤル」ボタンでコピー枚数を設定します。
5. 「モノクロ / カラーコピー」ボタンを押します。
   注）3 で押した同じボタンを押す。

●ADFには一度に20枚までセットできます。
●コピーの詳細は下記をご参照ください。

拡大・縮小コピーをする.......... P. 111
画質を選択する .... P. 111
オプションコピーをする.......... P. 113
（ソート、2in1、4in1）
ハガキへコピーする .... P. 119
コピーする用紙を選択する .... P. 121
単色コピーをする .... P. 122

メモ

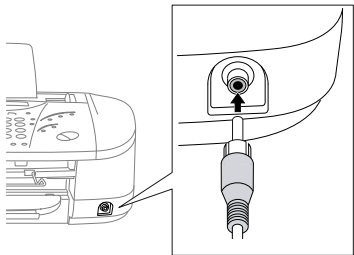
●一度にコピーできるのは 99 枚までです。100 枚以上コピーする場合は再度設定してください。

メモリーフル表示に注意

最初のページで「ﾒﾓﾘｰﾌﾙ」が表示されたときは「停止」ﾎﾞﾀﾝを押してください。2 枚目以降のときは、ｺﾋﾟｰﾎﾞﾀﾝを押すか、「停止」ﾎﾞﾀﾝを押して中断することができます。

おぼえておきましょう ●コピーは法律で禁止されている物があります。ご注意ください。

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / コピーをする / ビデオプリントする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こんなときには / 用語集・索引

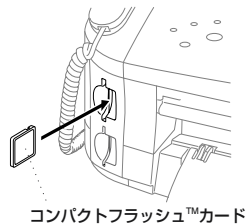
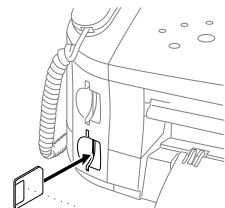
ビデオからプリントする

1. ADF（自動原稿送り装置）に原稿が残っていないことを確認し、本機とビデオ、テレビゲームなどからの映像出力を接続します。
2. ビデオを再生します。
3. ディスプレイに「ビデオ：コピーキーヲ　オス」と表示されます。
4. プリントしたい場面で「カラーコピー/モノクロコピー」ボタンを押します。
5. 「ダイヤル」ボタンで枚数を設定し、再度「カラーコピー/モノクロコピー」ボタンを押します。

●ビデオプリントの詳細は下記をご参照ください。

ビデオプリント機能	P. 123
印刷画質を設定する	P. 125
用紙を選択する	P. 129
画質のタイプを選択する	P. 129
プリントサイズを選択する	P. 131

メモ

- NTSC方式の映像信号を認識してプリントします。
- 動画・静止画どちらもプリントできます。

フォトメディアキャプチャーをつかう

コンパクトフラッシュ™カード

スマートメディア™カード

< DPOF方式以外のカードの場合>

1. コンパクトフラッシュカードかスマートメディアカードをおのおののスロットへ差し込みます。
2. ディスプレイに「カラーコピーキー　ヲ　オス」と表示されたら「カラーコピー」ボタンを押します。
3. ディスプレイに「1 インデックス、2 シャシン」と表示されます。インデックスをプリントする場合は、1 を押すとインデックスプリントが始まります。
写真をプリントする場合は、2を押します。「IMG:　」と表示されますのでプリントしたい画像の番号を入力し、「ｶﾗｰｺﾋﾟｰ」ボタンを押します。
4. 再度「カラーコピー」ボタンを押します。
5. 枚数を入力し、もう一度「カラーコピー」ボタンを押します。

< DPOF方式のカードの場合>

P. 137 を参照してください。

●フォトメディアキャプチャーの詳細は下記をご参照ください。

フォトメディアキャプチャー機能	P. 135
DPOFとは	P. 135
画質を選択する	P. 141
用紙を選択する	P. 145
プリントサイズを選択する	P. 145

メモ

- ランプ点滅はデータ転送中です。電源を切ったり、カードを抜かないでください。
- デジタルカメラなどで使用されるスマートメディア™カードとコンパクトフラッシュ™カードから、コンピュータを介さずにデータをプリントできます。
- DPOFに対応しています。

ADFの用紙に注意

ADFに用紙があると、コピーモードが優先され、フォトメディアキャプチャーがご使用になれません。

プリンタとして使う

※この機能をご利用になるには本機とコンピュータを接続し、適切なソフトウェアがインストールされていることが必要です。

●プリンタ機能の詳細は下記をご参照ください。

コンピュータと接続し、ドライバをインストールする。	P. 151
プリンタとして使う	P. 183

スキャナとして使う

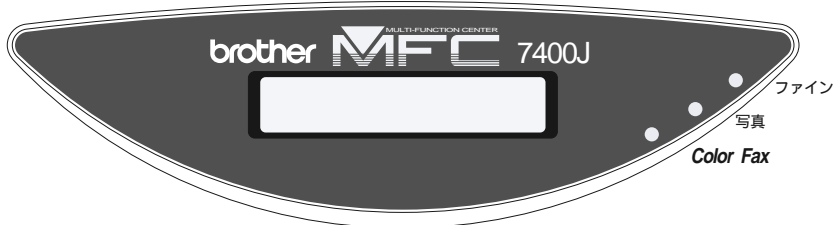
※この機能をご利用になるには本機とコンピュータを接続し、適切なソフトウェアがインストールされていることが必要です。

●スキャナ機能の詳細は下記をご参照ください。

コンピュータと接続し、ドライバをインストールする。	P. 151
スキャナとして使う	P. 201

ディスプレイの特徴

ディスプレイついて

本機はお客様が使いやすいよう、ディスプレイをみるだけで次に何をすれば良いかわかるようになっています。

●ディスプレイのスクロール

（機能）を押して（1）から（5）のどれかを選択すると、次々に設定することができる各機能がディスプレイに表れてきます。

（1）を押すと
ファクス機能の設定ができます。
P. 31 をご覧ください。

（2）を押すと
プリンタ機能の設定ができます。
P. 33 をご覧ください。

（3）を押すと
コピー機能の設定ができます。
P. 33 をご覧ください。

（4）を押すと
ビデオプリント機能の設定ができます。
P. 33 をご覧ください。

（5）を押すと
フォトメディアキャプチャー機能の設定ができます。
P. 34 をご覧ください。

メモ

●ディスプレイは２秒たつと順次、表示が変わりますが、かまわずに自分の行いたい設定の番号を押してください。
●機能設定を途中で終了するときは、「停止」ボタンを押してください。

登録・設定の基本操作

本機の登録・設定をするためには次の３通りの方法があります。

★（機能）を押し（1）から（5）のどれかを押します。

設定したい機能が表示されたら（セット）を押します。

★（機能）を押し（1）から（5）のどれかを押し（◁ 小 音量 ▷ 大）で

設定したい項目を表示させ（セット）を押します。

★（機能）を押して、ダイヤルボタンで直接設定したい機能の番号を入力して設定する。

P. 31 の MFC-7400J の登録設定リストをご覧ください。

おぼえておきましょう ●登録の基本操作を覚えましょう。設定は繰り返し必要になります。

こんな時は……

★どの機能を使えばいいかわからないときは P. 31 を参考にしてください。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語集・索引

MFC-7400J の登録・設定

本機は機能ボタンと設定したい機能の番号を入力するだけで各種の設定ができます。

1. ファクス機能

	機能レベル1		機能レベル2	設定内容	初期設定	参照ページ
1	初期登録	1	回線種別設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	「ジドウ」→PB	11
		2	時計セット	ディスプレイに表示される現在の日付・時刻と、ファクスに記される日付・時刻を設定します。	(2000)01/01 00:00	17
		3	発信元登録	ファクスにプリントされる発信元の名前、ファクス番号、電話番号を設定します。	−	17
		4	キータッチ音量	パネルキーにタッチしたときの音量を設定します。	「ショウ」	35
		5	表示言語 (LCD LANGUAGE)	ディスプレイに表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.	「ニホンゴ」	37
2	受信設定	1	着信ベル回数	「FAX 専用モード」または「通常モード」のとき、自動受信するまでのベル回数を設定します。	「04」	77
		2	呼び出しベル回数	「通常モード」で着信ベル回数を0〜10回のいずれかに設定しているとき、着信ベルが鳴り終わった後、電話の場合、着信ベルとは違う鳴りかたでさらにベルが鳴ります。このときの呼び出しベルの回数を設定します。	「10」	77
		3	親切受信	本機がファクスを自動受信する前に外付電話をとってしまった場合でも、スタートキーを押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	「OFF」	79
		4	リモート番号	外付電話機からファクシミリの受信動作するコードの設定をします。	「OFF」 (#51、＊51)	81
		5	自動縮小	A4 サイズ以上の長さの原稿が送られて来たときに自動的に縮小する / しないを設定します。	「ON」	83
		6	ポーリング受信	ポーリング受信でファクスを受信するときの設定をします。	「ヒョウジュン」	89
3	送信設定	1	送付書	送付書を付加する/しないを設定します。	「OFF」	57
		2	送付書コメント	送付書のコメントを作成、登録します。	−	59
		3	原稿濃度	原稿に合わせて濃度を設定します。	「フツウ」	55

機能レベル1		機能レベル2		設定内容	初期設定	参照ページ
		4	画質モード	ページごとに解像度を設定します。	「ヒョウジュン」	53
		5	海外送信モード	海外送信を行うときに設定します。	「OFF」	65
		6	電話予約	ファクス送信後に相手と通話したいとき、設定します。	「OFF」	63
		7	タイマー送信	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	–	67
		8	ポーリング送信	ポーリング通信でファクスを送信するときの設定をします。	「ヒョウジュン」	85
		9	リアルタイム送信	メモリーを使わずにリアルタイムでファクスを送信するときに設定します。	「OFF」	65
		0	取りまとめ送信	同一の相手先ごとに一括してタイマー送信を行うときに設定します。	「OFF」	69
4	通信待ち確認			メモリー送信の待ち状況を確認し、メモリー送信、タイマー送信のジョブ解除をします。	–	69
5	ダイヤル登録	1	ワンタッチダイヤル	ワンタッチキー１ ～８ に送信先番号、名称を登録します。	–	47
		2	短縮ダイヤル	2 桁の短縮番号 01 ～ 00 に、名称を登録します。（“00” は 100 のことです。）	–	49
		3	グループダイヤル	ワンタッチキー１ ～ 8 にワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルを組み合わせたグループダイヤルを登録します。	–	51
6	リストプリント	1	送信レポート	ファクス送信後に送信レポートをプリントするかしないかを設定します。	「OFF +イメージ」	101
		2	通信管理レポート（プリントリスト）	送受信した最新の合計50通分の通信結果をプリントします。	–	103
			（出力間隔）	通信管理レポートの出力間隔を設定します。	「OFF」	103
		3	ダイヤルリスト	ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤルに登録された内容をプリントします。	–	105
		4	電話帳リスト	ダイヤルリストを50音順にプリントします。	–	105
		5	機能案内リスト	簡単操作のリストをプリントします。	–	105
		6	設定内容リスト	各機能に登録・設定されている内容を確認するときにプリントします。	–	106
		7	メモリー使用状況リスト	使用されているメモリー量などメモリーの使用状況をプリントします。	–	106
		8	消耗品シート	インクカートリッジなどの消耗品をファクスでご注文いただくときのオーダーシートをプリントします。	–	106

	機能レベル 1		機能レベル 2	設定内容	初期設定	参照ページ
7	応用機能	1	転送	メッセージを受信したとき、「電話呼出」や「ファクス転送」をするための設定をします。	「OFF」	91
		2	メモリー受信	受信したファクスをメモリーに蓄積する / しないを設定します。(ファクス転送、リモコンアクセスをするときに「ON 」に設定します。)	「OFF」	93
		3	暗証番号	外出先から本機をリモートコントロールするときの設定をします。	159 ＊	99
		4	ファクス出力	メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスをプリントアウトします。	ー	99

2. プリンタ機能

	機能レベル 1	機能レベル 2	設定内容	初期設定	参照ページ
1	テスト プリント		プリント品質に満足しないときに、これらの機能を使って調整します。	ー	187
2	縦罫線調整			ー	187
3	双方向印字			「ON」	187

3. コピー機能

	機能レベル 1	機能レベル 2	設定内容	初期設定	参照ページ
1	用紙タイプ		記録紙のタイプを設定します。	「フツウシ」	121
2	画質		コピー画質を設定します。	「ヒョウジュン」	121
3	カラー調整		赤 / 緑 / 青各色のバランスを調整します。	中間	122
4	コントラスト		コントラストを調整します。	中間	122
5	単色印字		モノクロコピー時に、単色(黒以外)でのコピーを設定します。	「OFF」	122

4. ビデオプリント機能

	機能レベル 1	機能レベル 2	設定内容	初期設定	参照ページ
1	用紙タイプ		記録紙のタイプを設定します。	「フツウシ」	133
2	画質		画質を「ヒョウジュン」「コウガシツ」から選択します。	「ヒョウジュン」	133
3	画像タイプ		動画 / 静止画を設定します。	「ドウガ」	133
4	プリントサイズ		プリントサイズを設定します。	「10 × 7.6」	134
5	カラー調整		赤 / 緑 / 青の各色のバランスを調整します。	中間	134
6	コントラスト		コントラストを調整します。	中間	134

5. フォトメディアキャプチャー機能

	機能レベル1	機能レベル2	設定内容	初期設定	参照ページ
1	用紙タイプ		記録紙のタイプを設定します。	「フツウシ」	147
2	画質		画質を「ヒョウジュン」「コウガシツ」「シャシン」から選択します。	「コウガシツ」	147
3	明るさ		明るさを設定します。	中間	147
4	コントラスト		コントラストを調整します。	中間	148
5	カラー調整		赤/緑/青の各色のバランスを調整します。	中間	148
6	画質強調		「ホワイトバランス」、「シャープネス」、「カラーノウド」の調整をします。	中間	149

音量を調節する -1

キータッチ音量を変える〔キータッチ&ブザー音量〕

ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」とキータッチ音が鳴ります。また、間違った操作をしたときや、紙づまりなどファクシミリに異常が起きたときやファクス送受信終了時に「ピー」というブザー音が鳴ります。その音量を変更します。

1. を押します。
2. ◁ ▷（小 音量 大）で音量を選択します。*1
3. （セット）を押します。
4. （停止）を押して操作は終了です。

4.キータッチオンリョウ

キータッチオンリョウ :ダイ

ウケツケマシタ

*1 キータッチ音量は、3種類（OFF、ショウ、ダイ）の内から選びます。お買い上げ時は「ショウ」になっています。

● OFF（キータッチ音なし）を選んでも、エラーのときは鳴ります。

スピーカー音量を調節する

スピーカーから聞こえる音の大きさを調整します。

1. オンフックボタンを押し、スピーカーから「ツー」音が聞こえている時に調整します。
2. ◁ ▷（小 音量 大）で音量を調整します。
3. オンフックボタンを押すと終了します。

●スピーカー音量は、OFF/3段階です。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語集・索引

音量を調節する -2

呼び出しベル音量を調節する

着信時の呼び出しベルの音量を調節します。

1. で音量を選択します。

2. ◁ ▷（小 音量 大）を押すごとに音が鳴り、現在の設定音量を確認できます。
次に設定するまでこの設定は保持されます。

●原稿がセットされていなくて電話をかけていないとき、呼び出し音量の変更が可能です。

●ベル音量は OFF/3 段階です。

ベル音量を鳴らないよう（OFF）に設定しても、電話呼出ベル、電話予約のベルは最小で鳴ります。

電話呼出 P. 77 参照
電話予約 P. 63 参照

ディスプレイの表示言語を切り替える

英語・日本語を切り替える

本機は、ディスプレイに表示される言語を英語に切り換えることができます。

1. 機能 1 1 5 を押します。

5：ヒョウジ ゲンゴ

2. ◁ ▷（小 音量 大）で言語を選択します。*1

コトバ：ニホンゴ

3. セット を押します。

ウケツケマシタ

4. 停止 を押して操作は終了です。

*1「ニホンゴ」か「エイゴ」を選ぶことができます

This settinig allows you to change LCD language to English.

1.Press 「機能」「①」「①」「⑤」.

2.Press ◁ ▷ to select 「コトバ：エイゴ」and press「セット」.

3.Press 「停止」to exit.

メモ

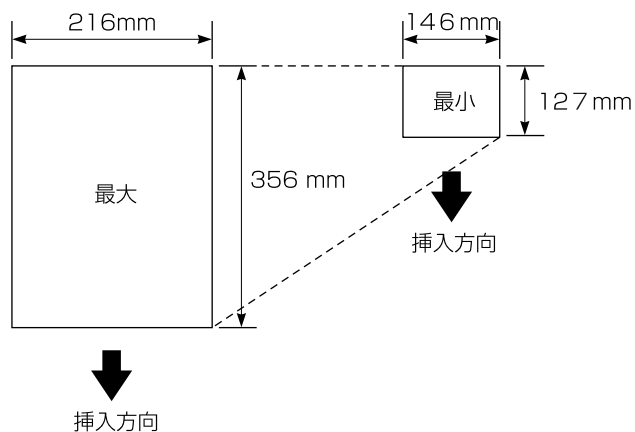
●英語版 OS 用ドライバのインストール方法については、付属 CD-ROM の English フォルダ内の「README.PDF」をご参照ください。

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / コピーをする / ビデオプリントする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こんなときには / 用語集・索引

ファクスを送信する -1

原稿について

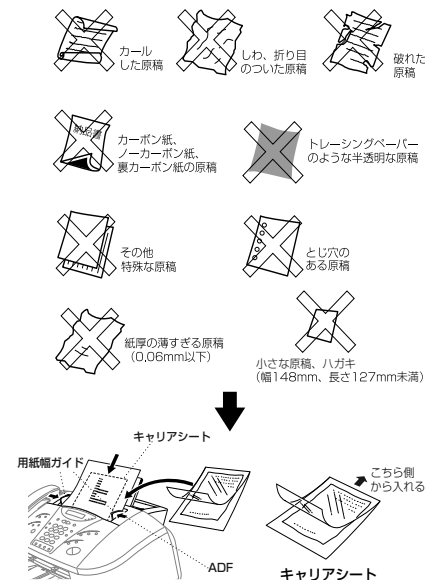
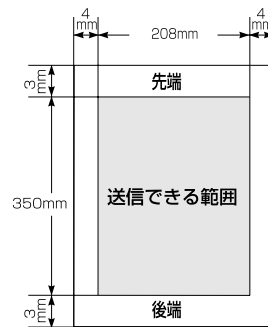
●原稿サイズ

セットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、複写機でコピーするか、付属のキャリアシートに入れてからセットしてください。

最大　幅：216mm　長さ：356mm
最小　幅：146mm　長さ：127mm
厚さ　　：0.07mm ～ 0.12mm*1
坪量　　：$64g/m^2$ ～ $120g/m^2$
*1：この取扱説明書の表紙が約 0.15mm、このページが約 0.07mm ですので、原稿の厚さの目安としてください。

●原稿についてのご注意

以下のような原稿は複写機でコピーするか、付属のキャリアシートを使用してください。

●原稿の読み取り範囲

メモ

- ●原稿を複数枚セットするときは、キャリアシートはお使いになれません。
- ●インクやのりなどが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
- ●原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取りはずしてください。
- ●異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
- ●原稿の先端に色がついていると、濃い原稿と判断する場合があります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。
- ●原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- ●原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

ファクスを送信する -2

ファクスを送信する

●自動送信

1.ADF に原稿をセットします。
2. ファクス番号を入力します。
3. スタート を押して操作終了です。

●手動送信

受話器から受信音を確認してから送信します。

1. ADF に原稿をセットします。
2. 受話器を上げファクス番号をダイヤルします。
3. 相手先の受信音（ピー）を確認してから スタート を押します。*1

受話器を上げているときは、受話器を戻します。*2

●デュアルアクセス

本機のファクス送受信中やプリント中でも、原稿をセットすると、設定（今回のみ）を行いダイヤルしてから、原稿をメモリーに読み込めます。ディスプレイは新しいジョブ番号とメモリー残量を表示します。*2

■送信を途中で止めるときは

スタート を押す前ならば、受話器を戻すか 保留/オンフック を押します。スタート を押した後、途中で止めたいときは 停止 を押します。まだ原稿が繰り込まれていないときは原稿を取り除いてください。原稿が繰り込まれているときは「ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されますので再び 停止 を押し、原稿が排出されるまで待ってから原稿を取り除きます。

メモリーに読み込んだ原稿の送信待ちが複数件ある場合には 69 ページの「通信待ち確認／通信待ちファクス解除」を参照にしてください。

■オンフックボタンを押してダイヤルしたとき

送信先の相手の声が聞こえたら、受話器を取って相手にファクスを送信することを伝え スタート を押してもらいます。「ピー」という音が聞こえたらスタートボタンを押してから、受話器を戻します。

*1 手動送信をする場合は、受信音を確認しスタートボタンを押したら受話器を置いてください。

*2 手順３で「停止」ボタンは押さないでください。ファクス送信が中止されてしまいます。

*3 最初のページを読み込み中に、ディスプレイに「ﾒﾓﾘ　ｹﾞﾝｶｲ」が表示された場合は、「停止」ボタンを押すと読み込みは取りやめられます。
２ページ目以降を読み込み中に、この表示がされた場合は、「ｽﾀｰﾄ」ボタンを押すと，読みこまれたページまでは送信します。送信を取りやめる場合は「停止」を押します。

■ ECM 通信について

ECM（Error Correction Mode の略称）とは、国際的に標準化された自動誤り訂正方式による通信モードのことです。通信中の雑音などにより、送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけを送り直すため、画像の乱れのない通信を行うことができます。

・送信側・受信側ともに ECM 機能を持っていないと ECM 通信は行われません。
・ECM 通信中に雑音などで影響を受けた場合は、通信時間が正常時に比べ多少長くなります。
・ECM 通信を行っても、回線の状況によってはエラー終了することがあります。

メモ

●海外へ送信するときは、回線の状況や地域等により正常に通信できない場合があります。
このようなときは海外送信モードを設定してください。通信エラーが少なくなります。P. 65

●メモリーに読み込んだ原稿の送信待ちが複数件ある場合 ----「通信待ち確認 / 通信待ちファクス解除」を参照にしてください。P. 69

●ダイヤルのしかたは、P. 43 を参照ください。

●メモリーに読み込み可能な原稿の枚数は、原稿の内容によって影響されます。

ご注意ください

本機は通常デュアルアクセスモードになっていますが、カラーファクスモードでは、デュアルアクセス機能ははたらきません。リアルタイム送信 ON/OFF にかかわらずリアルタイムで送信されます。

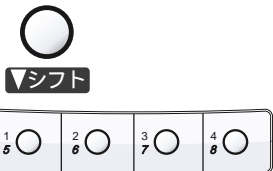
便利にダイヤルする -1

ダイヤルのしかた

●送信するときのダイヤル方法は 4 つあります。

ダイヤルボタン

●ダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルします。
●最も一般的な方法です。

ワンタッチダイヤル

●ワンタッチボタンで登録されているファクス番号にダイヤルします。
●1 回ボタンを押すだけでダイヤルできます。
●8 件登録できます。

●ワンタッチダイヤルの登録のしかたは P. 47 をご参照ください。

短縮ダイヤル

電話帳/短縮

キャッチ

●電話帳/短縮ボタンを押し、「＊」(トーンボタン)を押した後 00 ～ 99 の 2 桁短縮番号を押すだけでダイヤルできます。
● 100 件登録できます。

●短縮ダイヤル登録のしかたは P. 49 をご参照ください。

電話帳

電話帳/短縮

キャッチ

ｴｲｷﾞｮｳ ﾀﾞｲ1

●ワンタッチ、短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録された名称を検索し、そのままダイヤルします。ディスプレイ上で検索します。
●名前だけで探せます。

●電話帳の使い方は P. 45 をご参照ください。

同じ相手にもう一度送信する〔リダイヤル機能〕

1.ADF に原稿をセットします。

2. 再ダイヤル/ポーズ を押し スタート を押します。

●最後にかけた番号が表示されダイヤルされます。

●自動再ダイヤルについて
自動送信でファクスを送信しようとしたが、相手が通話中などで送信できなかったときは自動的に再ダイヤルして送信します（原稿送信のときは、原稿をそのまま置いておいてください)。自動再ダイヤルは 30 秒間隔で 8 回繰り返します。

●自動再ダイヤルを 8 回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信レポートがプリントされます。「ｹｯｶ」の欄が「ﾊﾅｼﾁｭｳ／ｵｳﾄｳﾅｼ」であることを確認し、再度送信し直してください。
●自動再ダイヤルは、自動送信時のみはたらく機能です。手動送信時は「再ﾀﾞｲﾔﾙ／ﾎﾟｰｽﾞ」ﾎﾞﾀﾝを押して再ダイヤルします。

こんな時は…
★自動送信で再送信を繰り返す場合は、相手先の電話番号を確認してください。

便利にダイヤルする -2

電話帳の使い方

あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている相手先名称をディスプレイ上で検索し、そのまま検索した相手にファクス送信することができます。

1. ADF に原稿をセットします。
2. 電話帳/短縮（キャッチ）を押します。

タンシュク ダイヤル

3. 探したい名前の最初の 1 文字を入力します。
4. ◁ ▷（小 音量 大）で目的の名前を表示させます。[*1]

エイギョウ ダイ1

5. 表示されたら スタート を押します。

*1 入力した最初の 1 文字を含む 50 音順、アルファベット順で一番最初の相手先名称が表示されます。

●登録されている相手先名称を 50 音順・アルファベット順に並べ換えた電話帳リストをプリントすることができます。プリントのしかたは、P. 105 を参照してください。

●文字入力のしかたについてはP. 15 をご参照ください。

●ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルの登録のしかたはP. 47 をご参照ください

こんな時は…

★電話帳をプリントするにはP. 105 を参照ください。

電話帳を作成する -1

ワンタッチダイヤルを登録する

●ワンタッチダイヤルを登録する

20 桁までの電話番号と 15 文字までの相手先名称を、ワンタッチダイヤルの 1 ～ 8 の 8 箇所に登録することができます。

1. 機能 1 5 1 を押します。
2. 1/5 2/6 3/7 4/8 で登録する番号を選択します。*1
3. 電話番号を入力し セット を押します。*2
4. 相手先の名前を入力し セット を押します。*3
5. ◁ ▷ で番号の種別を選択します。*4
6. セット を押します。*5
7. 停止 を押して操作は終了です。

1.ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙ

#01:

ﾅﾏｴ:

ｼｭﾍﾞﾂ:ﾌｧｸｽ

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

ワンタッチダイヤルを変更するには

1. 上記手順 1、2 で変更するワンタッチダイヤルを表示させます。
2. 登録されている内容が表示されたら「ﾍﾝｺｳ 1 . ｽﾙ . 2 . ｼﾅｲ」と表示されますので 1 を押します。
3. 上記手順 3 から繰り返してください。

変更しない場合はそのまま セット ボタンを押して次の項目に進みます。

4. 変更が受け付けられたら最後に ボタンを押します。

*1 ワンタッチダイヤルの 5 ～ 8 に登録するときはシフトボタンを押したままワンタッチボタンを押してください。
【例】 ワンタッチの7に登録するときはシフトボタンを押したまま3を押してください。

*1 すでにワンタッチダイヤルが登録されているときは、名前または電話番号が表示されます。

*2 電話番号は 20 桁まで登録できます。

*3 名前は 15 桁まで登録できます。

*4 番号の種別は下記の 3 種類から選択できます。
ファクス
デンワ
ファクス／デンワ

*5 続けて登録するときは 2 ダイヤル番号の選択から繰り返してください。

ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。

メモ

●ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録するときダイヤル回線をお使いの場合は必ず最初に「＊（トーン）」ボタンを押してください。

●番号の種別
ワンタッチダイヤルに電話番号を登録するとき、その番号がどういった種類の番号か登録することができます。登録された内容は電話帳リストにプリントされ、種別が一目でわかって便利です。

●数字を入れ間違えたときは、「←／→」ボタンを押して修正する文字までカーソルを移動し、正しい数字を上から入力します (上書き)。挿入はできませんので、途中の数字を入力し忘れたときは間違えた箇所までカーソルを移動し、それ以降の数字も入力し直してください。

●文字の入力のしかたについては P. 15 をご参照ください。

間違えないでください

電話番号を間違って登録しますと、自動再ダイヤル機能により、間違った相手を何度も呼び出すことになり、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。新しく電話番号を登録した後、ダイヤルリスト P. 105 をプリントして確認してください。

おぼえておきましょう ●一つのワンタッチボタンには、ワンタッチダイヤルかグループダイヤルのどちらか一方しか登録できません。

こんな時は…

★ダイヤルのしかたは P. 43 を参照ください。

電話帳を作成する -2

短縮ダイヤルを登録する

20桁までの電話番号と15文字までの相手先名称を、ワンタッチダイヤルとは別に2桁の短縮番号00～99の100箇所に登録することができます。

1. 機能 1 5 2 を押します。　　タンシュクダ イヤル？＊
2. （ダイヤルボタン）で登録する短縮番号を入力します。*1　　＊05:
3. セット を押します
4. 電話番号を入力し セット を押します。*2　　ナマエ:
5. 相手先の名前を入力し セット を押します。*3　　シュベ ツ:デ ンワ
6. ◁ ▷ で番号の種別を選択し、セット を押します。*4　　ウケツケマシタ
7. 続けて登録するときは手順2から続けます。
8. 停止 を押して操作は終了です。

■短縮ダイヤルを変更するには

1. 上記手順 1、2 で変更するダイヤルダイヤルを表示させせます。
2. 登録されている内容が表示されたら「ﾍﾝｺｳ 1 . ｽﾙ . 2 . ｼﾅｲ」と表示されますので(1)を押します。
3. 上記手順4から繰り返してください。変更しない場合は、そのまま セット ボタン押して次の項目に進みます。
4. 変更が受け付けられたら最後に 停止 ボタンを押します。

●短縮ダイヤルに登録してある電話番号は電話帳/短縮ボタンを押し、「＊」（トーンボタン）を押した後、00 ～ 99の2桁の短縮番号を押すだけでダイヤルできます。

*1 すでに短縮ダイヤルが登録されているときは、名前または電話番号が表示されます。

*2 電話番号は20桁まで登録できます。
カッコは登録できません。

●スペースを入力するには「→」ボタンを押します。

*3 名前は15桁まで登録できます。

●文字の入力のしかたについては P. 15 をご参照ください。

*4 番号の種別は下記の3種類から選択できます。
ファクス
デンワ
ファクス／デンワ

メモ

間違えないでください

電話番号を間違って登録しますと自動再ダイヤル機能により、間違った相手を何度も呼び出すことになり、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。新しく電話番号を登録した後、ダイヤルリスト P. 105 をプリントして確認してください。

こんな時は…
★短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、ダイヤルリストをプリントします。
P. 105 を参照ください。

電話帳を作成する -3

グループダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を最大6つまで1グループとしてワンタッチボタンに登録できます。グループダイヤルとして登録し、順次同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。

1. 機能 1 5 3 を押します。
2. 1/5 2/6 3/7 4/8 で登録するワンタッチボタンを選択します。*1
3. テンキーでグループ番号を入力し セット を押します。*2
4. グループに登録するワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを入力し セット を押します。*3
5. グループ名を入力し セット を押します。
6. 停止 を押して操作は終了です。

グループダイヤル：G0

G01:

ナマエ:

ウケツケマシタ

■グループダイヤルを変更するには

1. 上記手順 1、2 で変更するダイヤルダイヤルを表示させます。
2. 登録されている内容が表示されたら「ﾍﾝｺｳ1.ｽﾙ.2.ｼﾅｲ」と表示されますので①を押します。
3. 上記手順 4 から繰り返しワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを入れ直してください。
   変更しない場合は、セット ボタンを押して次の項目に進みます。
4. 変更が受け付けられたら最後に 停止 ボタンを押します。

●グループダイヤルを登録する前にワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを登録してください。ダイヤル番号をそのままグループダイヤルに登録できません。

*1 ワンタッチダイヤルの5～8に登録するときは、「シフト」ボタンを押したままワンタッチボタンを押してください。

［例］ワンタッチダイヤルの7に登録するときは「シフト」ボタンを押したままワンタッチボタンの3を押してください。

*1 すでにグループダイヤルが登録されているワンタッチボタンに登録するときは、下にある「グループダイヤルを変更するには」をご参照ください。

*2 すでに登録しているグループ番号を入力したときは「ﾔﾘﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されます。未登録のグループ番号を選んでください。

*2 1つのグループダイヤルには、最大107箇所まで登録でき、15文字までの名前が登録できます。

*2 グループダイヤルは01～06の6グループまで作ることができます。グループダイヤルを使用すると、複数の送信先を1度に指定することができます。

*3 ワンタッチダイヤルは、登録するワンタッチボタンを、短縮ダイヤルは、「電話帳/短縮」ボタンを押した後に2桁の番号を入力します。グループ名は15文字まで登録できます。文字の入力のしかたについては P. 15 をご参照ください。

メモ

●グループダイヤルとして使用されているワンタッチボタンをさらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。

1つのワンタッチボタンには、ワンタッチダイヤルかグループダイヤルのどちらか一方しか登録できません。

間違えないでください

電話番号を間違って登録しますと、自動再ダイヤル機能により、間違った相手を何度も呼び出すことになり、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。新しく電話番号を登録した後、ダイヤルリスト P. 105 をプリントして確認してください。

おぼえておきましょう ●取引先別、部署別などでグループ分けすると便利です。

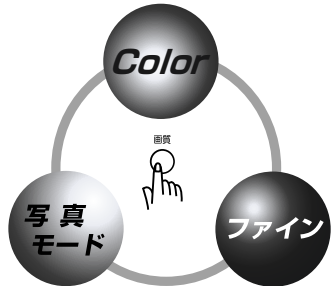
こんな時は…
★登録したグループがわからなくなったときはダイヤルリストをプリントします。
P. 105 を参照ください。

ファクスを便利に送信する -1

画質の選択

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定し送信します。通常の原稿を送信するときには「標準」モードに設定されていますので、特にこの設定をする必要はありません。

 画質 ボタンを押すごとに右図のようにモードが変わります。

操作パネル上のインジケーターは選択されているモードが点灯します。
標準モードのときは点灯しません。

●標準モード
大きくはっきり見える文字のとき

●ファインモード
小さな文字のとき
送信スピードは「標準」モードよりも遅くなります。

●写真モード
写真を含む原稿のとき
送信スピードは「ファイン」モードよりも遅くなります。

●カラーファクスモード
カラー原稿のとき
送信スピードは「写真」モードよりも遅くなります。

メモ

● 「標準」モードに比べ、「ファイン」、「写真」、「カラーファクス」モードで送ると送信時間が長くかかります。

● 「写真」モードの送信で相手機が「標準」モードしかない場合は、画質が劣化します。

● 「カラーファクス」モードで送信しようとしても、相手機がカラーモードに対応していないときは、モノクロで送信されます。

●画質モードの設定は 1 回の送信が終わると自動的に「標準」モードに戻ります。

ページごとに画質を設定

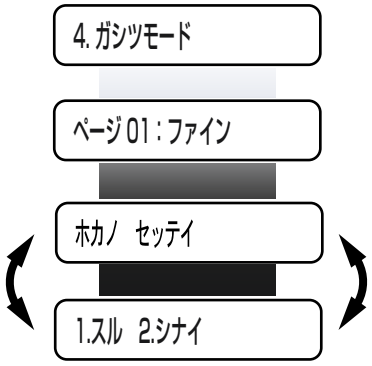
1 ページだけ写真入りの原稿が含まれているようなときなど、ページごとに画質モードを設定し、ファクスを送信することができます。

1. ADF に原稿をセットします。
2. 機能 1 3 4 を押します。
3. 1 ページ目の画質を ◁ ▷ で選択し セット を押します。*1
4. 2 ページ目以後も同様に設定します。
5. 設定が終わったら を押します。
6. 他の設定を続ける時は 1 を、終了するには 2 を押します。
7. 送信先をダイヤルして を押します。

4. ガシツモード

ページ 01：ファイン

ホカノ　セッテイ

1.スル　2.シナイ

●ファクス送信されたあと画質モードは自動的に標準モードにもどります。

*1 2 ページ目以降の画質の設定をするには手順 3 を繰り返した後、停止ボタンを押してください。

*1 画質モードを選びます。

●標準モード
大きくはっきり見える文字のとき

●ファインモード
小さな文字のとき

●スーパーファインモード
新聞のような細かい文字のとき

●写真モード
写真を含む原稿のとき

メモ

ご注意ください

カラーファクスモードでは、ページごとに画質を設定できません。

ファクスを便利に送信する -2

カラーファクスをする

本機ではカラーでファクスを送信することができます。
（相手先がカラーファクスの時のみカラーで送信されます。）

1.ADF に原稿をセットします。

2. 画質 を押して「カラーファクスモード」にします。

●操作パネルの解像度表示ランプの Color Fax が点灯します。

3. 相手先の番号を入力して スタート を押します。

●ファクス送信されたあと画質モードは自動的に標準モードにもどります。

●カラーファクス送信時はメモリーに読み込まれずに送信します。

●モノクロ原稿とカラー原稿が混在する場合はすべてモノクロで送信するか、カラー原稿だけ別に送信してください。

メモ

●相手先のファクスがモノクロの場合はカラーで送信してもモノクロで送信されます。

ご注意ください

カラーファクスモードはメモリーを送信（タイマー送信、デュアルアクセス、ポーリング送信）ができません。

原稿濃度の設定をする

送信するときの原稿濃度を設定します。

1.ADF に原稿をセットします。

2. 機能 1 3 3 を押します。

3. ◁ ▷ で原稿濃度を選択し セット を押します。*1

4. 他の設定を続ける時は 1 を、

終了するには 2 を押します。

ゲンコウノウド:フツウ
ホカノ セッテイ?
1.スル 2.シナイ

●ファクス送信されたあと原稿濃度は自動的に「フツウ」にもどります。

*1 原稿濃度を選びます。

フツウ……常に普通の文字の原稿が多いときに設定します。

ウスク……常に濃い色の原稿が多い場合に設定します。

コク………常にえんぴつ書きなどの薄い文字を使った原稿が多い場合に設定します。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語・索引集

おぼえておきましょう ●カラーファクスは送信に時間がかかる場合があります。
●原稿濃度を濃く設定すると全体に黒っぽくなる場合があります。

こんな時は…
★相手先から「原稿が読みにくい。」といわれたら原稿濃度を調整してみてください。

ファクスを便利に送信する -3

送付書を付けて送信する- 1

相手先の名前、電話番号、発信元データや通信日時などが記載された送付書を、自動的に原稿と一緒に送信することができます。

●送付書送信の設定のしかた

1.ADF に原稿をセットします。

2.（機能）（1）（3）（1）を押します。

1.ソウフショ

3.（◁）（▷）で選択し（セット）を押します。*1

コンカイノミ:ON

4.コメントを選択し（セット）を押します。*2

2.オデンワクダサイ

5.送信枚数を入力し（セット）を押します。*3

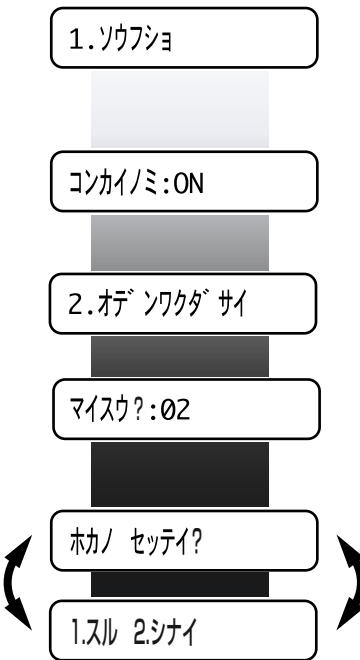
マイスウ?:02

6. 他の設定を続ける時は（1）を、

終了するには（2）を押します。

ホカノ セッテイ?

1.スル 2.シナイ

7.電話番号を入力し（スタート）を押します。

書式を確認するときは、下記の「送付書送信の設定のしかた」手順 3 で「プリントサンプル」を選びプリントしてください。

*1 手順 3 では以下の 5 つの中から選んでください。
「ソウフショ：ON」: 毎回送付書をつける
「ソウフショ：OFF」: 毎回送付書をつけない
「コンカイノミ：OFF」:
今回のみ送付書をつけない
「コンカイノミ：ON」:
今回のみ送付書をつける
「プリントサンプル」:
プリントサンプルを出力する

- 「プリントサンプル」を選んだ場合はセットボタンを押してスタートボタンを押します。
- 「ソウフショ：ON」を選んだ場合は手順 5 へ進んでください。
- 「ソウフショ：OFF」を選んだ場合は手順 6 へ進んでください。
- 「コンカイノミ：OFF」を選んだ場合は手順 7 へ進みます。

*3「コンカイノミ：ON」を選んだ場合のみ送信枚数の設定ができます。

- 送付書の、「TO: 」の名前はあらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどで登録されていないと表示されません。また順次同報送信の場合にはこの欄の名前は表示されません。P. 61

メモ

*2 送付書のコメントは下記の 6 種類のコメントから選べます。
2 種類のオリジナル コメントが登録できます。オリジナル コメントの登録のしかたは P. 59 を参照してください。

1.（コメント　ナシ）
2. オデンワ　クダサイ
3. シキュウ
4. シンテン
5.（オリジナル　コメント）
6.（オリジナル　コメント）

*2,3 送付書の自動送信について
送付書送信を「ON」に設定したときには、送信枚数は送付書にプリントされません。また、選んだコメントは、すべての送付書にプリントされます。

発信元データ（ ファクス番号、電話番号、名前 ）を登録しないと「送付書送信の設定」ができません。P. 17 をご覧ください。

ファクスを便利に送信する -3

送付書を付けて送信する- 2

●送付書のコメントを登録するには *1

送付書のコメント欄に載せる 2 種類のオリジナルコメントを作成し、登録することができます。

1. 機能 1 3 2 を押します。

2. ◁ ▷ でコメントを登録する箇所を選び セット を押します。
   * コメントは５か６に登録できます。

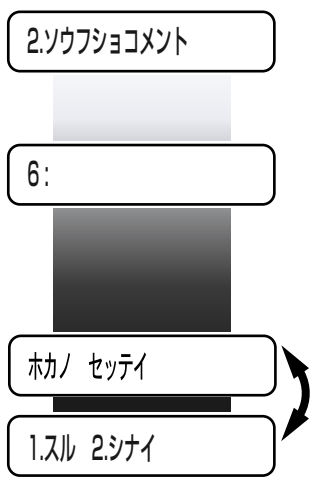
3. コメントを入力して セット を押します。*2

4. 他の設定を続ける時は 1 を、終了するには 2 を押します。

2.ソウフショコメント

6:

ホカノ セッテイ

1.スル 2.シナイ

*1 オリジナル コメント５または６を入れて送付書を送信したいときは、P.57 の手順３で、コメント５または６を選択することを忘れないでください。

*2 コメントは 27 文字まで入力できます。文字の入力のしかたについては P. 15 をご参照ください。

メモ

●コメントを変更したいときは、最初からから操作して、再登録してください。

ファクスを便利に送信する -4

同じ原稿を一度に送信する〔順次同報送信〕

同じ原稿を、複数の送信先を設定して 1 度に送信させることができます。送信先は、個別に入力されたダイヤル番号 50ヶ所をあらかじめ登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルを含む最大 158 個所まで指定できます。

1. ADF に原稿をセットします。
2. ワンタッチダイヤル、グループダイヤル、短縮ダイヤルや電話帳からの検索で送信先を選択します。*1
   ダイヤルボタンで普通にダイヤルもできます。
3. セット を押します。
4. 次の送信先を手順 2 のように選択します。*2
5. セット を押します。
6. すべての送信先を入力したら スタート を押します。
7. 原稿の読み込みが開始され、指定した送信先に送信が開始されます。*3
8. すべての送信が終了すると自動的に同報送信レポートがプリントされ待機状態になります。
9. 同報送信レポートを確認し、「エラー」などで送信されていない送信先があればもう一度送信してください。

●グループ送信をするためには、あらかじめグループダイヤルの登録が必要です。
詳細は、P. 51 の送信のしかたを参照してください。
●短縮ダイヤル、グループダイヤル、電話帳に登録されている送信先はすべて送信できます。
●登録されていない番号も50件まで同時に送信できます。

*1 送信先の入力のしかたについては P. 43「ダイヤルのしかた」をご参照ください。

*2 指定した順に送信されます。

*3 送信途中でキャンセルするには「停止」ボタンを押してください。ディスプレイに送信先の 1ヶ所をキャンセルするかを選択する画面が表示されます。ディスプレイの表示に従ってください。
すべての送信先をキャンセルしたい場合は「機能」「1」「4」で通信待ち確認に移行してからジョブを解除してください。
P. 69

メモ

●送信先を重複して指定したときは、「スタート」ボタンを押すと自動的に重複している分を削除します。

●送信先を間違えたときは、「停止」ボタンを押して最初から入力し直してください。

●この機能はカラーファクスでは利用できません。

●何らかの理由で同報送信が中断された場合でも本機は自動的に再送信します。

●送信できる件数は、メモリーの残量によって制限されます。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語集・索引

こんな時は…

★設定中に「メモリーゲンカイ」と表示されたら「停止」ボタンを押して中止するか「スタート」ボタンを押して登録された分だけ送信してください。

ファクスを便利に送信する -5

電話予約

ファクスを送信し終わった後、相手と通話したいときに使用します。ファクス送信が終わると、もう一度相手先の呼出音を鳴らし相手を呼び出します。相手が電話に出ると本機の呼出音が鳴り、受話器を取って通話できます。
なお、伝言メッセージ機能も「ON」に設定すると、相手が電話に出なかったときは「オデンワ　クダサイ」という伝言メッセージを相手に送信することができます。伝言メッセージを確認するときは、下記の設定で「プリントサンプル」を選択してください。

1. ADF に原稿をセットします。
2. 機能 1 3 6 を押します。
3. ◁ ▷ で「ON」、「OFF」、「プリントサンプル」[*1] を選択し セット を押します。
4. ◁ ▷ で伝言メッセージ機能の「ON」か「OFF」を選択し セット を押します。[*2]
5. 他の設定をするときは、1 を、しないときは 2 を押します。
6. 相手先の番号をダイヤルし スタート を押します。
7. 送信が終了すると相手を呼び出します。
8. 相手が電話に出ると本機の呼出音が鳴ります。受話器を取って通話します。

6.デンワヨヤク

デンワヨヤク：ON

デンゴンメッセージ：ON

ウケツケマシタ

1.スル　2.シナイ

ダイヤル　チュウ　#01

ヨビダシチュウ

ジュワキヲ　オトリクダサイ

*1 手順 3 で「プリントサンプル」を選んだときは「セット」ボタンを押して「スタート」ボタンを押します。
*2 手順 4 で伝言メッセージを「ON」に設定しているときに、相手が電話に出なかったときは、次のような伝言メッセージを相手に送信します。

===デンゴンメッセージ===

TO：　タナカ ヨウコ

FROM：　スズキ ケイコ

オデンワクダサイ　[TEL]　052 824 △△55
[FAX]　052 811 5△△1

発信元に登録してある内容が送信されます。

メモ

●発信元データを登録しないと「伝言メッセージ機能の設定」ができません。P. 17 を参照ください。

●相手のファクシミリに電話予約機能がないと電話予約できません。

電話予約の注意

このモードは、リダイヤルとタイマー送信、ポーリング送信には使用できません。

ファクスを便利に送信する -6

原稿を直接送信する〔リアルタイム送信〕

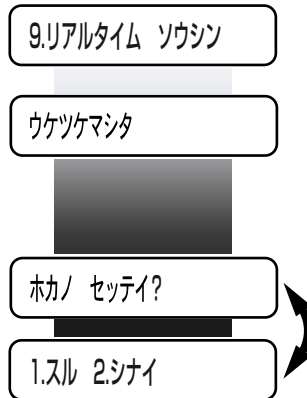
すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送信します。

1.ADF に原稿をセットします。

2.（機能）（ア 1）（サ DEF 3）（ラ WXYZ 9）を押します。

3.（◁）（▷）（小 音量 大）で選択して（セット）を押します。*1

4. 他の設定を続けるときは（ア 1）を、終了するには（カ ABC 2）を押します。

5. 相手先の番号をダイヤルして（スタート）を押します。

急いで送信したいときや、送信している相手先を確認したいときに便利です。また、メモリに送信待ち原稿がたくさんある場合にリアルタイム送信で優先して原稿を送信できます。

*1 手順 3 では以下の 3 つから選択します。
「リアルタイム　ソウシン：ON」
「リアルタイム　ソウシン：OFF」
「コンカイノミ」
「コンカイノミ」を選んだ場合は、「セット」ボタンを押して「コンカイノミ：ON」「コンカイノミ：OFF」を選びます。

メモ

●原稿はメモリに蓄積されません。指定できる相手先は 1 件です。

●カラーファクスでは常にリアルタイム送信を行います。

海外へ送信する〔海外送信モード〕

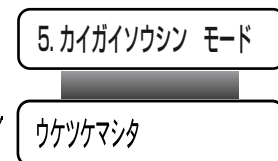
1.ADF に原稿をセットします。

2.（機能）（ア 1）（サ DEF 3）（ナ JKL 5）を押します。

3.（◁）（▷）（小 音量 大）で「ON」を選択して（セット）を押します。

4. 他の設定を続けるときは（ア 1）を、終了するときは（カ ABC 2）を押します。

5.相手先の番号をダイヤルして（スタート）を押します。

5.カイガイソウシン　モード
ウケツケマシタ

★海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときには海外送信モードを「ON」に設定してから送信を行うと、通信エラーになることが少なくなります。

●海外送信モードは、1 回の送信が終了すると自動的に「OFF」に戻ります。

●海外送信モードを「ON」にしたときは、通信速度が遅くなり送信時間がかかります。

●海外へ送信するとき、相手のファクシミリにつながるまで時間がかかり送信できない場合があります。その場合、手動送信で相手の「ピー」という音を聞いてから「スタート」ボタンを押して送信してください。

ファクスを便利に送信する -7

指定時刻に送信する〔タイマー送信〕

24 時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。

1.ADF に原稿をセットします。

2.（機能）（1）（3）（7）を押します。

3. 時刻を入力して（セット）を押します。*1

4. 他の設定を続ける時は（1）を、

終了するには（2）を押します。

5. ファクス番号を入力して（スタート）を押します。

7.タイマー ソウシン

ウケツケマシタ

ホカノ セッテイ?

1.スル 2.シナイ

*1 入力する時刻は 24 時間制で入力してください。

メモ

●タイマー送信が終了すると、自動的にタイマー通信レポートがプリントされ、送信結果を知らせてくれます。

●メモリに読み込める原稿枚数は原稿の内容に影響されます。

ご注意ください

カラーファクスモードではタイマー送信できません。

ファクスを便利に送信する -8

メモリー内の文書を同じ相手に送信する〔取りまとめ送信〕

メモリーに読みこまれているタイマー送信用のメッセージの中から、同一の相手先ごとにまとめてタイマー設定された時間に、1回の通信で送信することができます。

1. 機能 1 3 0 を押します。
2. ◁ ▷ で「ON」か「OFF」を選択して セット を押します。
3. 停止 を押します。

0.トリマトメ ソウシン

ウケツケマシタ

メモ

ご注意ください

カラーファクスモードでは取りまとめ送信できません。

通信待ち確認・通信待ちファクス解除

メモリー送信の待ち状況を確認し、メモリー送信、タイマー送信のジョブを解除します。

1. 機能 1 4 を押します。
2. 解除したい内容を ◁ ▷ で選択して セット を押します。
3. 1「スル」か 2「シナイ」を押します。
4. 停止 を押します。

4.ツウシン マチ カクニン

カイジョ1:スル 2:シナイ

ウケツケマシタ

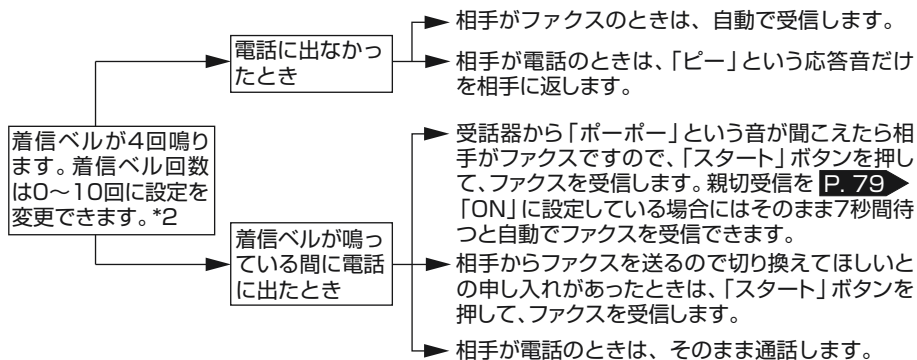
●待機中の設定がないときは、「セッテイガサレテイマセン」と表示されます。

メモ

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語・索引集

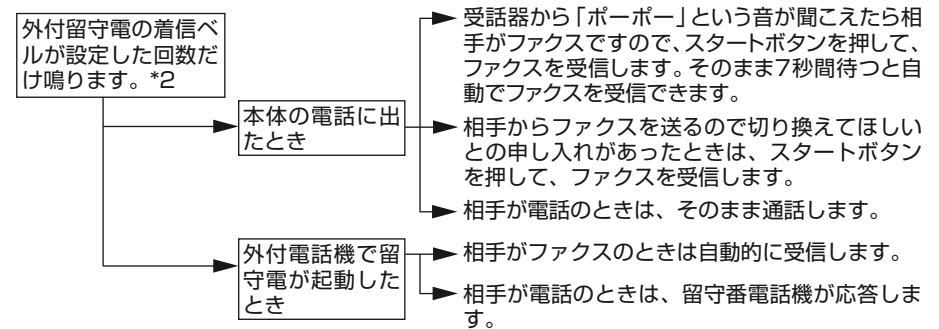
ファクスを受信する -1

受信モードについて -1

● FAX 専用モード 「ファクスとして使いたい(ファクスを自動で受ける)」*1
本機をファクス専用として使用するときに設定すると便利なモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

●電話を主にお使いになるときは FAX 専用モードに設定しないでください。

*1FAX 専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。

*2 着信ベル回数は、0 ～ 10 回まで変更することができます。0 回に設定すると着信ベルを鳴らさずに自動受信 (ノンコール着信) することができます。ファクスを早く着信したいときは呼出ベル回数を 0 回か 1 回に設定してください。(着信ベル回数の設定のしかたは、P. 77 を参照してください。)

●外付留守電モード
「ファクスを自動で受けたい、外付けの留守番電話機で電話やメッセージを受けたい」
本機の外付電話機用（EXT.）端子に留守番電話機が接続されていることが前提のモードです。
P. 20 留守中のファクスやメッセージに対応できる受信モードです。

●外付留守番電話機の設定について *3
1 留守モードにしておいてください。
2 応答するまでのベル回数は短め（1 ～ 2 回）に設定してください。
3 応答メッセージは、最初に 4-5 秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め（20 秒以内）に録音してください。
4 応答メッセージには、BGM を録音しないでください。
5 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

*2 着信ベル回数は、0 ～ 10 回まで変更することができます。0 回に設定すると着信ベルを鳴らさずに自動受信 (ノンコール着信) することができます。ファクスを早く着信したいときは呼出ベル回数を 0 回か 1 回に設定してください。(着信ベル回数の設定のしかたは、P. 77 を参照してください。)

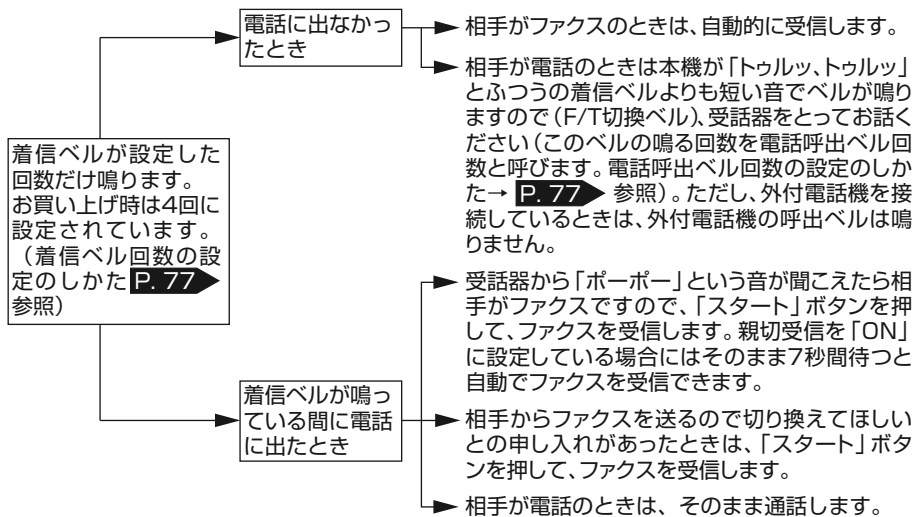
*3 メッセージがいっぱいで留守番電話機が自動的に応答しない場合は、ファクスも自動的に応答しません。

●留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

ファクスを受信する -1

受信モードについて -2

●通常モード　「主として電話を受けたい、ファクスも自動で受けたい」

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは続けて呼び出す便利なモードです。

●親子電話、パラレル接続、ブランチ接続の場合、着信ベルを多めに設定することをおすすめします。（初期設定は４回です。）

●通常モードでは本機が着信すると電話に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。

●回線状態により「ポーポー」という音がきこえてもファクスに切り換わらない場合があります。そのときは「スタート」ボタンを押してから受話器を戻してください。

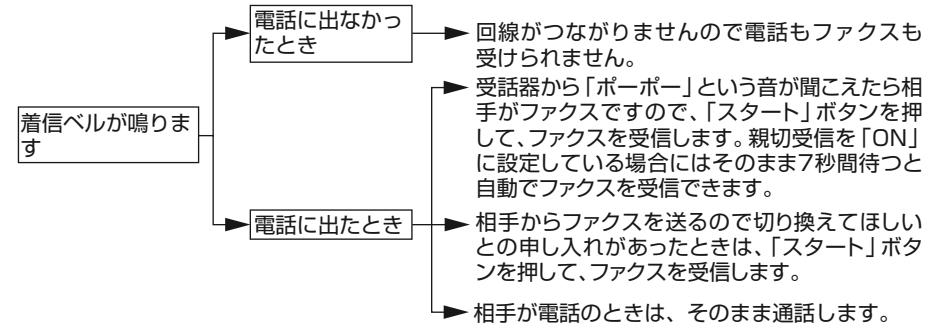
●通話中に突然ファクス受信に切り換わってしまうことが度々あるときは、親切受信の設定を「シナイ（OFF）」にしてください。P. 79 ファクス受信の場合は、「スタート」ボタンを押して受話器を戻してください。

●相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して「スタート」ボタンを押してください。

●外付電話機を接続しているときは外付電話機の着信ベルも一緒に鳴ります。着信ベルが鳴っている間に外付電話機で電話に出ると通話やファクス受信ができます。P. 20

●相手が自動送信のファクスのときは着信ベル（7 ～ 10 回）が鳴っている間に相手機が電話を切ってしまうことがあります。このようなときは着信ベルを６回以下に設定してください。P. 77

●電話モード　「電話として使いたい（ファクスを手動で受ける）」

相手を確認してから「スタート」ボタンを押して、ファクスを受信します。本機を主に電話としてお使いになる方に適したモードです。

キャッチホンの受けかた

● NTT とキャッチホンまたはキャッチホンⅡの契約をされている方は、キャッチホン / キャッチホンⅡサービスを利用することができます。（局番なしの 116 番にお問い合わせください）

1. キャッチホンがかかってくると、通話中に「プップッ」という音が聞こえますので、そのときに、「キャッチ」ボタンを押すと、新しくかかってきた相手の電話につながります。最初の相手には保留メロディが流れます。ファクスのときは「ポーポー」という音が聞こえますので、「スタート」ボタンを押してファクス受信が完了するまで受話器を戻さずにお待ちください。
2. 最初の相手に戻るときは、もう１度「キャッチ」ボタンを押します。

●ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンⅡのご利用をおすすめします。

●キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかってしまう場合がありますので、最初の相手との通話を終えてファクス受信することをおすすめします。

●キャッチホンに出ず、相手が先に電話を切った場合でも、本機のキャッチホンの呼出音がしばらく鳴り続けることがあります。

●タイマー送信や、ポーリング送信設定していない原稿がセットされているとファクス受信できません。原稿を取り除き「スタート」ボタンを押してください。親切受信が「ON」に設定されていると原稿をセットした状態で受信できます。

●相手が手動送信ファクスのときは受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して「スタート」ボタンを押してください。

●外付電話機で電話に出たときもファクス受信できます。P. 79

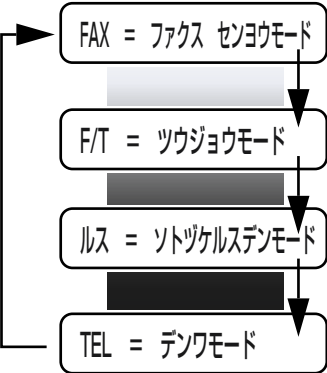
ファクスを受信する -2

受信モードを選ぶ

本機の使用用途に応じて、受信モードを FAX 専用モード、通常モード、外付留守電モード、電話モードの中から選びます。また、この選択した受信モードは､ディスプレイに日付と時刻とともに表示されます。お買い上げ時は「FAX 専用モード」に設定してあります。

受信モード	本機の使用目的	受信モード表示
FAX専用モード	ファクスとして使いたい。（ファクスを自動で受ける）	FAX
通常モード	主として電話を受けたい。ファクスも自動で受けたい。	F/T
外付け留守電モード	ファクスを自動で受けたい、外付の留守番電話機でメッセージを受けたい。	ルス
電話モード	同じ電話回線でコンピュータモデムを使いたい、または主に受話器を使い自分で電話とファクスを切り替える。（ファクスを手動で受ける）	TEL

1. 受信モード でモードを選択します。

2. 停止 を押して操作は終了です。

●受信モードボタンを押すことで「ファクス　センヨウ」→「ツウジョウ」→「ソトヅケルスデン」→「デンワ」と表示が変わります。

メモ

●メモリ代行受信について
・用紙がなくなったとき
　「キロクシ　カクニン」と表示
・インクカートリッジがなくなったとき
　「インクギレ」と表示
・用紙が詰ったとき
　「キロクシ　ツマリ」と表示

送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します。（メモリー代行受信）ディスプレイの指示に従い処置をすると、メモリーが代行受信したファクスを自動的にプリントします。プリントされたファクスはメモリーから消去されます。
メモリーがいっぱいになると、それ以後はメモリー代行受信はできません。

ファクスを受信する -3

着信ベル回数の設定をする

「FAX 専用モード」、「通常モード」のとき、自動受信するまでの着信ベル回数を設定します。

1. 機能 1 2 1 を押します。
2. ◁ ▷ でベル回数を選択します。*1
3. セット を押します。
4. 停止 を押して操作は終了です。

1.チャクシン ベルカイスウ

ベル カイスウ 10

ウケツケマシタ

*1 着信ベル回数は10回まで設定できます。着信ベル回数を 0 回に設定すれば、着信ベルを鳴らさずファクス受信することができます。

●お買いあげ時は4回に設定されています。

メモ

●「FAX 専用モード」や「通常モード」のとき、外付電話機や並列接続された電話機の着信ベルも同様に、ここで設定された回数だけ着信ベルが鳴ります。

電話呼び出しベル回数の設定をする［通常モード］

「通常モード」のときに電話がかかってくると着信ベルの後に「トゥルットゥルッ」と呼出ベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

1. 機能 1 2 2 を押します。
2. ◁ ▷ で呼び出し回数を選択し セット を押します。*1
3. 停止 を押して操作は終了です。

2.ヨビダシ ベルカイスウ

ベル カイスウ 20

ウケツケマシタ

*1 呼出ベル回数は 10/15/20 の中から選びます。

外付電話機を接続されている場合は、本機が着信した後、本機の電話呼出ベルは鳴りますが外付電話機の呼出ベルは鳴りません。

●お買い上げ時の呼出ベル回数の設定は 10 回です。

●本機は設定された回数だけ電話呼出ベルを鳴らした後、自動的に電話を切ります。

おぼえておきましょう ●ファクス専用機としてご利用の場合は着信ベル回数を「0」か「1」にしてご利用になるとすばやく着信します。

こんな時は…

★着信ベルの音量を設定するには P. 37 を参照ください。

ファクスを受信する -3

手動でファクスを受信する［着信ベルが鳴っている間に受話器を取ったとき］

着信ベルが鳴っている間に受話器を取り、ファクスを受信したいときの操作です。

1. 着信ベルが鳴ったら、受話器を取ります。
2. 相手がファクスを送りたい場合、本機に記録紙がセットされていることを確認し、セットされていない場合は、記録紙をセットします。
3. ファクスに切り換えることを相手に伝えて を押します。
4. 受話器を戻します。

原稿をセットしたままでは受信できません。原稿を取ってください。

■相手が電話に出なかったときは

受信モードの設定により異なります。受信モードについては P. 75 を参照し、使用用途に合ったモードを設定してください。

■「ポーポー」という音が聞こえたら

受話器を取ったとき「ポーポー」という音が聞こえたら相手がファクスを自動送信しているときです。

「スタート」ボタンを押してください。

親切受信を「ON」に設定している場合は、そのまま7秒間待つと自動でファクスを受信できます。

メモ

- 親切受信を「ON」に設定している場合は、原稿をセットしたままで受信することができます。
- 相手が自動送信のファクスのときは、着信ベル（7～10回）が鳴っている間に相手が電話を切ってしまう場合があります。このようなときは着信ベル回数を6回以下に設定してください。P. 77
- 相手が手動送信のファクスのときは受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認して「スタート」ボタンを押してください。

親切受信で受信する

相手から自動送信でファクスが送られてきた場合、本機が自動受信を開始する前に受話器をとってしまったときでも、何も操作しなくてもファクスを受信できる便利な機能です。
お買い上げ時は、「OFF」に設定してあります。

1. 機能 ア1 カABC2 サDEF3 を押します。
2. ◁ ▷（小 音量 大）で「ON」､「OFF」を選択します。
3. セット を押します。
4. 停止 を押して操作は終了です。

ディスプレイ表示
3.シンセツ ジュシン
シンセツジュシン：ON
ウケツケマシタ

受話器に出て「ポー、ポー」という音が聞こえた場合は、黙って約7秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。ディスプレイに「ジュシン」と表示されたら受話器を戻します。[*1]

メモ

*1 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、ファクスに切り換わらないときがあります。そのときはスタートボタンを押してください。

- 通話中の声をファクスの「ポーポー」という音と間違えて、突然ファクスに切り換わってしまうことが度々あるときは、親切受信の設定を「OFF」に設定してください。
- 親切受信の設定が「OFF」に設定してある場合でも、外付電話機から操作をしてファクス受信を開始させることができます。P. 81

ファクスを受信する -4

外付電話機からファクスを受信する［リモート起動］-1

親切受信がうまくはたらかないか、設定が OFF になっているときに本機に接続されている外付電話機から操作をしてファクス起動を開始させることができます。

リモート起動番号について

本機の「EXT.」端子に接続されている外付電話機から、本機をリモート起動させるときに使用するものです。お買い上げ時は「#51」に設定されています。

1. 外付電話機の受話器を持ったまま、ダイヤルボタンでリモート起動番号「#51」を入力します。
   受話器は約 5 秒後に戻してください。
2. 本機がファクス受信を始めます。

リモート停止について

本機と並列接続された電話機の操作により、先に本機が取った回線を並列接続された電話機に切り換えるときに使用します。

本機の受信モードが「通常モード」のときに、本機だけが「トゥルッ、トゥルッ」と鳴っている（電話呼出ベル）ときや、「留守モード」のときの用件応答メッセージが流れているとき、またはその後電話をかけてきた相手が音声メッセージを入れているときに、並列接続された電話機で通話をしたいときは、並列接続された電話機からリモート停止番号をダイヤルすると、電話呼出ベルの鳴動が停止するかまたは留守応答メッセージが停止し、回線を切り換え、相手と話すことができます。（外付電話機ではリモート停止をさせることはできません）

リモート停止番号は、お買い上げ時は「＊ 51」に設定されています。

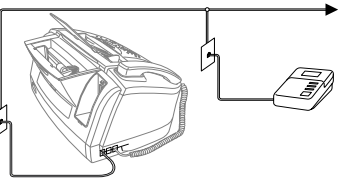
尚、リモート起動を使用するにはリモート起動設定を「ON」する必要があります。P. 83 を参照して設定してください。

また、リモート起動番号とリモート停止番号を自分の好きな番号に変更することもできます。

メモ

● この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により使用できないことがあります。

●外付け電話機の接続方法はP. 20 を参照してください。

●並列接続とは、別の電話機（またはファクシミリ）を同じ回線上の別の電話機コンセントに接続する電話のひきかたです。（下図参照）

ファクスを受信する -6

外付電話機からファクスを受信する［リモート起動］-2

リモート起動設定のしかた

1. 機能 1 2 4 を押します。
2. ◁ ▷ で「ON」を選択し、セット を押します。
3. リモート起動番号が表示されます。*1
4. セット を押します。
5. リモート停止番号が表示されます。*2
6. セット を押します。
7. 停止 を押して操作は終了です。

4.リモート バンゴウ

キドウ バンゴウ:#51

テイシ バンゴウ:*51

ウケツケマシタ

*1 リモート起動番号（3 桁）を変更するときは、ダイヤルボタンで入力します。変更しないときは次に進みます。

*2 リモート停止番号（3 桁）を変更するときは、ダイヤルボタンで入力します。変更しないときは次に進みます。

メモ

自動的に縮小受信する

A4 サイズ以上の原稿が送信されてきたときは、A4 サイズの用紙に入りきらず 2 枚に分かれてしまうため、自動的に A4 サイズの用紙に収まるように縮小してプリントする機能です。
お買い上げ時は「ON」に設定されています。

1. 機能 1 2 5 を押します。
2. ◁ ▷ で「ON」、「OFF」を選択します。
3. セット を押します。
4. 停止 を押して操作は終了です。

5.ジドウ シュクショウ

ジドウ シュクショウ:ON

ウケツケマシタ

●送信原稿の長さに応じ自動的に縮小率を決め、約 355mm までの原稿を 1 枚に縮小受信します。約 355mm を超えた原稿は縮小せずに2枚に分けて受信します。

メモ

●自動縮小受信しない「OFF」に設定したときに受信のたびに白紙がもう 1 枚排出されることがあります。そのときは、自動縮小受信する「ON」に設定してください。

●原稿の長さは目安です。
回線の状況によって変わります。

●メモリー残量が少ないときや、原稿が複雑な場合は自動縮小されない場合があります。

ポーリング-1　相手の操作で原稿を送信する〔ポーリング送信〕

ポーリング送信の設定

受信側のファクシミリからの操作で、送信側のファクシミリのメモリーにはいっている原稿を自動的に送信させることをポーリング通信といいます。
本機が送信側のときはポーリング送信といいます。*1

1.ADF に原稿をセットします。

2.（機能）（1）（3）（8）を押します。

8.ポーリングソウシン

3.（◁）（▷）で「ヒョウジュン」を選択して（セット）を押します。

1.ゲンコウ　2.メモリ

4.（1）（原稿送信）または（2）（メモリー送信）を選択します。

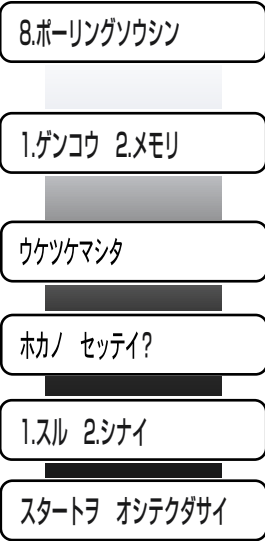
ウケツケマシタ

ホカノ　セッテイ?

5.他の設定を続ける時は（1）を、終了するには（2）を押します。

1.スル　2.シナイ

6.（スタート）を押します。ポーリング送信待機状態になります。メモリー送信の場合は、原稿がメモリーに読み込まれます。

スタートヲ　オシテクダサイ

*1 相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどはこの機能が利用できないことがあります。

●ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートがプリントされ送信結果を知らせてくれます。

●カラーファクスはポーリング送信できません。

おぼえておきましょう ●ポーリング通信の場合、通信料は受信側の負担になります。

ポーリング -2　相手の操作で原稿を送信する〔ポーリング送信〕

機密ポーリング送信の設定

機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と4桁のパスワードを決めます。

1.ADF に原稿をセットします。

2.（機能）（1）（3）（8）を押します。

3.（◁）（▷）で「キミツ」を選択して（セット）を押します。

4.4 桁のパスワードを入力して（セット）を押します。

5.（1）（原稿送信）または（2）（メモリー送信）を選びます。

6. 他の設定を続ける時は（1）を、終了するには（2）を押します。

7.（スタート）を押します。機密ポーリング送信待機状態になります。メモリー送信のときは原稿がメモリーに読み込まれます。

8.ポーリングソウシン
ポ゛ーリンク゛：XXXX
1.ゲンコウ　2.メモリ
ウケツケマシタ
ホカノ　セッテイ?
1.スル　2.シナイ
スタートヲ　オシテクダサイ

★受信側と送信側が同じ 4 桁のパスワードを使用してポーリング送信待機中の原稿が第三者に渡らないようにする機密ポーリング送信を行うことができます。

●パスワードを忘れてしまったときは、再度設定し直してください。

●ディスプレイに「ポーリング　タイキチュウ」と表示されているときは、ポーリング送信がセットしてあります。原稿挿入口にセットしてある原稿を取らないでください。原稿を取り除くと送信時に相手側がエラーになります。

メモ

●相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどはこの機能が利用できないことがあります。

●ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートがプリントされ送信結果を知らせてくれます。

●カラーファクスはポーリング送信できません。

●ポーリング送信待機中でもそのまま電話できます。原稿がセットされている場合は、原稿を外さずに電話をかけてください。

●ポーリング送信待機中に電話がかかってきたらそのまま電話に出てください。ファクスが送られてきたら「スタート」ボタンを押してファクスを受信してください。相手から自動送信で送られてきたファクスは自動的に受信します。

●ポーリング送信を解除したいときは P. 69 ご参照ください。

ポーリング -3　本機の操作で相手の原稿を受信する〔ポーリング受信〕

ポーリング受信の設定

1.（機能）（1）（2）（6）を押します。

2.（◁）（▷）で「ヒョウジュン」を選択し（セット）を押します。

3. 相手先の電話番号を入力して（スタート）を押すと受信を開始します。

6.ポーリングジュシン
ダ゛イヤル　シテクダ゛サイ

★受信側のファクシミリからの操作で、送信側のファクシミリにセットしてある原稿を自動的に送信させることをポーリング通信といいます。
本機が受信側のときポーリング受信といいます。ポーリング方式のファクス情報サービスも一種のポーリング受信です。

メモ

●相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどはこの機能が利用できないことがあります。

●相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと、受信できません。

ポーリング -4　自分の操作で相手側の原稿を受信する〔ポーリング受信〕

機密ポーリング受信の設定

受信側と送信側が同じ 4 桁のパスワードを使用して受信する機密ポーリング受信を行うことができます。

1. 機能 1 2 6 を押します。　〔6.ポーリングジュシン〕
2. ◁ ▷ で「キミツ」を選択し セット を押します。　〔ポーリング:XXXX〕
3. 4 桁のパスワードを入力し セット を押します。*1　〔ダイヤル シテクダサイ〕
4. 相手先の電話番号をダイヤルして スタート を押すと受信を開始します。

*1 機密ポーリング受信を設定するときには、送信側と 4 桁のパスワードを決めます。送信側とパスワードが一致したときだけ受信できます。

メモ

●本機に原稿がセットされていないことを確認してから行ってください。

●受話器を置いたまま操作します。

●相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。

時刻指定ポーリングの設定　〔タイマーポーリング〕

ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を自動的に受信することができます。

1. 機能 1 2 6 を押します。　〔6.ポーリングジュシン〕
2. ◁ ▷ で「タイマー」を選択し セット を押します。　〔シテイジコク:19:45〕
3. ダイヤルボタン で指定時刻を入力し セット を押します *1　〔ダイヤル シテクダサイ〕
4. 相手先の番号をダイヤルして スタート を押します。*2

*1 指定時刻は 24 時間制で入力してください。

*2 指定時刻になると自動的にポーリング受信します。

メモ

●時刻指定ポーリング（タイマーポーリング受信）を解除したいときは P. 69 の「通信待ち確認／メモリ送信の解除のしかた」を参照してください。

●本機に原稿がセットされていないことを確認してから行ってください。

電話呼び出し機能とファクス転送 -1

電話呼び出し機能とファクス転送について -1

本機のメモリー受信機能を「ON」に設定すると受信したファクスをメモリーに蓄積することができます。ファクスメッセージがメモリーに記憶されると、それを外出先の電話に知らせる（電話呼び出し機能）か、またはファクスメッセージを転送（ファクス転送）することができます。

●電話呼び出し機能がどのようにはたらくか

ファクスを受信します。

ファクスメッセージをメモリーに記憶します。

登録した呼び出し先の電話番号にダイヤルします。

電話に出ると、「ポッポッ」という音でメッセージが記憶されたことを知らせます。

●ファクス転送がどのようにはたらくか

留守中にファクスを受信します。

ファクスメッセージをメモリーに記憶します。

登録したファクス転送番号にダイヤルします。

メモリーに記憶したファクスメッセージを転送先のファクシミリに送信します。

●ファクス転送の設定と転送先番号を登録する

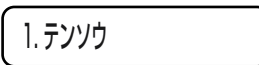
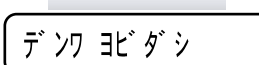
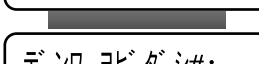
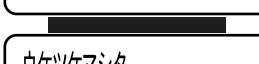
ファクス転送を働かせたい場合は、下記の手順で「ファクス　テンソウ」を選び、転送先番号を登録してください。その後、留守録メモリーにファクスメッセージが記憶されると自動的にファクス転送を始めます。お買い上げ時は「OFF」になっています。

1. 機能 1 7 1 を押します。　［1.テンソウ］
2. ◁ ▷（小 音量 大）で「ファクス テンソウ」を選択します。　［ファクス テンソウ］
3. セット を押します。　［ファクス テンソウ#:］
4. 転送先番号を入力して セット を押します。*1　［ウケツケマシタ］
5. 停止 を押して登録と設定は終了です。

電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。

電話呼び出し機能とファクス転送を使用するにはメモリー受信を「ON」に設定する必要があります。
P. 93 をご参照ください。

*1 転送先と市外局番が異なるときは、市外局番も入力します。

- ●ファクス転送が終了すると、メモリーに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
- ●送付書送信の設定 P. 57 が「送付書を付加する（ON）」に設定されていても、ファクス転送時は送付書は付加されません。
- ●メモリーにファクスを受信後、ファクス転送の設定を「ON」にしてもファクスは転送されません。
- ●転送先は最大 20 桁まで入力できます。
- ●ファクス転送先の電話番号は外出先から変更することができます。
- ●電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は外出先から変更することはできません。

電話呼び出し機能とファクス転送 -2

電話呼び出し機能とファクス転送について -2

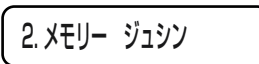
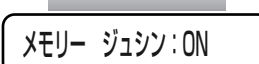
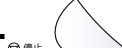
●電話呼び出し機能の設定と呼び出し先番号を登録する

電話呼び出し機能をはたらかせたい場合は、下記の手順で「デンワヨビダシ」を選び、呼び出し先番号を登録してください。その後、メモリーにファクスメッセージが記憶されると自動的に電話呼び出しを始めます。お買い上げ時は「OFF」になっています。

1. 機能 1 7 1 を押します。　［1.テンソウ］
2. ◁ ▷ で「デンワヨビダシ」を選択します。　［デンワ ヨビダシ］
3. セット を押します。　［デンワ ヨビダシ#:］
4. 呼び出し先番号を入力して セット を押します。　［ウケツケマシタ］
5. 停止 を押して登録と設定は終了です。

●電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。

●電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は外出先から変更することはできません。

メモ

●電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてメッセージを受けたことを知らせます。外出先のファクスからリモコンアクセスコードを使用してファクスメッセージを取り出すことができます。

メモリー受信を設定する

メモリー受信を「ON」に設定すると、受信したファクスをメモリーに蓄積すると共にプリントアウトします。また、電話呼び出し機能・ファクス転送機能P. 91・リモコンアクセスP. 95が使用できます。お買い上げ時は「OFF」になっています。

1. 機能 1 7 2 を押します。　［2.メモリー ジュシン］
2. ◁ ▷ で「ON」、「OFF」を選択します。　［メモリー ジュシン:ON］
3. セット を押します。　［ウケツケマシタ］
4. 停止 を押して設定は終了です。

●メモリー受信は最大60件までできます（ただしメモリー残量によります）。

●記録紙がないとき、メモリー受信の設定が「メモリー受信しない（OFF）」に設定されていても、メモリー代行受信を行います。

●メモリー受信を「ON」に設定するとカラーファクスは受信できません。

●メモリーに入ったファクス出力のしかたについてはP. 99を参照してください。

メモ

●メモリー受信したファクスが蓄積されているとき「メモリー受信しない（OFF）」に設定すると「ファクスショウキョ？ 1.スル 2.シナイ」が表示されます。ダイヤルボタン1を押すとまだ一度もプリントされていないファクスメッセージがすべてプリントされた後、メモリーから内容が消去されます。

●メモリー受信を「ON」に設定してもメモリー受信ができなくなったときは、受信用メモリーがいっぱいです。メモリー受信の設定を「メモリー受信しない（OFF）」に設定して、メモリーからファクスメッセージを消去してください。

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / コピーをする / ビデオプリントする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こんなときには / 用語集・索引

外出先から本機を操作する〔リモコンアクセス〕

リモコンアクセスについて

外出先のプッシュ(PB) 回線に接続されている、またトーン(PB) 信号が送出できるファクシミリを使い、リモコンアクセスコードやリモコンアクセスコマンドを入力することにより、外出先から本機をリモートコントロールして、ファクス転送などの操作を行うことができます。

●基本的なリモコンアクセスのしかた

1. 外出先のプッシュ (PB) 回線に接続されている、またはトーン (PB) 信号が送出できるファクシミリから本機の電話番号にダイヤルします。

2. 本機が応答し、約 4 秒間無音状態になりますので、その間にリモコンアクセスコードをダイヤルボタンで入力します。*1

3. 「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がメッセージを受信し、メモリーに蓄積していることを示します。
   - 「ポー」(1 回)：ファクスメッセージを蓄積しています。メモリーに蓄積されていないとき「ポー」という音はしないので、そのまま手順 4 に進みます。

4. 次に短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえます。この間に、リモコンアクセスコマンド（99 ページ参照）をダイヤルボタンで入力します。*2
   - 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返しリモコンアクセスコードを入力してください。回線状態などによりリモコンアクセスコードを受けられないことがあります。
   - 1 つのコマンドの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のコマンドを入力することができます。

5. リモコンアクセスを終了するときは、ダイヤルボタンで⑨、⓪を入力します。

*1 リモコンアクセスコードをいつ入力するのか

●通常モードのとき
本機が応答すると約 4 秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。

●外付留守電モードのとき
外付留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態のときに入力してください（外付の留守番電話に応答メッセージを録音する際にあらかじめ４～５秒くらい無音状態を入れておいてください)。

● FAX 専用モードのとき
本機が応答すると約 4 秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。

●電話モードのとき
呼出ベルが約 35 回鳴るまで待った後約 30 秒無音状態になりますので、この間に入力してください。

メモ

*1 リモコンアクセスコードは、外出先から本機をリモートコントロールさせるための番号です。

*1 リモコンアクセスコードは、お買い上げ時は「159 ＊」に設定されていますが、自分専用の番号に変更することにより、本機への接続相手を限定することができます。変更のしかたは、「リモコンアクセスコードの設定のしかた」を参照してください。

●リモコンアクセスコードを使用するときは、３桁の数字と＊を押してください。

*2 リモコンアクセスコマンドは、いろいろな操作を指示するための番号です。P. 99 リモコンアクセスコマンドの表をご参照ください。

●メモリー受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、転送の設定をファクス転送にし ないでください。

●トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。

●間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。(正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が 1 回聞こえます)

●「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコマンドを入力せずに 30 秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。

外出先からファクスを取り出す〔リモコンアクセス〕-2

リモコンアクセス操作例

●外出先からファクスを取り出すとき

1. 外出先のプッシュ (PB) 回線に接続されている、またはトーン (PB) 信号が送出できるファクシミリの受話器を取ります。
2. 本機の電話番号をダイヤルします。
3. 本機が応答したら、最初の無音 4 秒間に①⑤⑨㊉(リモコンアクセスコード) を入力します。
4. 「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がファクスを受信し、メモリに記憶していることを示しています。
5. 取り出したいファクスメッセージが記憶されているときは、「ピピッ」という音が鳴り終わったときに、⑨⑥②を入力します。
6. 続けて外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力し、最後に#を 2 回押します。
7. 「ピー」という応答音が聞こえたら、受話器を置きます。
8. 本機からファクスが転送されます。

*1 ＊や # は転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入れたいときには、#を 1 回押します。#を 2 回押すと転送番号の入力終了を表します。

●受話器を持ったままにしていても、操作しているファクシミリによって回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順 3 の操作を行ってください。

●外出先からファクス転送番号を変更したいとき

1. 外出先のプッシュ (PB) 回線に接続されている、またはトーン (PB) 信号が送出できるファクシミリの受話器を取ります。
2. 本機の電話番号をダイヤルします。
3. 本機が応答したら、最初の無音 4 秒間に①⑤⑨㊉(リモコンアクセスコード) を入力します。
4. 「ピピッ」という音が続けて聞こえている間に、⑨⑤④を入力します。
5. 新しい転送番号をダイヤルボタンで入力します。
   ●転送番号は最大 20 桁まで入力できます。
6. 新しい転送番号の入力が終わったら、#を 2 回押します。
7. 「ピピッ」という音が続けて聞こえている間に、⑨⑥①を入力します。
8. 続けて外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力し、最後に#を 2 回押します。*1
9. 「ピー」という応答音が聞こえたら、受話器を置きます。
10. 本機からメモリー使用状況リスト P. 106 が転送されます。リストを見て、新しい転送番号が正しく入力されている か確認します。
11. 転送番号が間違っているときは、最初からやり直します。転送番号が正しければ、本機はファクス転送を行う準備が整っています。
   ●転送番号を登録すると、自動的にファクス転送が ON になります。

外出先からファクスを取り出す〔リモコンアクセス〕-3

リモコンアクセスコードの設定

1. 機能 1 7 3 を押します。

3.アンショウバンゴウ

2. テンキーでリモコンアクセスコードを入力します。

アンショウバンゴウ:159＊

3. セット を押します。

ウケツケマシタ

4. 停止 を押して設定は終了です。

★外出先から本機をリモートコントロールするリモコンアクセスコード（3 桁の数字と＊）を設定します。お買い上げ時は「159 ＊」に設定されています。

メモ

●リモコンアクセスコードは「3 桁の数字」を入力してください。4 桁目の＊は変えることができません。また、01 ＊、02 ＊などは設定できません。

リモコンアクセスコマンド

★リモコンアクセスコマンドを入力することにより、本機を下記のようにリモートコントロールすることができます。

機　　　能	コマンド
電話呼び出し、ファクス転送の設定をOFFにします。	951
ファクス転送に設定します。（番号未登録時は設定できません。）	952
電話呼び出しに設定します。（番号未登録時は設定できません。）	953
ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、#を2回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定がＯＮになります。	954
メモリー受信をONに設定します。	956
メモリー受信をOFFに設定します。	957
メモリー使用状況リストを取り出します。	961

機　　　能	コマンド
メモリーが記憶したファクスメッセージを取り出します。	962
メモリーが記憶したファクスメッセージを消去します。	963
ファクスメッセージを記憶しているかを確認します。記憶しているときは「ピー」という音が、記憶していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。	971
受信モードを「外付留守電モード」に変更します。	981
受信モードを「通常モード」に変更します。	982
受信モードを「ファクス専用」モードに変更します。	983
リモコンアクセスを終了します。	90

メモリーに記憶されたファクスデータの出力のしかた

1. 機能 1 7 4 を押します。

4:ファクス シュツリョク

3. スタート を押します。

プリントチュウ

4. プリント終了後 停止 を押します。

★メモリー受信の設定が ON に設定されているときに、メモリー受信でメモリーに蓄積されたファクスをプリントアウトするとともに、メモリーから消去します。

●メモリーに何も蓄積されていないとディスプレイにデータガアリマセンと表示されますので停止ボタンを押してください。

レポートの作成 -1

レポートとリストの種類

1. 送信レポート
●送信後に送信結果をプリントします。お買い上げ時はOFF +イメージに設定してあります。

1.ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ

2. 通信管理レポート
●送信・受信した最新の合計 50 通信分の結果をプリントします。

2.ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

3. ダイヤルリスト
●ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録された内容をプリントします。

3.ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ

4. 電話帳リスト
●ダイヤルリストを 50 音順・アルファベット順にプリントします。

4.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾘｽﾄ

5. 機能案内リスト
●簡単操作リストをプリントします。

5.ｷﾉｳｱﾝﾅｲ

6. 設定内容リスト
●各種機能に登録・設定されている内容をプリントします。

6.ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳ ﾘｽﾄ

7. メモリー使用状況リスト
●使用されているメモリー量などメモリーの使用状況をプリントします。

7.ﾒﾓﾘ ｼﾖｳ ｼﾞｮｳｷｮｳ

8. 消耗品シート
●インクカートリッジなどの消耗品をFAXでご注文頂くためのオーダーシートをプリントできます。

8.ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ｼｰﾄ

■自動的にプリントされるレポート

●タイマー通信レポート
タイマー通信が終了するとプリントされます。
●ポーリングレポート
ポーリング送信が終了するとプリントされます。
●同報送信レポート
順次同報送信が終了するとプリントされます。

電源を抜くときのご注意
電源を抜くと通信管理レポートの内容が消去されてしまいます。ご注意ください。

送信レポートをプリントする

ファクス送信後に送信レポートをプリントするかしないかを設定します。

1. 機能 1 6 1 を押します。
2. ◁ ▷ で選択します。*1
3. セット を押します。
4. 停止 を押して設定は終了です。

1.ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ

ｿｳｼﾝ:ON

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

*1
● 「ON」
送信後に毎回自動的にプリントします。

● 「ON +イメージ」
「ON」の動作に加えて、ファクスの 1 ページ目の画像も表示されます。

● 「OFF」
通信エラーが発生したときや上手く送信できなかったときに、自動的にプリントします。

● 「OFF +イメージ」
「OFF」の動作に加えて、ファクスの 1 ページ目の画像も表示されます。

●お買い上げ時は、「OFF イメージ」に設定してあります。

●リアルタイム送信時には画像出力されません。

ご使用の前に / 準備をしましょう / ファクスをする / コピーをする / ビデオプリントする / フォトメディアキャプチャー / コンピュータと接続する / プリンタを使う / スキャナを使う / 日常のお手入れ / こんなときには / 用語集・索引

レポートの作成 -2

通信管理レポートをプリントする

送受信した最新の合計 50 通信分の通信結果をプリントします。

●すぐに通信管理レポートをプリントするとき

1. 機能 1 6 2 を押します。
   2.ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ
2. ◁ ▷で「ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾘｽﾄ」を選択します。
   ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾘｽﾄ
3. セットを押し スタート を押します。
   ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾁｭｳ
4. プリント終了後 停止 を押して終了です。

●通信管理レポートの出力間隔を設定してプリントするとき

1. 機能 1 6 2 を押します。
   2.ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ
2. ◁ ▷で「ｼｭﾂﾘｮｸ ｶﾝｶｸ」を選択します。※ 1
   ｼｭﾂﾘｮｸ ｶﾝｶｸ
3. セットを押します。
   ﾚﾎﾟｰﾄ ｼｭﾂﾘｮｸ ｼﾅｲ
4. ◁ ▷で間隔を選択し セット を押します。※2
   7ｶ ｺﾞﾄ
5. ◁ ▷で曜日を選択し セット を押します。
   ｹﾞﾂﾖｳﾋﾞ ｺﾞﾄ
6. 開始時間を入力し セット を押します。※ 3
   ｶｲｼ ｼﾞｶﾝ:00:00
7. 停止 を押して操作は終了です。
   ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

●通信管理レポートの出力間隔は好みの間隔に設定できます。

※ 2 出力間隔は、
OFF/1 時間ごと /3 時間ごと /6 時間ごと /12 時間ごと /24 時間ごと /2 日ごと /4 日ごと /7 日ごとに設定することができます。

お買い上げ時の設定は、プリントしない「OFF」です。

OFF に設定したときは、必要なときに「ﾌﾟﾘﾝﾄﾘｽﾄ」を選ぶとすぐにプリントすることができます。

※ 1
定期的にレポートを出力しない（「ﾚﾎﾟｰﾄｼｭﾂﾘｮｸ ｼﾅｲ」）に設定したときは、セットを押し手順 7 に移ります。

※ 2
「7 日ごと」以外に設定したときは、セットを押し手順 6 に移ります。

※ 3
「ﾚﾎﾟｰﾄｼｭﾂﾘｮｸ ｼﾅｲ」以外に設定したときは、開始時間を基準にしてプリントします。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語集・索引

レポートの作成 -3

各種リスト、消耗品オーダーシートのプリントのしかた

●ダイヤル登録をプリントする〔ダイヤルリスト〕

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤルに登録された内容をプリントします。

1. 機能 1 6 3 を押します。
2. スタート を押します。
3. プリント終了後 停止 を押して終了です。

3.ダイヤル リスト
プリント チュウ

●ダイヤルリストを 50 音順にプリントする〔電話帳リスト〕

ダイヤルリストを 50 音順・アルファベット順にプリントします。

1. 機能 1 6 4 を押します。
2. スタート を押します。
3. プリント終了後 停止 を押して終了です。

4.デンワチョウ リスト
プリント チュウ

●相手先名称の登録されていないワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルやグループダイヤルは、アイテサキメイショウの欄が空欄になり、リストの最後にプリントされます。

●簡単操作リストをプリントする〔機能案内リスト〕

簡単操作のリストをプリントします。

1. 機能 1 6 5 を押します。
2. スタート を押します。
3. プリント終了後 停止 を押して終了です。

5.キノウアンナイ
プリント チュウ

●登録・設定状況をプリントする〔設定内容リスト〕

各種機能に登録･設定されている内容を確認するときにプリントします。

1. 機能 1 6 6 を押します。
2. スタート を押します。
3. プリント終了後 停止 を押して終了です。

6.セッテイナイヨウ リスト
プリント チュウ

●メモリーの使用状況をプリントする〔メモリー使用状況リスト〕

メモリー使用状況リストはメモリー送信、タイマー送信、ポーリング送信待機中などで使用されているメモリー量と使用可能なメモリーがパーセントで表示されます。また、メモリー受信したファクスメッセージの総数が確認できます。

1. 機能 1 6 7 を押します。
2. スタート を押します。
3. プリント終了後 停止 を押して終了です。

7.メモリ シヨウ ジョウキョウ
プリント チュウ

●消耗品オーダーリストをプリントする〔消耗品シート〕

インクカートリッジなどの消耗品を FAX でご注文いただくためのオーダーシートをプリントすることができます。

1. 機能 1 6 8 を押します。
2. スタート を押します。
3. プリント終了後 停止 を押して終了です。

8.ショウモウヒン シート
プリント チュウ

おぼえておきましょう ●本機の操作を忘れてしまったときに機能案内リストが役立ちます。

コピーをする-1

本機のコピー機能について

●本機には以下のコピー機能が備わっています。ご利用目的にあわせてお使いください。

●連続コピーをすることができます。 ……………… P. 109
●高品質なカラーコピーがとれます。 ………………… P. 111
●拡大・縮小コピーができます。 ……………………… P. 111
●ソートコピー・スタックコピーができます。 ……… P. 118
●ハガキへのコピーができます。 ……………………… P. 119

コピーが禁じられています。!!

法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

●法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）

・紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
・外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
・未使用の郵便切手や官製ハガキ
・政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類

●著作権のある物

著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用するため以外の目的でコピーすることは禁止されています。

●その他の注意を要する物

・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

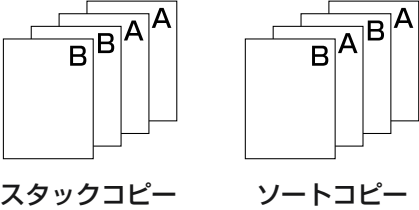
原稿を ADF（自動原稿送り装置）にセットしてコピーします。

●特に濃い、または薄い文字の原稿をコピーするときは、原稿濃度を変更してからコピーしてください。P. 115

●原稿のセットのしかたは P. 25 を参照してください。

●通常コピー用紙は A4 サイズをお使いください。ハガキにコピーするときは、「オプション」ボタンを使っての設定が必要です。P. 119 を参照ください。

●複数部コピーしたいときは、スタックコピーとソートコピーの2通りがあります。

スタックコピー　　ソートコピー

●コピー（特にカラーの場合）をする場合は用紙の選択は品質に大きな影響を与えます。当社の推奨紙をお使いください。用紙の詳細は P. 5 を参照してください。

●コピーの読みとり範囲の詳細はファクスの読み取り範囲と同じです。P. 40 を参照してください。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語集・索引

コピーをする -2

ADF を使ってコピーをする

1.ADF に原稿をセットします。

2. カラーコピーか モノクロコピー を押します。[*1]

コピー マイスウ:01

3. 枚数を入力し カラーコピーか モノクロコピー を押します。[*2]

コピーが開始されます。

●ソートコピーのしかた（モノクロコピーのみ）

1.ADF に原稿をセットします。

2. オプション を押します。[*3]

コピー:オプション

3. 小 音量 大 で

「コピー：オプション」を選択し セット を押します。

オプション:ソート

4. で

「オプション：ソート」を選択し セット を押します。

5. モノクロコピー を押します。

ソート コピー:01

6. 枚数を入力し、もう一度、モノクロコピー を押すか 5 秒待ちます。

コピーが開始されます。

*1 コピーボタンを押さずにそのまま 5 秒間放置すると、自動的にコピーを開始します。

*1 途中で止めるときは、まだ繰り込まれていない原稿を取り、「停止」ボタンを押します。

*2 コピー部数を間違えて入力した場合は、「停止」ボタンを押して手順 2 からやり直してください。

*3 オプション（用紙のタイプ、解像度、明るさ、ソート、拡大 / 縮小等）が個別に指定できます。くわしくは P. 113 を参照してください。

●コピーの読みとり範囲の詳細はファクスの読み取り範囲と同じです。
P. 40 をご参照ください。

メモ

● 1 枚の原稿がメモリーに入りきらないときは、マルチコピーはできません。シングルコピーを繰り返してください。

●原稿の読み込み途中でメモリーがいっぱいになったときは「停止」ボタンを押してコピーを停止させて、キャンセルするか、「コピー」ボタンを 1 回押して、メモリーに読み込まれた原稿のみコピーします。残りの原稿はもう 1 度コピーし直してください。

●コピー中に用紙がなくなったときは、用紙をセットすれば、コピーは続けられますが、用紙がなくなったまま 5 分間放置すると、それ以降のコピーは無効になります。用紙をセットし、あらためてコピー操作を行ってください。

●ソートコピーはモノクロコピーのみです。カラーコピーはソートできません。

おぼえておきましょう ●メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。メモリーの残量に注意してください。

こんな時は…
★ ADF に原稿が詰まったときは P. 221

コピー設定 -1

拡大・縮小コピーをする

倍率を変えてコピーできます。

1.ADF に原稿をセットします。

2.〇 拡大/縮小 を押し ◁ ▷（小 ― 音量 ― 大）で倍率を選びます。*1

3.〇（セット）を押し、〇 カラーコピー か 〇 モノクロコピー を押します。

4. 枚数を入力し 〇 カラーコピー か 〇 モノクロコピー を押します。

ヘン バ イリツ:100%

コピー マイスウ:05

コピーが開始されます。

*1 設定できる倍率は…………
- ●縮小；25%、50%、75%、87%、93%、
- ●拡大；120%、125%、150%、200%、400%
- ●ズーム；25%～ 400%の間で 1%ごとの調整

■ズーム設定のしかた

1.「拡大 / 縮小」ボタンを押します。
2.「←/→」ボタンで「ズーム」を選択し、「セット」ボタンを押します。
3.「ダイヤル」ボタンで倍率を入力し、「セット」ボタンを押します。
4.「カラーコピー」か「モノクロコピー」ボタンを押します。
5. 枚数を入力し、「カラーコピー」か「モノクロコピー」ボタンを押します。

メモ

- ● B5 あるいは A5 から A4 サイズへの拡大率は下記の倍率を目安にしてください。

  B5 → A4：拡大率 120%
  A5 → A4：拡大率 150%

- ●ハガキにコピーする場合は、「オプション」ボタンを使って設定します。P. 119 を参照ください。

コピーの画質を設定する

原稿の内容によってコピーの画質を選択できます。

1.ADF に原稿をセットします。

2.〇 画質 を押し ◁ ▷（小 ― 音量 ― 大）で画質を選びます。*1

3.〇（セット）を押し、 カラーコピー か モノクロコピー を押します。

4. 枚数を入力し 〇 カラーコピー か 〇 モノクロコピー を押します。

ガシツ:ヒョウジュン

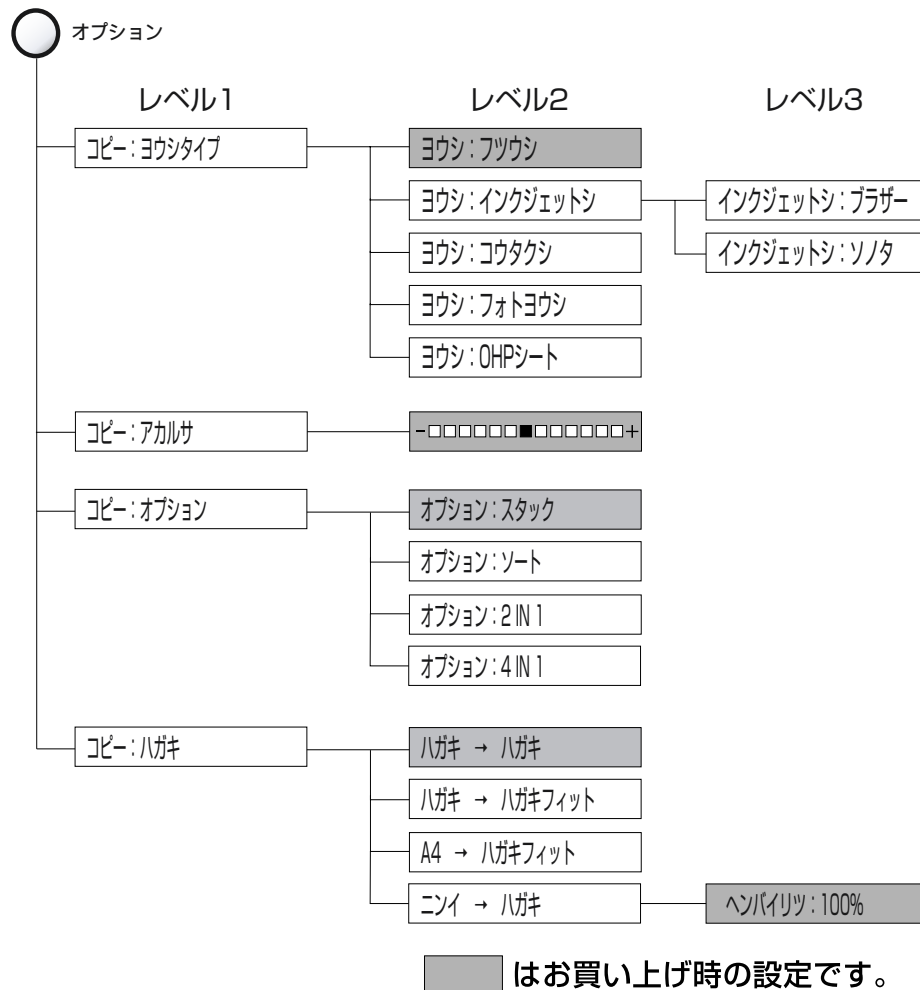
*1 画質の種類は下記の４種類あります。
- ●「ドラフト」
  印刷コスト低い、高速印刷、確認印刷用
- ●「ヒョウジュン」
  標準の設定。良好な品質
- ●「コウガシツ」
  高品位プリント用。やや遅い。
- ●「シャシン」
  より高画質。印刷スピードは遅い。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語集・索引

コピー設定 -2

オプションボタンを使って、設定を一時変更する -1

「オプション」ボタンを使って、コピーの用紙や画質の設定を必要に応じて簡単に変更できます。

□ はお買い上げ時の設定です。

「オプション」ボタンでの設定は一時的なものであり、本機はコピーが終了すると初期設定にもどります。最適なコピーをするために様々な設定の組み合わせができます。

●オプションキーの設定方法

1. 原稿をセットして オプション を押します。
2. でレベル 1 のいずれかの項目を選択し、セット を押します。
3. レベル 2、3 についても ◁ ▷ で設定内容を選択し セット を押します。
4. LCD はレベル 1 にもどりますので他の設定をする場合は、手順 2 ～ 3 を繰り返してください。
   ●他の設定をしない場合は手順5に進みます。
5. カラーコピー か モノクロコピー を押します。
6. 枚数を入力し、もう一度 カラーコピー か モノクロコピー を押します。

●コピーの初期設定を変更するには P. 121 をご参照ください。

おぼえておきましょう ●毎回、同一のオプションを設定しなければならないような場合は、初期設定を変更してください。P. 121

こんな時は…

★ハガキからハガキにコピーする場合は P. 119 を参照ください。

コピー設定 -3

オプションボタンを使って、設定を一時変更する -1

●用紙のタイプを設定するには

本機は用紙のタイプに合わせて 5 種類の設定ができます。

1. 原稿をセットして オプション を押します。
2. ◁ ▷（小 音量 大）で「ｺﾋﾟｰ；ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ」を選択します。
3. セット を押し ◁ ▷（小 音量 大）で用紙を選択します。*1
4. セット を押します。*2

ｺﾋﾟｰ　ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ

ﾖｳｼ：ﾌﾂｳｼ

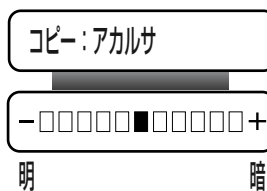
●コピーの明るさを調整するには

コピーの明るさを変えることができます。

1. 原稿をセットして オプション を押します。
2. ◁ ▷（小 音量 大）で「ｺﾋﾟｰ；ｱｶﾙｻ」を選択します。
3. セット を押し ◁ ▷（小 音量 大）で明るさを調整します。
4. セット を押します。*2

ｺﾋﾟｰ：ｱｶﾙｻ

－□□□□□■□□□□□＋

明　暗

*1 設定できる用紙
- 普通紙
- インクジェット紙　ブラザー
  その他
- 光沢紙
- フォト用紙
- OHP シート

*1 インクジェット紙を選択するとブラザー製かその他か選択できます。

●用紙についての詳細は P. 5 を参照してください。

*2 手順４で「セット」を押した後、手順２へ戻ります。その他のコピーオプションを設定したい時は、手順２でそれぞれの項目を選択してください。他の設定をしない場合は「コピー」ボタンを押してください。

メモ

●コピーの初期設定を変更するには P. 121 を参照してください。

●設定後コピーボタンを押すとコピーを開始します。

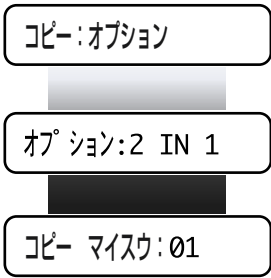
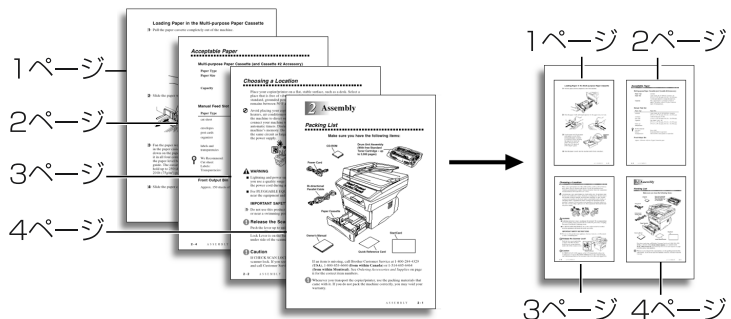
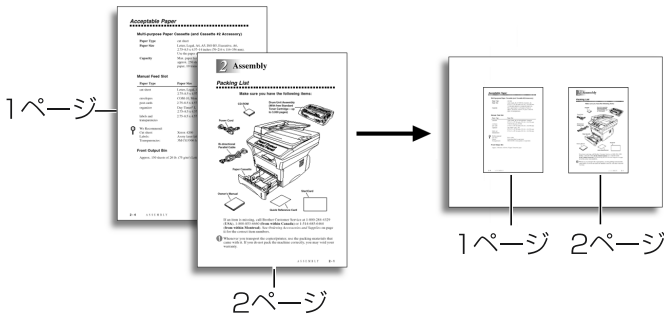
●ここでの設定は、コピーが終了すると元に戻ります。

コピー設定 -4

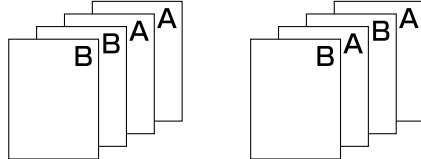
オプションボタンを使って、設定を一時変更する -2

●オプションコピー（モノクロコピーのみ）

2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることが可能です。

1. 原稿をセットして オプション を押します。
2. ◁ ▷ で「ｺﾋﾟｰ；ｵﾌﾟｼｮﾝ」を選択します。
3. セット を押し ◁ ▷ でｵﾌﾟｼｮﾝを選択します。
4. セット を押します。*1

4in1

2in1

ソートコピー

●複数の原稿を仕分けしてコピーします。設定されない場合は、スタックコピーになります。

*1 手順4で「セット」を押した後、手順2へ戻ります。その他のコピーオプションを設定したい時は、手順2でそれぞれの項目を選択してください。設定を行なわない場合は「コピー」ボタンを押します。

●設定後「コピー」ボタンを押すとコピーを開始します。

●ここでの設定は、コピーが終了すると元に戻ります。

●ハガキへコピーする場合、2 in 1、4 in 1、ソートコピーは設定できません。

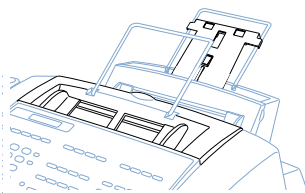
● 4 in 1、2 in 1、ソートコピー、スタックコピーはモノクロのみ設定できます。

コピー設定 -5

オプションボタンを使って、設定を一時変更する -3

本機ではハガキにコピーするための設定ができます。

●ハガキにコピーする

1. はがき用アタッチメントを本体に取り付けます。
2. 用紙厚調整レバーを下げます。P. 185 を参照してください。
3. 給紙トレイにハガキをセットします。印字面を手前にしてはがき上端が下にくるように縦向きにセットしてください。用紙ガイドを合わせます。

4. ADF に原稿をセットして オプション を押します。
原稿がハガキサイズの場合には必ず付属のキャリアシートをお使いください。*1

5. ◁ ▷ で「ｺﾋﾟｰ:ﾊｶﾞｷ」を選択します。

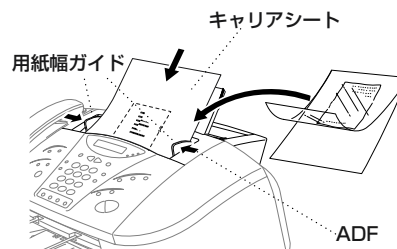
6. セット を押し ◁ ▷ で倍率を選択します。*2
7. セット を押します。

■「ﾆﾝｲ→ﾊｶﾞｷ」を選択したときの倍率設定のしかた

1. 上記手順４で「ﾆﾝｲ→ﾊｶﾞｷ」を選択し セット を押します。
2. 「ﾍﾝﾊﾞｲﾘﾂ :100%」と表示されますので、ダイヤルボタンで倍率を入力し「セット」を押します。

●設定できる倍率は 50%から 150%の 1%刻みです。
● B5 あるいは写真（L 版）への縮小、拡大率は下記のとおりです。

B5	→	はがき	50%
写真（L 版）	→	はがき	105%

*1 ●はがきサイズの原稿セットのしかた

・必ずキャリアシートを使って原稿を下向きにセットします。

*2 ●ハガキへのコピーは以下の４種類あります。

・ハガキ→ハガキ
そのままの倍率でコピーします。

・ハガキ→ハガキフィット
ハガキサイズの原稿を本機のプリント範囲内に納まるように縮小してコピーします。

・A4 →ハガキ
A4 サイズの原稿をハガキサイズに縮小してコピーします。

・ニンイ→ハガキ
任意の倍率でコピーします。

メモ

●はがきの給紙のしかたの注意
・はがきは横向きにはセットできませんのでご注意ください。
・往復ハガキにはコピーできません。

●「ｺﾋﾟｰ:ﾊｶﾞｷ」を選択した場合、「拡大／縮小」ボタンは無効になります。

●「拡大／縮小」ボタンで先に倍率設定してある場合、「ｺﾋﾟｰ:ﾊｶﾞｷ」は選択できません。
選択する場合は「停止」ボタンを押してから「ｺﾋﾟｰ:ﾊｶﾞｷ」を選択してください。

●はがきの印刷可能範囲については P. 5 を参照してください。

●はがきにコピーする場合、2 in 1、4 in 1、ソートは設定できません。

コピー設定 -6

コピーの初期設定を変更する

本機をお買い上げ時の設定を変更します。変更された内容は次にコピーをするときも有効です。一時的に設定内容を変更したい時は、「オプション」ボタンを変更してください。P. 113

●用紙タイプを変更する

コピーする用紙のタイプを設定します。

1. 機能 3 1 を押します。
2. ◁ ▷ で用紙を選択します。*1
3. セット を押します。
4. 停止 を押します。

*1 設定できる用紙
- 普通紙
- インクジェット紙　ブラザーその他
- 光沢紙
- フォト用紙
- OHP シート

●お買い上げ時は「ﾌﾂｳｼ」に設定されています。

●画質を変更する

コピーの画質を設定します。

1. 機能 3 2 を押します。
2. ◁ ▷ で画質を選択します。*2
3. セット を押します。
4. 停止 を押します。

*2
●画質は以下の４種類から選べます。
「ドラフト」
印刷コスト低い、高速印刷、確認印刷用
「ヒョウジュン」
標準の設定。良好な品質
「コウガシツ」
高品位プリント用。やや遅い。
「シャシン」
より高画質。印刷スピードは遅い。

●お買い上げ時は「ヒョウジュン」に設定されています。

●カラー調整する

赤（R）、緑（G）、青（B）各色のバランスを調整します。

1. 機能 3 3 を押します。
2. ◁ ▷ で設定する色を選択します。
3. セット を押します。
4. ◁ ▷ でカラーバランスを調整し セット を押します。*3
5. 停止 を押します。

*3〔例〕赤を選んだ場合

R:−□□□□□■□□□□□+

少◀　▶多

▶ を押すと赤の割合が多くなります

●お買い上げ時は「中間」に設定されています。

●コントラストを調整する

コントラストを調整します。

1. 機能 3 4 を押します。
2. ◁ ▷ でコントラストを調整します。
3. セット を押します。
4. 停止 を押します。

−□□□□□■□□□□□+

弱◀　▶強

▶ を押すとよりコントラストが強くなります

●お買い上げ時は「中間」に設定されています。

●単色印字を設定する

白黒の原稿を「モノクロコピー」ボタンでコピーするとき、単色カラーでコピーする機能です。

1. 機能 3 5 を押します。
2. ◁ ▷ で使用するカラーを選択します。
●黒を使用するときは「OFF」を選択します。
3. セット を押します。
4. 停止 を押します。

●お買い上げ時は「OFF」（黒）に設定されています。
●使用できるカラーはシアン（青）、マゼンタ（赤）、イエロー（黄）の３色です。

ビデオプリントする

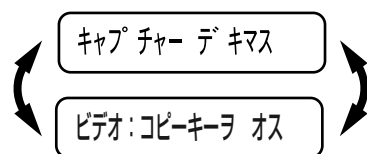
ビデオ映像のプリント

本機には以下のビデオプリント機能が備わっています。ご利用目的に合わせてお使いください。

●カラー / モノクロのビデオ画像がプリントできます。
●ビデオカメラ、デジタルカメラ、テレビゲーム、ビデオカセットレコーダーの画像がプリントできます。
●動画と静止画のプリントができます。

●ビデオプリントモードを設定する（自動設定）

ビデオカメラ、デジタルカメラ、テレビゲーム、ビデオカセットレコーダーが本機に接続され、映像信号が本機に送られているときは、コピーボタンはビデオプリントの機能をします。また、ディスプレイは下記のように表示されます。

ｷｬﾌﾟﾁｬｰ ﾃﾞｷﾏｽ
ﾋﾞﾃﾞｵ:ｺﾋﾟｰｷｰｦ ｵｽ

●本機は NTSC 方式の映像信号にのみ対応しています。

●ADFに原稿がない状態で、ビデオカメラのアナログビデオ出力端子と本機のRCA ジャックをケーブルで接続してから、ビデオを再生してください。

カラー・モノクロのビデオプリント

1. ビデオカメラ等のアナログビデオ出力端子と本機の ＲＣＡ ジャックをケーブルで接続します。*1
2. ビデオを再生します。

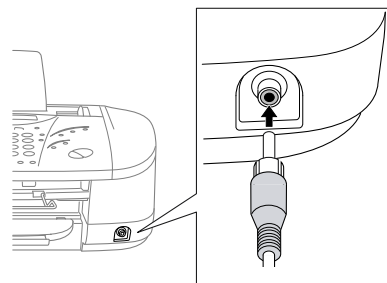
ﾋﾞﾃﾞｵ:ｺﾋﾟｰｷｰｦ ｵｽ

3. コピー、印刷したい画像がでたら カラーコピー か モノクロコピー を押します。
4. ダイヤルボタンで枚数を入力し カラーコピー か モノクロコピー を押します。

*1 ＡＤＦ（原稿自動送り装置）に原稿がないことを確認してください。

●「画質」ボタンで画質を変更することができます。P. 125

●「オプション」ボタンで、画像タイプ（動画 / 静止画）等の設定を変更することができます。P. 127

メモ

●本機のメモリー容量が不足するとビデオプリントはできません。

●ビデオカメラ、デジタルカメラ、テレビゲーム、ビデオカセットレコーダーが本機に接続され映像信号が本機に送られると、コピーボタンは自動的にビデオプリントの機能をします。

●ビデオ機器の電源を切るか、 接続を外すと、コピーボタンは通常のコピーボタンとして機能します。

●本機が映像信号を受信していない場合、「ｺﾋﾟｰ」ボタンはビデオ機能用として作動しません。
p

ビデオが優先されます

接続されたビデオ機器に電源が入っていると、コピーボタン（カラー / モノクロ）はビデオ機能が優先されます。

ADF の原稿に注意

本機が映像信号を受信していても ADF に原稿が置かれていると通常のカラーコピーを行います。ADF の原稿は必ず取り除いてください。

おぼえておきましょう ● NTSC 方式とは「National Television System Committee」の略です。世界には大きく分けて 3 つのカラー方式があり、国によって異なります。日本やアメリカなどは NTSC 方式です。

ビデオプリントする

ビデオプリントの画質設定 03

ビデオプリントの画質を選択できます。

1. ビデオカメラなどのアナログビデオ出力端子と本機の RCA ジャックをケーブルで接続し、ビデオを再生します。
2. カラーコピー側の 画質 を押します。
3. ◁ ▷（小 ― 音量 ― 大）で「ヒョウジュン」か「コウガシツ」を選択します。*1
4. セット を押します。
5. カラーコピー か モノクロコピー を押します。
6. ダイヤルボタンで枚数を入力し、もう一度 カラーコピー か モノクロコピー を押します。

ガシツ：ヒョウジュン

ガシツ：コウガシツ

ビデオ：コピーキーヲ　オス

プリントチュウ

●お買いあげ時は「ヒョウジュン」に設定されています。

*1 メモリーがいっぱいのときは画質が変化します。

メモ

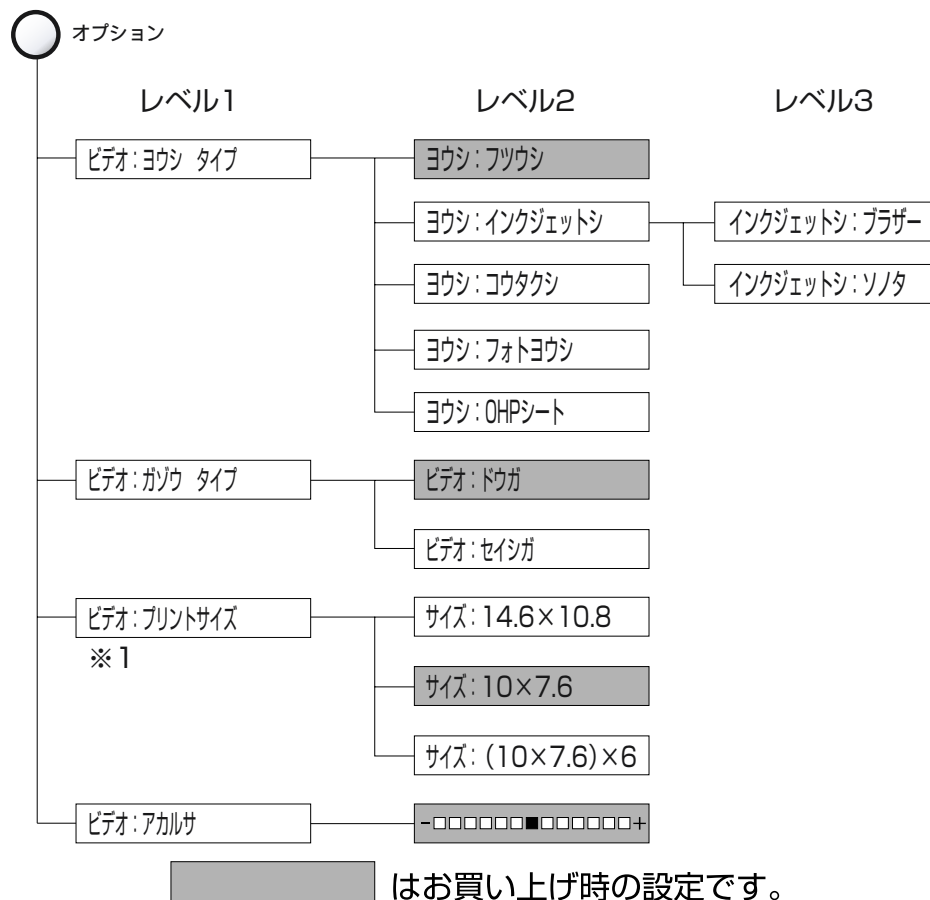
● ADF に原稿があるとビデオプリントできません。原稿は必ず取り除いてください。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語集・索引

ビデオ設定 -1

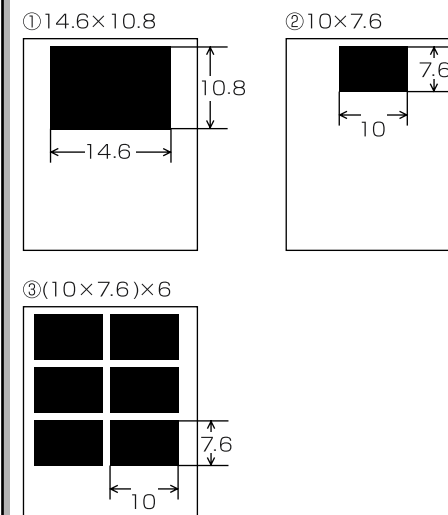
オプションボタンを使って、設定を一時変更する -1

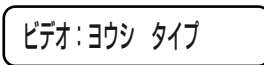
「オプション」ボタンを使って、ビデオプリントの画像等の設定を必要に応じて簡単に変更できます。
これらの設定は、一時的なものであり、本機はプリントが終了すると初期設定に戻ります。最適なプリントをするために様々な設定の組み合わせができます。

はお買い上げ時の設定です。

●「オプション」ボタンを使った設定方法

1. ビデオカメラ等の映像機器のアナログビデオ出力端子と本機のRCA ジャックをケーブルで接続して オプション を押します。
2. でレベル 1 のいずれかの項目を選択し、セット を押します。
3. レベル 2、3 についてもで設定内容を選択し セット を押します。
4. ディスプレイはレベル 1 にもどりますので他の設定をする場合は、手順 2 ～ 3 を繰り返してください。
   ●他の設定をしない場合は手順5に進みます。
5. ビデオを再生してプリントしたい画像が出たら カラーコピー か モノクロコピー を押します。
6. 枚数を入力し、もう一度 カラーコピー か モノクロコピー を押します。

●オプションを設定しない場合は、本機の初期設定でプリントされます。初期設定を変更するには P. 133 を参照ください。

※ 1
●ビデオプリントの割り付け

おぼえておきましょう ●自分で撮影したビデオ画像をプリントするときは撮影するときに標準モードで撮影したものをお使いください。倍速モードの場合、画像が荒れることがあります。

こんな時は…
★きれいにプリントできないときは、オプションの設定を変更してみてください。

ビデオ設定 -1

オプションボタンを使って、設定を一時変更する -2

●用紙のタイプを設定するには

本機ではビデオプリント用に用紙のタイプが設定できます。

1. ビデオを接続して オプション を押します。
2. ◁ ▷ で「ビデオ：ヨウシ タイプ」を選択します。
   ビデオ：ヨウシ タイプ
3. セット を押し ◁ ▷ で用紙を選択します。*1
   ヨウシ：インクジェットシ
4. セット を押します。*2

*1 設定できる用紙
- 普通紙
- インクジェット紙　ブラザー / その他
- 光沢紙
- フォト用紙
- OHP シート

*1 インクジェット紙を選択するとブラザー製か、その他か選択できます。

*2 手順 4 では「セット」ボタンを押すと、手順 2 にもどります。他のビデオオプションを設定したいときは続けて手順 2 から行ってください。
他の設定をしてない場合は「コピー」ボタンを押してください。

●画像のタイプを設定するには

本機ではビデオ画像のタイプが設定できます。

1. ビデオを接続して オプション を押します。
2. ◁ ▷ で「ビデオ：ガゾウタイプ」を選択します。
   ビデオ：ガゾウタイプ
3. セット を押し ◁ ▷ で画像を選択します。*3
   ビデオ：ドウガ
4. セット を押します。*2

本機がビデオ信号を受信する前に、動画、もしくは静止画のどちらを受信するか本機で設定してください。

*3 画像タイプは「セイシガ」「ドウガ」のどちらかが選択できます。

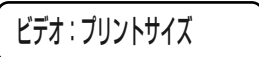
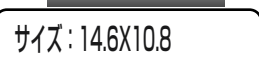
●お買い上げ時は「ドウガ」に設定されています。

メモ

●オプションを設定されない場合は本機の初期設定でプリントされます。初期設定の詳細は P. 133 を参照してください。

●それぞれの手順４で「セット」を押した後、手順２へ戻ります。その他のビデオプリントオプションを設定したい時は、手順２でそれぞれの項目を選択してください。

●ここでの設定は、プリントが終了すると元に戻ります。

おぼえておきましょう ●選択したビデオイメージをプリントするのに充分なメモリーがない場合は、静止画像であっても画像のプリント品質は悪くなります。

ビデオ設定 -1

オプションボタンを使って、設定を一時変更する -3

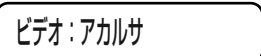
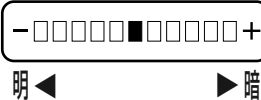
●プリントサイズを変更するには

本機ではプリントサイズの選択ができます。

1. ビデオを接続して オプション を押します。
2. 小 音量 大 で「ビデオ;プリントサイズ」を選択します。 ビデオ：プリントサイズ
3. セット を押し 小 音量 大 でサイズを選択します。[*1] サイズ：14.6X10.8
4. セット を押します。[*2]

*1 設定できるプリントサイズは以下のとおりです。　　　　（単位 cm）
14.6 × 10.8
10 × 7.6
10 × 7.6 × 6 枚（同一画像）

●お買い上げ時は 10 × 7.6 に設定されています。

●選択したサイズのプリント割り付け状態については P. 128 をご参照ください。

●プリントの明るさを調整するには

本機ではプリントの明るさが選択ができます。

1. ビデオを接続して オプション を押します。
2. 小 音量 大 で「ビデオ;アカルサ」を選択します。 ビデオ：アカルサ
3. セット を押し 小 音量 大 で明るさを調整します。[*3] −□□□□□□■□□□□□□+ 明◀ ▶暗
4. セット を押します。[*2]

*2 手順４で「セット」を押した後、手順２へ戻ります。その他のビデオプリントオプションを設定したい時は、手順２でそれぞれの項目を選択してください。
他の設定をしない場合は「コピー」ボタンを押してください。

*3 調整できる明るさは 11 段階です。
お買い上げ時は中間に調整されています。

メモ

●ここでの設定は「コピー」ボタンを押してプリントが終了すると元にもどります。

おぼえておきましょう ●プリント品質はビデオの再生機器によっても左右されます。

ビデオ設定 -2

ビデオプリントの初期設定を変更する -1

本機のお買い上げ時の設定を変更します。変更された内容は次にビデオプリントするときも有効です。一時的に設定内容を変更したい場合は、「オプション」ボタンを使用して変更してください。P. 127

●用紙タイプを選ぶ

使用したい用紙タイプを設定します。

1. 機能 4(タ GHI) 1(ア) を押します。
2. ◁ ▷（小 音量 大）で用紙タイプを選び セット を押します。

●設定できる用紙
　普通紙
　インクジェット紙　ブラザー
　　　　　　　　　　その他
　光沢紙
　フォト用紙
　OHP シート

●お買い上げ時は「フツウシ」に設定してあります。

●画質を選ぶ

プリントする画質を設定します。

1. 機能 4(タ GHI) 2(カ ABC) を押します。
2. ◁ ▷（小 音量 大）で画質を選び セット を押します。

●設定できる画質
「ヒョウジュン」、「コウガシツ」のどちらかが選べます。

●お買い上げ時は「ヒョウジュン」に設定されています。

●画像タイプ（動画 / 静止画）を選ぶ

プリントする画像を設定します。

1. 機能 4(タ GHI) 3(サ DEF) を押します。
2. ◁ ▷（小 音量 大）でタイプを選び セット を押します。

●入力される映像が「ドウガ」「セイシガ」のどちらかが選べます。

●お買い上げ時は「ドウガ」に設定されています。

●プリントサイズを選ぶ

プリントする大きさを選びます。

1. 機能 4(タ GHI) 4(タ GHI) を押します。
2. ◁ ▷（小 音量 大）でサイズを選び セット を押します。

●設定できるプリントサイズは以下のとおりです。　　（単位 cm）
　14.5 × 10.8
　10　× 7.6
　10　× 7.6 を 6 つ
の 3 種類あります。

●プリントエリアは P. 5 を参照してください。

●お買い上げ時は 10cm × 7.6cm に設定されています。

●カラー調整する

赤（R）、緑（G）、青（B）各色のバランスを調整します。

1. 機能 4(タ GHI) 5(ナ JKL) を押します。
2. ◁ ▷（小 音量 大）で色を選び セット を押します。
3. ◁ ▷（小 音量 大）で色の濃さを調整し セット を押します。

〔例〕赤を選んだ場合

少◀　　▶多

▶ を押すと赤の割合が多くなります

●お買い上げ時は「中間」に設定されています。

●コントラストを調整する

コントラストを調整します。

1. 機能 4(タ GHI) 6(ハ MNO) を押します。
2. ◁ ▷（小 音量 大）でコントラストを調整し セット を押します。

−□□□□□□■□□□□□□+

弱◀　　▶強

▶ を押すとよりコントラストが強くなります

●お買い上げ時は「中間」に設定されています。

フォトメディアキャプチャーセンターを使う -1

フォトメディアキャプチャーセンターについて

●デジタルカメラなどで使用されるコンパクトフラッシュ™、スマートメディア™カードを、本機のスロットに挿入することにより、カードに保存されている高画質な画像を、パソコンを介さずに直接プリントできます。

● DPOF プリントができます。…… P. 137
●インデックスをプリントできます。…… P. 139
●気に入った画像だけをプリントできます。…… P. 139

DPOF(デジタルプリントオーダーフォーマット) とは……

●イーストマン・コダック社、富士写真フィルム（株）、松下電器産業（株）、キャノン（株）が参画、制定したプリントフォーマットに関する規定です。デジタルカメラからの印刷を簡単に行える方式で、プリントしたい画像や枚数を簡単に指定できます。
この方式でプリントするためには DPOF 方式をサポートする機器で撮影する必要があります。

●メディアカードからプリントする。

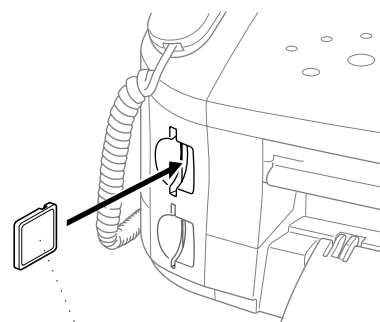
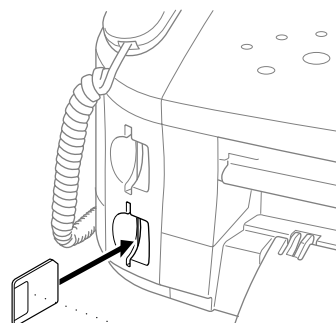
本機でコンパクトフラッシュ™、スマートメディア ™（以下メディアカードといいます。）からプリントをするためには以下のような流れで行います。
各操作の詳細については後述の説明を参照してください。

1. メディアカードを対応するスロットに挿入します。
2. データの読み込み（書き込み）が始まりランプが点滅します。
3. 転送が終わるとランプが点灯したままになります。
4. インデックスプリントを行います。
   インデックスプリントでイメージプリントする画像を選択します。
5. 選択した画像をプリントします。
   複数選択も可能です。プリント部数も指定できます。

コンパクトフラッシュ TM カードの挿入口は上側です。*1
スマートメディアカードの挿入口は下側です。*2

コンパクトフラッシュ™カード

スマートメディア™カード

メモ

●同時にカードを挿入したときはどちらか一方が選択されます。別のメディアに変更する場合は必ず、先に挿入済みのカードを取り出してから次のカードを挿入してください。

●メディア確認用ランプは、それぞれのカードが正しく挿入されているときに点灯します。

●点灯していない場合は、正しく挿入されているかどうか確認してください。

メディアカードについて

*1 本機に対応しているスマートメディアカードは、3.3V 専用です。
*2 コンパクトフラッシュ TM についてはタイプ2のメディアへの対応はしておりません。

ランプ点灯中の注意

ランプ点滅中は、データの読み込み中（書き込み中）です。絶対にメディアカードを抜かないでください。（データやカードを破壊する恐れがあります。）

スロットに注意

カードの挿入口に物をいれないでください。内部を壊すおそれがあります。

おぼえておきましょう ●メディアカードは、磁気の強いところに置かないでください。

こんな時は…
★カードで認識できない時は、記録した機器に戻して確認してみてください。

フォトメディアキャプチャーセンターを使う -2

DPOF プリント

カードを挿入すると、カード内のデータが本機に送られ、選択した画像を自動的に印刷できるようになります。DPOF 方式をサポートするメディアカードから、直接印刷することができます。

1. カードをスロットに確実に挿入します。
   - ●カードが確実に挿入され、ランプが点灯していることを確認します。

S.MEDIA アクティブ
カラーコピーキー ヲ オス

2. カラーコピー を押します。
3. 画質等の設定を変更したい場合は、画質 か オプション を押します。*1
   - ●指定しない場合はそのまま手順 4 へ進んでください。

ヤジルシボタンデ センタク
DPOF プリント:ハイ?

4. カード上に DPOF 方式のファイルがあるとディスプレイに右のように表示されます。*2
5. セット を押します。
6. 自動的にプリントが開始されます。

インデックスプリントをする場合は…

1. 上記手順 3. で ◁ ▷（小 — 音量 — 大）を押し「DPOF　プリント：イイエ？」を選び、セット を押します。

1 インデックス 2 シャシン

2. 続けて 1（ア）を押すとインデックスプリントを開始します。

●ランプ点滅中は、データの転送中です。絶対にメディアカードを抜かないでください。（データやカードを破壊する恐れがあります。）

*1 オプションキーを使って一時設定を変更するには P. 143 を参照してください。

画質ボタンを使って画質を変更するには P. 141 を参照してください。
★オプションボタンまたは画質ボタンでの設定情報はカードが挿入されている限り保持されます。カードを抜くと、自動的に初期設定に戻ります。

*2 カード上に DPOF 方式のファイルがない場合は、ディスプレイに「1. インデックス　2. シャシン」と表示されます。
・インデックスをプリントする場合は「1」を選択してください。P. 139
・写真をプリントする場合は「2」を選択してください。P. 139

メモ

ADF の原稿に注意

フォトメディアキャプチャー機能をご利用になる場合、ADF（自動原稿送り装置）に原稿が残っていないことと ビデオ映像が接続されていないことを確認してください。原稿が残っている状態やビデオが接続されている状態でカラーコピーボタンを押すと、コピー機能やビデオプリント機能が優先されますのでメモリーカードからの印刷がされません。必ず、ADF から原稿を取り除き、ビデオの接続をはずしてください。

おぼえておきましょう インデックスプリントをすると画像上に番号が印字されます。

フォトメディアキャプチャーセンターを使う -3

インデックスプリント

1. カードをスロットに確実に挿入します。
   - ●カードが確実に挿入され、ランプが点灯しているとを確認します。
2. カラーコピー を押します。
3. 1 を押します。
   インデックスプリントが開始されます。
4. プリント終了後、画像番号の入力画面が表示されます。

カラーコピーキー ヲ オス

1インデックス 2シャシン

プリントチュウ

IMG:

●インデックスプリントは 1 行に 4 画像プリントされます。

●プリントされた画像の上に 3 桁の画像番号がプリントされます。

●1 度にプリントできるのは 999 画像までです。それ以上は無視されます。

●インデックスプリントではオプションが設定できません。

写真をプリントする

1. カードをスロットに確実に挿入します。
   - ●カードが確実に挿入され、ランプが点灯していることを確認します。
2. カラーコピー を押して 2 を押します。
3. プリントしたい画像の番号を入力します。*1
4. カラーコピー を押します。
5. 画像等の設定を変えたい場合は、画質 か オプション を押します。
   - ●オプションキーを使って設定を変更するには P. 143 を参照してください。
   - ●画質変更は P. 141 を参照してください。
   - ●指定しない場合はそのまま手順 6 へ進んでください。
6. ダイヤルボタンで枚数を入力しもう一度 カラーコピー を押します。

カラーコピーキー ヲ オス

1インデックス 2シャシン

IMG:

IMG:1,3,6

*1 写真をプリントをするときに複数の画像イメージを選択して印刷することができます。

【例 1】

001.003.006 の 3 枚を印刷したいときは、①、⊛、③、⊛、⑥と入力します。LCD では、⊛はコンマ（,）が表示されます。

【例 2】

001 から 005 までを印刷したいときは、①、#、⑤と入力します。LCD では、#はハイフン（-）が表示されます。

メモ

●インデックスプリントをする場合はメディア上のすべてのデータが印刷されます。またメディア上にあるデータに自動的に番号を割り当てます。この割り当ての名称は、カメラ上でつけた名称やパソコン上でのファイル名は認識していません。順を追って 001,002,003 のようにファイル名が付けられます。

●オプションキーでの設定情報はカードが挿入されている限り保持されます。カードを抜くと、自動的に初期設定に戻ります。

おぼえておきましょう ●インデックスプリントをして番号を確認してから自分のほしい画像をプリントします。

フォトメディアキャプチャーセンターを使う -4

プリントの画質設定

ビデオプリントの画質を選択できます。

1. カラーコピー側の 画質 を押します。
2. 小 音量 大 で「ヒョウジュン」か「コウガシツ」を選択します。*1
3. セット を押して設定終了です。

ｶﾞｼﾂ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

ｶﾞｼﾂ:ｺｳｶﾞｼﾂ

ｶﾗｰｺﾋﾟｰｷｰ ｦ ｵｽ

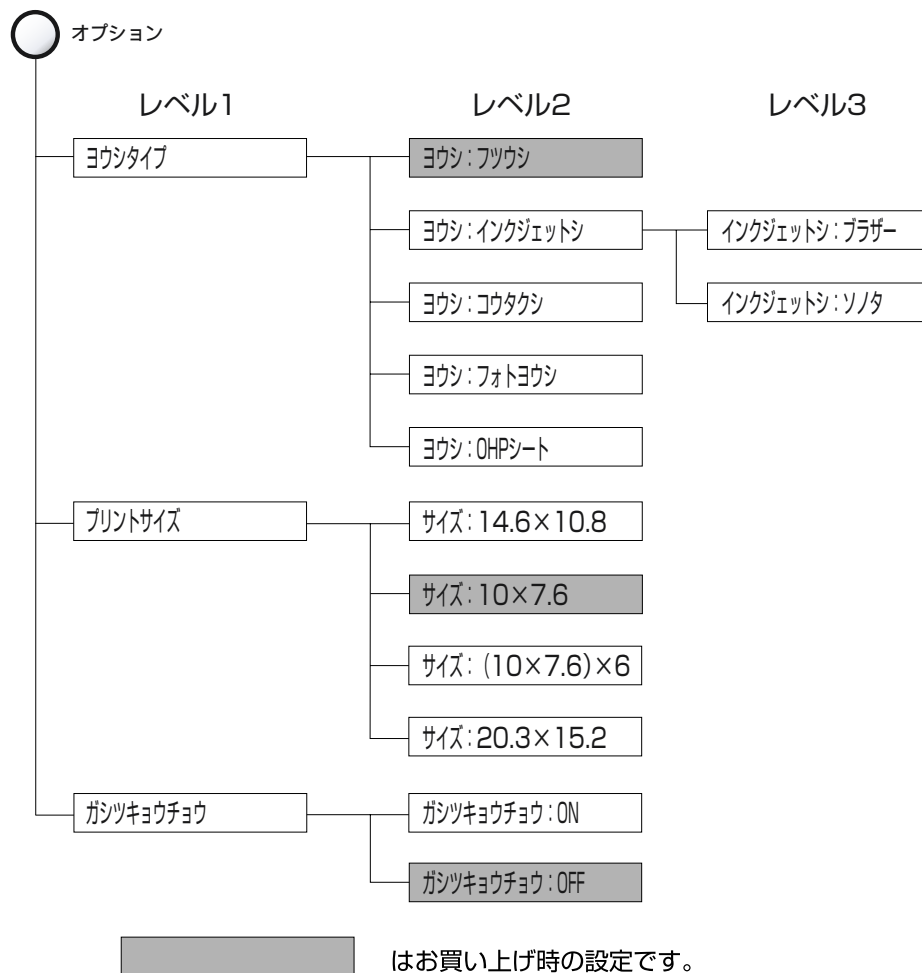
*1 メモリーがいっぱいのときは画質が変化します。

メモ

フォトメディアキャプチャー設定 -1

オプションボタンを使って、設定を一時変更する -1

「オプション」ボタンを使って、フォトメディアキャプチャーの画像や画質の設定を必要に応じて簡単に変更できます。

（網掛け）はお買い上げ時の設定です。

これらの設定は、カードが挿入されている限り保持します。カードを抜くと自動的に初期設定に戻ります。

●「オプション」ボタンを使った設定方法

1. オプション を押し

でレベル 1 のいずれかの項目を選択し セット を押します。

2. レベル 2、3 についても

で 選 択 し、セット を押します。

3. ディスプレイ表示は、レベル 1 にもどります。他の設定をする場合は手順2を繰り返してください。

●他の設定をしない場合は手順 4 へ進んでください。

4. カラーコピー を押します。

5. 枚数を入力し カラーコピー を押します。

メモ

●フォトメディアキャプチャーの初期設定を変更するには P. 147 を参照してください。

●インデックスプリントする場合、設定の変更はできません。

フォトメディアキャプチャー設定 -1

オプションボタンを使って、設定を一時変更する -2

●用紙のタイプを設定するには

1. オプション を押します。
2. ◁ ▷（小 — 音量 — 大）で「ヨウシタイプ」を選択します。
3. セット を押し ◁ ▷（小 — 音量 — 大）で用紙を選択します。*1
4. セット を押して設定終了です。

ヨウシタイプ

ヨウシ：コウタクシ

本機ではフォトメディアキャプチャー用に用紙のタイプが設定できます。

*1 設定できる用紙
- 普通紙
- インクジェット紙　ブラザー / その他
- 光沢紙
- フォト用紙
- OHP シート

●お買い上げ時は「フツウシ」に設定されています。

●プリントサイズを設定するには

1. オプション を押します。
2. ◁ ▷（小 — 音量 — 大）で「プリントサイズ」を選択します。
3. セット を押し ◁ ▷（小 — 音量 — 大）でプリントサイズを選択します。*1
4. セット を押して設定終了です。

プリントサイズ

サイズ：20.3×15.2

本機ではフォトメディアキャプチャー用にプリントサイズが設定できます。

*1 設定できるプリントサイズは以下のとおりです。　（単位　cm）
- 14.6 × 10.8
- 10　× 7.6
- 10　× 7.6 × 6 枚
- 20.3 × 15.2

●お買い上げ時は 10 × 7.6 に設定されています。

●選択したサイズの割り付け状態について P. 128 をご参照ください。

●画質強調を設定するには

1. オプション を押します。
2. ◁ ▷（小 — 音量 — 大）で「ガシツキョウチョウ」を選択します。
3. セット を押し ◁ ▷（小 — 音量 — 大）で「ON」「OFF」を選択します。*2
4. セット を押して設定終了です。

ガシツキョウチョウ

ガシツキョウチョウ：ON

本機ではフォトメディアキャプチャー用に画質強調の設定ができます。画質強調を「ON」にすると、自動的に画像に補正がかかりより鮮やかにプリントできます。また、お好みに合わせてカスタマイズすることもできます。*2

*2 画質強調をカスタマイズするには「画質強調」を設定する。P. 149 を参照ください。

●お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

メモ

●オプションを設定されない場合は本機の初期設定で印刷されます。初期設定の詳細は P. 147 を参照してください。

●それぞれの手順４で「セット」を押した後、手順 2 へ戻ります。その他のフォトメディアキャプチャーを設定したい時は、手順 2 でそれぞれの項目を選択してください。

●これらの設定は、カードが挿入されている限り保持されます。カードを抜くと自動的に色初期設定に戻ります。

●それぞれの手順４で「セット」を押した後、手順２へ戻ります。その他のオプションを設定したい時は、手順２でそれぞれの項目を選択してください。

おぼえておきましょう　●画質強調を ON にすると印字時間がのびます。

フォトメディアキャプチャー設定 -2

フォトメディアキャプチャーの初期設定を変更する -1

本機の初期設定を変更します。変更された内容は次にフォトメディアキャプチャーを使うときも有効です。一時的に設定内容を変更したい場合は、「オプション」ボタンを使用して変更してください。P. 143

●用紙タイプを選ぶ

使用したい用紙タイプを設定します。

1. 機能 5 1 を押します。
2. ◁ ▷ で用紙タイプを選び*1 セット を押します。

*1 設定できる用紙
・普通紙
・インクジェット紙　ブラザーその他
・光沢紙
・フォト用紙
・OHP シート

●お買い上げ時は 「フツウシ」 に設定されています。

●画質を選ぶ

プリントする画質を設定します。

1. 機能 5 2 を押します。
2. ◁ ▷ で画質を選び *2 セット を押します。

*2 画質
「ヒョウジュン」、「コウガシツ」「シャシン」のどれかが選択できます。

●お買い上げ時は「コウガシツ」に設定されています。

●明るさを調整する

プリントする明るさを調整します。
元の画像が暗いときなどに設定を変更します。

1. 機能 5 3 を押します。
2. ◁ ▷ で明るさを調整し *3 セット を押します。

*3 −□□□□□□■□□□□□□+
暗い◀　▶明るい

●お買い上げ時は「中間」に設定されています。

●コントラストを調整する

プリントする白黒レベルを調整します。

1. 機能 5 4 を押します。
2. ◁ ▷ でコントラストを調整し *4
セット を押します。

*4 −□□□□□□■□□□□□□+
弱◀　▶強
▶ を押すとよりコントラストが強くなります

●お買い上げ時は「中間」に設定されています。

●カラーを調整する

赤(R)、緑(G)、青(B)各色のバランスを調整します。

1. 機能 5 5 を押します。
2. ◁ ▷ で調整したい色を選び
セット を押します。
3. ◁ ▷ で色の濃さを調整し *5
セット を押します。

*5〔例〕赤を選んだ場合

少◀　▶多
▶ を押すと赤の割合が多くなります

●お買い上げ時は「中間」に設定されています。

おぼえておきましょう ●入力機器を調整した方が良い場合もあります。

フォトメディアキャプチャー設定 -2

フォトメディアキャプチャーの初期設定を変更する -2

●画質強調を設定する
ホワイトバランス、シャープネス、カラー濃度を調整する機能です。

1. 機能 5 6 を押します。
2. ◁ ▷ で調整する項目を選択し、セット を押します。*1
3. ◁ ▷ で調整し、セット を押します。
4. 停止 を押して終了します。

*1 ●画質強調の設定では以下の項目について任意に設定できます。
・ホワイトバランス
イメージ中の白色部分の色合いを調整します。白色部分を調整することで、より自然に近い色合いにプリントすることができます。
・シャープネス
イメージ中の輪郭部分のシャープさを調整します。ピントがぼけたイメージを調整して、はっきりとしたイメージに調整できます。
・カラー濃度
イメージ中のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整します。イメージ全体をくっきりさせてプリントできます。

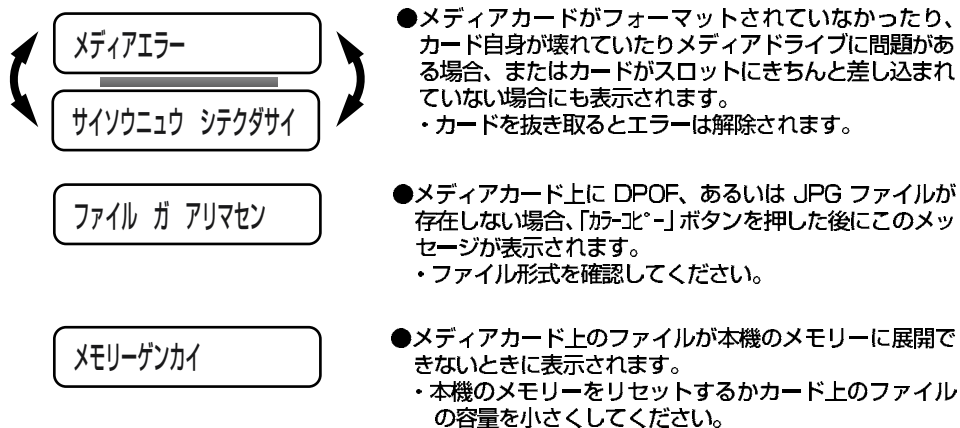
●お買い上げ時には「中間」に設定されています。

フォトメディアキャプチャーのエラーメッセージと制限事項

●エラーメッセージ
本機能を使用中に何らかの原因でエラーが発生すると以下のエラーメッセージが表示され、ビープ音が鳴ります。
以下の説明をよくお読みになり適切に対処してください。

メディアエラー / サイソウニュウ　シテクダサイ
●メディアカードがフォーマットされていなかったり、カード自身が壊れていたりメディアドライブに問題がある場合、またはカードがスロットにきちんと差し込まれていない場合にも表示されます。
・カードを抜き取るとエラーは解除されます。

ファイル　ガ　アリマセン
●メディアカード上に DPOF、あるいは JPG ファイルが存在しない場合、「カラーコピー」ボタンを押した後にこのメッセージが表示されます。
・ファイル形式を確認してください。

メモリーゲンカイ
●メディアカード上のファイルが本機のメモリーに展開できないときに表示されます。
・本機のメモリーをリセットするかカード上のファイルの容量を小さくしてください。

●制限事項
本機能をご利用になる場合、以下の事項にご注意ください。

●メディアカード上の DPOF ファイルは正しくフォーマットされたものをご使用ください。

●イメージファイルのフォーマットは JPG をご使用ください。（JPEG、TIFF その他のイメージファイルには対応しておりません。）

●メモリカード内に日本語のファイル名が付けられた JPEG の画像データが含まれている場合、その画像データはプリントの対象となりません。この場合、該当する画像データのファイル名を英語に変えてください。

●PC 上からデータを書き込んだ場合、本機能では4階層までしか読み込むことができません。プリントするファイルを保存する場合は 5 階層以上のフォルダ に保存しないでください。

●本機能を使ってのプリントと PC からのメディアカード操作 P. 217 は、同時には行えません。必ず片方の操作（作業）が終わってから操作（作業）してください。

コンピュータと接続する -1

接続の前に

本機とコンピュータを接続すると以下の機能がご利用になれます。

本機は同梱されている CD-ROM より、MFL-ProJ やその他のソフトウェアをインストールすると、マルチファンクションセンターとなります。

本機とコンピュータとの接続の概要

下記の機能をご利用になるにはソフトウェアが必要です。
本機とコンピュータを接続後、インストールしてください。

マルチファンクションセンターの機能

● OS またはお使いのプリンタケーブルによりセットアップ方法が異なりますので、お使いの OS またはお使いのプリンタケーブルの項目をお読みください。

お使いのコンピュータによっては、本機（ソフトウェア）の一部の機能が使えないことがあります。
コンピュータ環境を確認してください。P. 153

メモ

- 対応コンピュータは　PC/AT 互換機、Apple 社製 Macintosh® の USB ポート搭載機です。
- 対応 OS は Windows®95/98/98SE/Me/NT4.0/2000Professional、Mac OS 8.5 以上（Mac OS 9 対応）です。
- PC9800 シリーズには対応しておりません。
- Mac OS 8.5 をお使いの場合は、スキャナ機能が使えません。8.6 か 9.0 へバージョンアップが必要です。

コンピュータと接続する -2

コンピュータ環境

本機をコンピュータとお使いいただくためには以下のコンピュータ環境が必要です。

Windows® 環境

CPU
Pentium75MHz以上………………Windows®95/98/98SE
WindowsNT®Workstation Version4.0
Pentium133MHz以上…………Windows®2000Professional
Pentium150MHz以上………………………………Windows®Me

RAM
24MB以上……………Windows®95/98/98SE
(64MB以上をお勧めします。)
32MB以上……………Windows NT®Workstation Version4.0
Windows®Me
(64MB以上をお勧めします。)
64MB以上……………Windows®2000Professional
(128MB以上をお勧めします。)

必要ディスク容量
130MB以上の空き容量

稼動システム
Windows®95/98/98SE/Meもしくは
WindowsNT®Workstation Version4.0SP3
Windows®2000Professional

CD-ROMドライブ
2倍速以上必須

Macintosh® 環境

CPU
Power PC G3以上
Power PC G4対応

RAM
32MB以上
(64MB以上をお勧めします。)

必要ディスク容量
100MB以上のスペース

稼動システム
Mac OS 8.5、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4

インターフェース
USB（本体搭載機種）のみ

CD-ROMドライブ
2倍速以上必須

メモ

- Windows NT®3.51または、それ以前のものをお使いであれば、下記のエラーメッセージが画面に表示されます。
「Windows NT®3.51または、それ以前のものをお使いです。ブラザーMFL-ProJはこのWindows NT®のバージョンではお使いになれません。Windows NT®4.0にグレードをあげてMFL-ProJをインストールし直してください。」
- WindowsNT®Workstation 4.0あるいはWindows®2000Professionalをお使いでアドミニストレーターとしてログインされていない場合、エラーメッセージが表示され問題を説明します。
- Mac OS 9.0.2、9.0.3をお使いの場合は9.0.4へバージョンアップが必要です。
- Mac OS 8.5をお使いの場合は、スキャナ機能が使えません。8.6か9.0へバージョンアップが必要です。

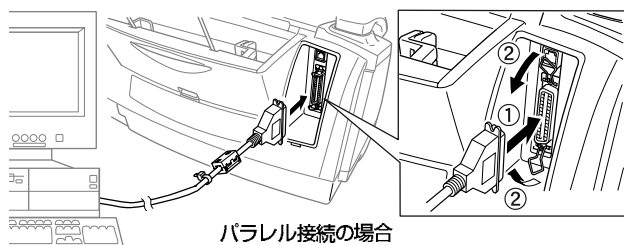
おぼえておきましょう ●コンピュータのRAM容量に余裕があると動作が安定します。

こんなときは……
★WindowsNT®/WSをお使いの方でアドミニストレーターとしてログインできない方はシステム管理者にお問い合わせください。

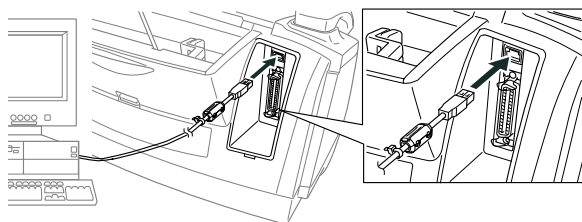
コンピュータと接続する -3

本機とコンピュータを接続する

●パラレルケーブルで本機とコンピュータを接続する。

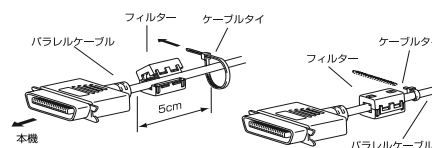
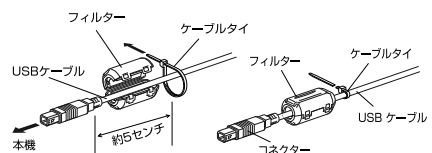
1. 本体に付属のフィルタとケーブルタイをケーブルに装着します。
   ●周辺機器への影響が軽減されます。装着をお奨めします。※1
2. パラレルケーブルで本機のパラレルポートと、コンピュータのパラレルポートを接続します。
   ●コネクタについているビスおよびワイヤクリップを止め忘れないでください。
3. 電源コードを接続します。

パラレル接続の場合

● USB ケーブルで本機とコンピュータを接続する。

1. USB ケーブルで本機の USB ポートとコンピュータの USB ポートを接続します。
2. 電源コードを接続します。

USB 接続の場合

作業を行う前に、必ず本機とコンピュータの電源コードをコンセントから抜いて、電源をオフにしてください。

※1●付属のフィルタとケーブルタイは下図を参考に取り付けてください。

パラレルケーブル

USB ケーブル

●接続が完了したらドライバとソフトウェアをインストールします。
OS またはお使いのプリンタケーブルによりセットアップ方法が異なりますので、お使いの OS またはお使いのプリンタケーブルの項目をお読みください。

メモ

●ケーブルについて
本機にはパソコン用のケーブルは付属しておりません。市販のケーブルをお求めください。接続には IEEE-1284 準拠で 1.8m 以下のインターフェイスケーブルか USB ケーブルをご使用ください。

● USB ケーブルで本機とコンピュータを接続した場合
Windows® 98 CD-ROM があることを確認してから開始してください。（お使いの PC によっては、必要ない場合があります）

● Mac OS 9.0.2、9.0.3 をお使いの場合は 9.0.4 へバージョンアップしてからインストールしてください。

ご使用の前に　準備をしましょう　ファクスをする　コピーをする　ビデオプリントする　フォトメディアキャプチャー　コンピュータと接続する　プリンタを使う　スキャナを使う　日常のお手入れ　こんなときには　用語集・索引

おぼえておきましょう ●ケーブルの接続はしっかりとコネクタに差し込んでください。接続不良の原因になります。

コンピュータと接続する -4

インストールするソフトウェアの選択

同梱の CD-ROM には以下のソフトウェアが収録されています。

お使いになりたいソフトウェアをお選びください。

●プリンタドライバ・スキャナドライバ

本機のプリンタ機能、スキャナ機能を利用するにはインストールが必要です。接続方法や、お使いのコンピュータによってインストールの方法が異なりますのでご注意ください。※1

● MFL-ProJ

本機をコンピュータから設定できるリモートセットアップをインストールします。P. 177

● Presto!™ PageManager と Presto!™ MaxReader

スキャナ機能、OCR 機能をお使いになるときに必要です。
また本機の操作パネルにあるスキャナ機能ボタン P. 1 をご利用になるにはインストールが必要です。P. 178

● Automatic E-mail Printing

E-メール を自動的にプリントしたり定期的に新着メールを確認する便利なソフトウェアです。さらに既存のメールソフトにも付加機能を提供します。P. 179

● Adobe Acrobat Reader4.0J

PDF ファイルを見るためにはインストールが必要です。
Presto!™ PageManager と Presto!™ MaxReader の取扱説明書は PDF ファイルです。

●ボーナスフォント

付属の CD-ROM には 7 種類の TrueType フォントが収録されています。ご希望のフォントをお使いのコンピュータにインストールできます。P. 180

※1パラレル接続でインストールする

Windows®95/98/98SE/Me…… P. 159
Windows®2000Professional … P. 162
WindowsNT®Workstation4.0 … P. 165

USB 接続でインストールする

Windows®98/98SE/Me ……… P. 169
Windows®2000Professional … P. 173

MacOS 8.5/8.51/8.6/9.0/9.0.4
…………………………………… P. 181

ブラザーリソースマネージャ

●本機とコンピュータを組み合わせて使用するときは、ブラザーリソースマネージャが必要となります。MFL-ProJ　ソフトウェアと Brother　MFL-Pro Printer は自動でリソースマネージャを起動します。リソースマネージャによって本機の双方向パラレルポートは、スキャン用の通信ポートと Windows GDI プリント用のパラレルポートをシミュレートします。

メモ

● WindowsNT®Workstation Version4.0 あるいは Windows®2000Professional でソフトウェアをインストールする場合、アドミニストレーターとしてログオンされる必要があります。MFL-ProJ をインストールしたら Windows NT® あるいは Windows®2000Professional を再起動させ、再度アドミニストレーターとしてログインしてください。これでリモートセットアップアプリケーションは終了です。リモートセットアップが終了したら通常のユーザーネームでログインしてください。

ドライバをインストールする〔Windows®〕

Windows® にインストールする

●パラレル接続でのインストール -1

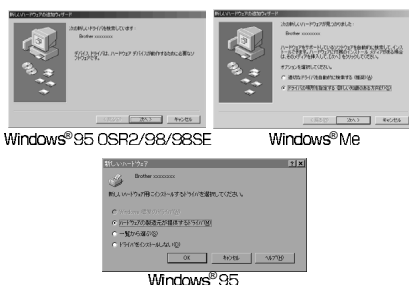
・Windows®95/98/98SE/Me にインストールする。

プリンタドライバ、スキャナドライバをインストールします。
インストールの前に本機とコンピュータが接続され、本機に電源が入っていることを確認してください。

コンピュータの電源を入れ、Windows® を起動します。

1

「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」が表示されます。（お使いの OS によってウィザードが異なる表示をすることがあります。）
「次へ」をクリックします。

● Windows®95 をお使いの方
「ﾊｰﾄﾞｳｪｱの製造元が提供するﾄﾞﾗｲﾊﾞ」を選択し「OK」をクリックします。
● Windows®Me をお使いの方
「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し「次へ」をクリックします。

Windows® 95 OSR2/98/98SE　　Windows® Me

Windows® 95

2

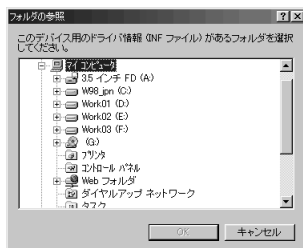
「使用中のﾃﾞﾊﾞｲｽに最適なﾄﾞﾗｲﾊﾞを検索する（推奨）」を選択し、
「次へ」をクリックします。

MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

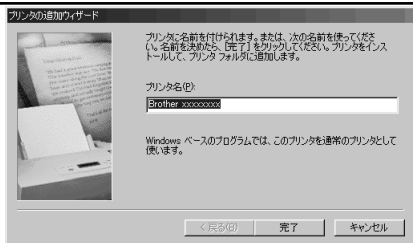
3

「検索場所の指定」にチェックマークをつけ、他のチェックマークをはずします。次に「参照」をクリックします。

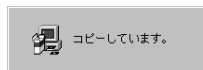
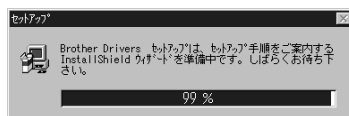
4 CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、「x:¥w9x¥para」フォルダを選択し「OK」をクリックします。

● X: はドライブ名です。お使いのコンピュータによって異なります。

5 指定した場所が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックします。

6 プリンタドライバが正常に表示されているか確認して、「次へ」をクリックします。

7 プリンタの名前を入力します。
表示されている名前でよければ「完了」をクリックします。

8 「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」が表示されたら「完了」をクリックします。

9

セットアップウィンドウが表示され、ステータスバーが 100%に達したら完了です。

10

右のように表示されたら「OK」をクリックします。

- すべてのドライバがインストールされると、プリント、スキャンができる準備が整います。スキャナとしてご利用になるためには「Presto!™ PageManager」と「Presto!™ MaxReader」をインストールしてください。P. 178
- 「MFL-ProJ」やその他のソフトウェアをインストールする場合はP. 176を参照してください。

●パラレル接続でのインストール -2

・Windows®2000 Professional にインストールする。

コンピュータの電源を入れ、Windows® を起動します。
アドミニストレーターとしてログオンしてください。

1

「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」が表示されます。
「次へ」をクリックします。

2

「ﾃﾞﾊﾞｲｽに最適なﾄﾞﾗｲﾊﾞを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックします。

MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

3

「場所を指定」にチェックマークをつけ、他のチェックマークをはずします。
「次へ」をクリックします。

4

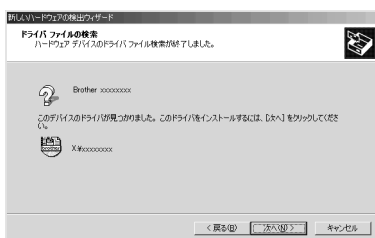
「製造元のﾌｧｲﾙのｺﾋﾟｰ元」を指定します。
「参照」をクリックします。

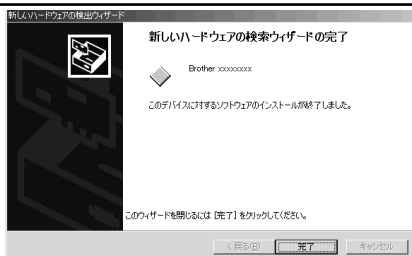
5

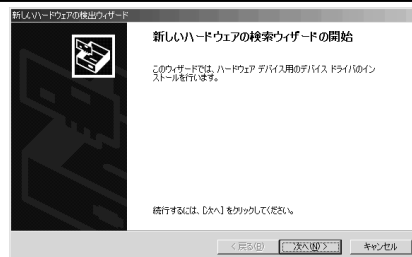
「CD-ROM」のアイコンをダブルクリックして開き、「x:¥w2k¥para」フォルダを選択し、「OK」をクリックします。

● X: はドライブ名です。お使いのコンピュータによって異なります。

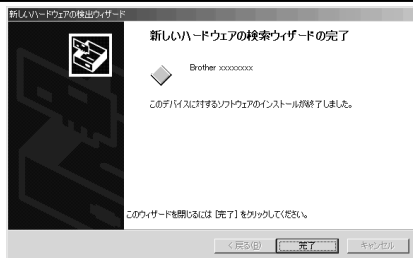
6

プリンタドライバが正常に表示されているか確認して「次へ」をクリックします。

7

「完了」をクリックします。

8

手順１から７までを繰り返し、プリンタ、スキャナドライバをインストールします。

9

もし、インストールの途中に「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示されても「はい」を選択して続けてインストールしてください。

10 すべてのインストールが終了したら「完了」をクリックします。

11 セットアップウィンドウが表示され、ステータスバーが 100%に達したら完了です。

12 右のように表示されたら「OK」をクリックします。

- すべてのドライバがインストールされると、プリント、スキャンができる準備が整います。スキャナとしてご利用になるためには「Presto!™ PageManager」と「Presto!™ MaxReader」をインストールしてください。P. 178
- 「MFL-ProJ」やその他のソフトウェアをインストールする場合はP. 176を参照してくだい。

●パラレル接続でのインストール -3

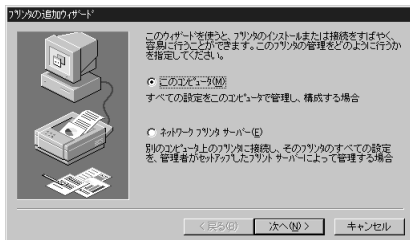
・WindowsNT®Workstation4.0 にインストールする。

コンピュータの電源を入れ、WindowsNT® を起動します。
アドミニストレーターとしてログオンしてください。
WindowsNT® はプラグアンドプレイに対応していませんのでドライバを手動でインストールします。

1

起動が完了したらタスクバーの「スタート」メニューから「設定」ー「プリンタ」を選択します。
右のように表示されたら「プリンタの追加」をダブルクリックします。

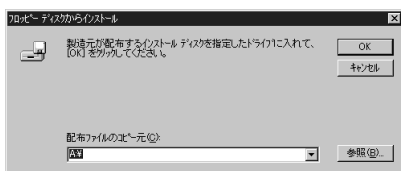
2

「このコンピュータ」を選択し、「次へ」をクリックします。

3

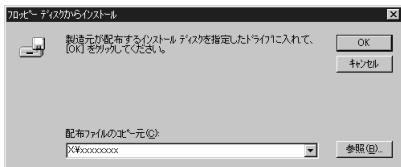
「LPT1:」を選択し、「次へ」をクリックします。

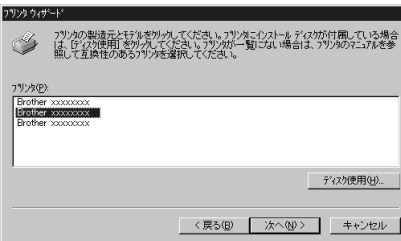
4

MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットし「ディスク使用」をクリックします。

5 「参照」をクリックします。

6 「マイコンピュータ」をダブルクリックして開き「CD-ROM」のアイコンをダブルクリックします。
「X:¥nt40」をクリックし、「開く」をクリックします。

- X: はドライブ名です。お使いのコンピュータによって異なります。

7 指定した場所が選択されていることを確認して「OK」をクリックします。

8 プリンタのモデルを選択し、「次へ」をクリックします。

- このダイアログボックスはいくつかのモデルを表示するかもしれません。ご使用になるモデルを選択してください。

9 プリンタの名前を入力します。
表示されている名前でよければ「次へ」をクリックします。

10

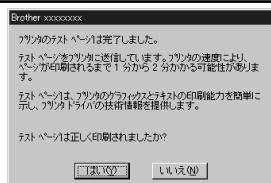
「共有しない」を選択し「次へ」をクリックします。

11

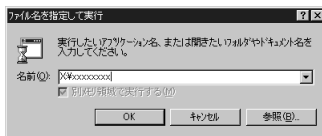
テストプリントを実行するために、「はい（推奨）」を選択し「完了」をクリックします。

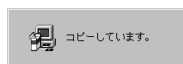
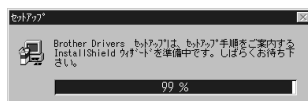
12

テストプリントがされたあと、「はい」をクリックします。

13

「ﾌﾟﾘﾝﾀ」フォルダの中に選択したプリンタが追加されます。

14

他のドライバ（スキャナドライバ等）をインストールするには、タスクバーの「ｽﾀｰﾄ」メニューから「ﾌｧｲﾙ名を指定して実行」を選択し「X:¥nt40¥setup¥setup.exe」と入力し、「OK」をクリックします。

● X: はドライブ名です。お使いのコンピュータによって異なります。

15 セットアップウィンドウが表示され、ステータスバーが 100% に達したら、完了です。

16 右のように表示されたら「OK」をクリックします。

Brother ドライバ インストール Ver.XXX

ドライバのインストールが完了しました。

OK

●すべてのドライバがインストールされると、プリント、スキャンができる準備が整います。スキャナとしてご利用になるためには「Presto!™ PageManager と「Presto!™ MaxReader」をインストールしてください。P. 178

●「MFL-Pro J」やその他のソフトウェアをインストールする場合はP. 176を参照してください。

ドライバをインストールする〔Windows®〕

Windows® にインストールする

● USB 接続でのインストール -1

・Windows®98/98SE/Me にインストールする。

プリンタドライバ、スキャナドライバ、メディアドライバをインストールします。
インストールの前に本機とプリンタが接続され、本機に電源が入っていることを確認してください。

コンピュータの電源を入れ、Windows® を起動します。

1

「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」が表示されます。（お使いの OS によってウィザードが異なる表示をすることがあります。）
「次へ」をクリックします。

● Windows®Me をお使いの方
「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し「次へ」をクリックしてください。

Windows® 98/98SE

Windows® Me

2

「使用中のﾃﾞﾊﾞｲｽに最適なﾄﾞﾗｲﾊﾞを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックします。
MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

3

「検索場所の指定」にチェックマークをつけ、他のチェックマークをはずします。次に「参照」をクリックします。

4

CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。
Windows®98 の場合は「x:¥w98¥usb」、Windows®Me の場合は「x:¥wme¥usb」フォルダを選択し「OK」をクリックします。

● X: はドライブ名です。お使いのコンピュータによって異なります。

5

「検索場所の指定」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックします。

6

「次へ」をクリックします。

●もし、「ﾃﾞｨｽｸを挿入してください」と表示された場合は、MFL-ProJ CD-ROM を取り出し、Windows®98/98SE/Me CD-ROM を挿入し「OK」をクリックします。(Windows 標準ドライバをインストールするために必要です。)

7

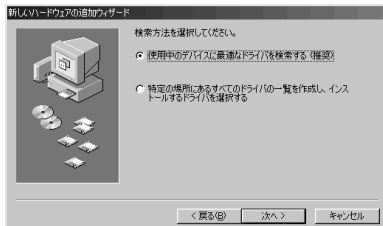
「完了」をクリックします。

●もし、「Windows®98/98SE/Me CD-ROM を取り出してください」と表示されたときは、MFL-ProJ CD-ROM をもう一度入れてください。

8

「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」が再び表示されたら「次へ」をクリックします。

9

「使用中のﾃﾞﾊﾞｲｽに最適なﾄﾞﾗｲﾊﾞを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックします。

10

「検索場所の指定」にチェックマークをつけ、他のチェックマークをはずします。「次へ」をクリックします。

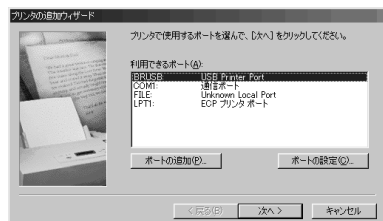
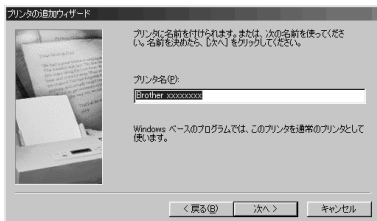
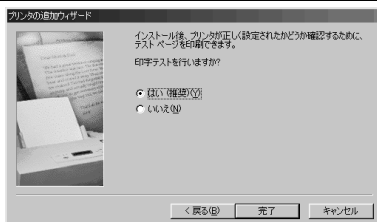
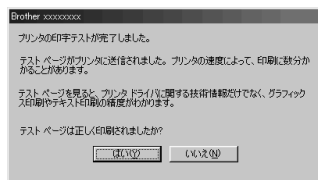
11

プリンタドライバが正常に表示されているか確認して「次へ」をクリックします。

12

「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」に「必要なｿﾌﾄｳｪｱがｲﾝｽﾄｰﾙされました」というメッセージが表示されます。「完了」をクリックします。
引き続きその他のドライバをインストールするために手順８から12を繰り返してください。

13

「BRUSB:USB Printer Port」をプリンタポートとし、「次へ」をクリックします。

14 プリンタの名前を入力します。または画面上に表示された名前がよければ「次へ」をクリックします。

15 テストプリントを行うために「はい(推奨)」を選択し、「完了」をクリックします。

16 テストプリントがされたあと、「はい」をクリックします。

17 「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」に「必要なｿﾌﾄｳｪｱがｲﾝｽﾄｰﾙされました」というメッセージが表示されます。「完了」をクリックします。

● すべてのドライバがインストールされると、プリント、スキャン、メディアドライブを利用できる準備が整います。
スキャナとしてご利用になるためには「Presto!™ PageManager」と「Presto!™ MaxReader」をインストールしてください。P. 178

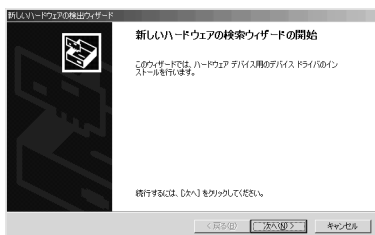
● 「MFL-Pro J」やその他のソフトウェアをインストールする場合はP. 176を参照してください。

● USB 接続でのインストール -2

・Windows®2000 Professional にインストールする。

コンピュータの電源を入れ、Windows® を起動します。
アドミニストレーターとしてログオンしてください。

1

「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱの検索ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」が表示されたら、「次へ」をクリックします。

2

「ﾃﾞﾊﾞｲｽに最適なﾄﾞﾗｲﾊﾞを検索する(推奨)」を選択し、「次へ」をクリックします。

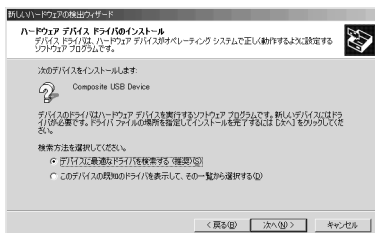
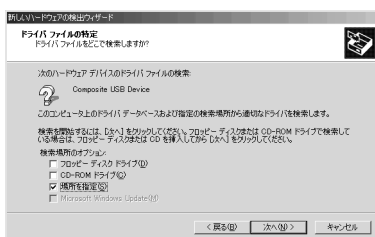
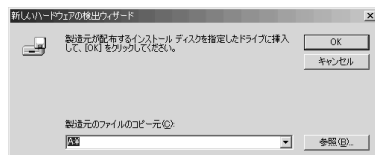
MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

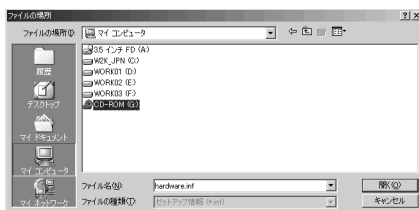
3

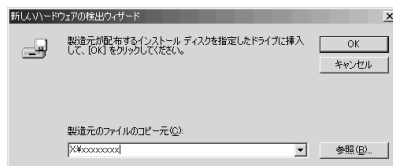
「場所を指定」にチェックマークをつけ、他のチェックマークをはずします。
「次へ」をクリックします。

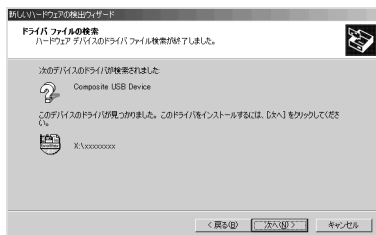
4

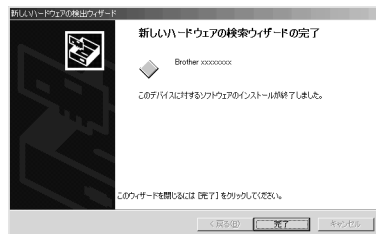
「製造元のﾌｧｲﾙのｺﾋﾟｰ元」を指定します。
「参照」をクリックします。

5

「CD-ROM」のアイコンをダブルクリックして開き、「x:￥w2k￥usb」フォルダを選択し、「OK」をクリックします。

● X: はドライブ名です。お使いのコンピュータによって異なります。

6

指定した場所が選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。

7

「 次へ」をクリックします。

8

「完了」をクリックします。
引き続きその他のドライバをインストールするために手順１から８を繰り返してください。

9 もし、インストールの途中に「インストールしようとしているソフトウェアには、Microsoft デジタル署名がありません。」と表示されても「はい」を選択し、続けてインストールしてください。

- すべてのドライバがインストールされると、プリント、スキャンができる準備が整います。
- 「MFL-ProJ」やその他のソフトウェアをインストールする場合はP. 176を参照してください。

ソフトウェアをインストールする〔Windows®〕

Windows® にインストールする

● MFL-ProJ をインストールする

お使いのコンピュータから本機を設定できるリモートセットアップがご利用になれます。

重要

MFL-ProJ ソフトウェアをインストールする前に必ずプリンタドライバ、あるいはスキャナドライバを先にインストールしてください。

1

MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
右の画面が自動的に表示されます。

●表示されない場合はタスクバーの「ｽﾀｰﾄ」メニューから「ﾌｧｲﾙ名を指定して実行」を選択して「X:¥SETUP.EXE」と入力してください。（X の部分はお使いの CD-ROM のドライブ名に置き換えてください。）

2

「MFL-ProJ のインストール」をクリックします。
自動的にインストールが開始されます。
インストールが終了したらコンピュータを再起動してください。自動的にリモートセットアップの画面が立ち上がります。P. 177

ソフトウェアをインストールする〔Windows®〕

Windows® にインストールする

● MFC リモートセットアップ

MFC リモートセットアップを使用すると、コンピュータで本機の設定をすることができます。
この機能を使用するとお使いのコンピュータに本機の設定がダウンロードされて表示され、各種の設定がコンピュータ上で設定できます。変更された内容は本機に送信され有効になります。

OK
　ここをクリックすると設定された内容を本機に送信してプログラムを終了します。エラーメッセージが表示された場合は、正しく設定値を入力し直して再度クリックしてください。

キャンセル
　コンピュータ上に表示されている設定内容を本機に送信せずにプログラムを終了します。

適用
　本機に現在の設定内容を送信します。（プログラムは終了しません）

印刷
　選択された設定内容をプリントします。

インポート
　ファイルに保存されている設定を読み込みます。

エクスポート
　設定された内容をファイルに保存します。

ソフトウェアをインストールする〔Windows®〕

Windows® にインストールする

● Presto !™PageManager と Presto !™MaxReader をインストールする

本機のスキャナ機能をさらに有効に使うためにインストールします。

1 MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
右の画面が自動的に表示されます。

●表示されない場合はタスクバーの「ｽﾀｰﾄ」メニューから「ﾌｧｲﾙ名を指定して実行」を選択して「X:¥SETUP.EXE」と入力してください。（X の部分はお使いの CD-ROM のドライブ名に置き換えてください。）

2 「バンドルソフトウェア」をクリックします。

3 「インストーラ起動」をクリックすると、自動的にインストールされます。

ソフトウェアをインストールする〔Windows®〕

Windows® にインストールする

● Automatic E-mail Printing をインストールする

電子メールを自動的にダウンロードし、指定時刻に自動受信、自動印刷できる便利なソフトウェアです。　Windows®95/98/98SE のみ

Automatic E-mail Printing の特長

主な機能

検索条件にあったメールのみを自動印刷
電子メールを印刷操作なしで受信と同時に自動で印刷します。

指定した時刻に自動アクセス
指定した時刻にサーバーに自動アクセスして新着メールをチェックできます。

マルチユーザー対応の電子メールソフト
複数のユーザーで共有できるため PC が 1 台だけでも安心です。

現在お使いのメールソフトにも付加機能が提供されます。

詳しくは付属の CD-ROM のオンラインドキュメント
Using Automatic E-mail Printing をお読みください。

1 MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
右の画面が自動的に表示されます。

●表示されない場合はタスクバーの「ｽﾀｰﾄ」メニューから「ﾌｧｲﾙ名を指定して実行」を選択して「X:¥SETUP.EXE」と入力してください。（X の部分はお使いの CD-ROM のドライブ名に置き換えてください。）

2 「バンドルソフトウェア」をクリックします。

3 「インストーラ起動」をクリックすると自動的にインストールされます。

Windows® にインストールする

●TrueType フォントをインストールする

付属の CD-ROM には 7 書体の TrueType フォントが収録されています。
TrueType フォントをインストールするとアプリケーションで使用できるフォントの種類をふやすことができます。

1

1. 付属の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
2. タスクバーの「ｽﾀｰﾄ」メニューから「設定」－「ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ」を選択します。
3. 「ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ」ウインドウの中の「ﾌｫﾝﾄ」フォルダをダブルクリックして開きます。
4. ウインドウ内の「ﾌｧｲﾙ」メニューから「新しいﾌｫﾝﾄのｲﾝｽﾄｰﾙ」を選択します。
5. 「ﾌｫﾝﾄの追加」ダイアログの中で CD-ROM ドライブを選択し、「fonts」フォ ルダを選択します。
6. インストールしたいフォントを選択し、「OK」をクリックします。

ドライバをインストールする〔Macintosh ®〕

Macintosh® にインストールする

●ドライバをインストールする。

※ Mac OS 8.5/8.51/8.6/9.0/9.0.4 のみ
9.0.2、9.0.3 をお使いの場合は 9.04 へのバージョンアップが必要となります。

※ Mac OS 8.5 をお使いの場合はスキャナ機能が使えません。8.6 か 9.0 にバージョンアップしてからインストールしてください。

プリンタドライバとスキャナドライバをインストールします。
USB ケーブルは接続しないでください。
コンピュータの電源を入れ、Macintosh® を起動します。

1

MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
右のように自動的に表示されます。
表示されないときはデスクトップにある MFL Pro のアイコンをダブルクリックして開きます。

2

プリンタ、スキャナドライバをインストールするために、
「MFL Pro Driver Installer」アイコンをダブルクリックします。
自動的にインストールが開始されます。
インストールが完了したら 、本機と Macintosh を接続します。
新しいドライバを認識させるためにコンピュータを再起動します。

●日本語の　Mac OS をお使いの場合、ドライバをインストールする際に現れる言語選択は必ず "Japanese" を選択してください。日本語版 Mac OS での英語版ドライバの使用は動作保証の対象になりません。

ソフトウェアをインストールする〔Macintosh®〕

Macintosh® にインストールする

●TrueType フォントをインストールする

付属の CD-ROM には 7 書体の TrueType フォントが収録されています。
TrueType フォントをインストールするとアプリケーションで使用できるフォントの種類をふやすことができます。

1

MFL-ProJ の CD-ROM をお使いのコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。
Fonts をダブルクリックして開きます。

2

お好きなフォントファイル（スーツケース）をシステムフォルダにドラッグコピーします。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語集・索引

プリンタとしての特長

プリンタについて

本機は高品質のインクジェットプリンタとして多くの特長を備えています。

ハイスピードプリント
ドラフトモードを使用することで 1 分間に最高 10 枚のフルカラープリントができます。
※プリント時間はプリントする内容によって違います。

300dpi 出力
本機は通常 300dpi フルカラーでプリントを行います。

600dpi 出力
特殊コーティング紙や光沢紙に高解像度 600dpi でプリントします。

1200dpi 出力
特殊コーティング紙や光沢紙に最高解像度 1200dpi でプリントします。

経済的なプリントコスト
なくなったカラーのインクカートリッジだけ交換することができ、経済的です。

双方向パラレルインターフェース（IEEE1284 対応）に対応
本機のパラレルポートはコンピュータとの双方向通信に対応します。

USB(Universal Serial Bus) に対応
本機の USB ポートはコンピュータとの高速通信に対応します。

多彩な用紙対応
本機は普通紙、インクジェット用紙、光沢紙、OHP フィルムおよび、封筒にまで対応します。

画質強調
本機はプリントするイメージに対してより鮮やかに、また、よりシャープに補正を加えることができます。また、この設定はカスタマイズも可能です。

●プリント解像度の設定については P. 195 を参照してください。

●インクカートリッジの交換については P. 219 を参照してください。

●コンピュータとの接続については P. 155 を参照してください。

●用紙についての詳細は、P. 195 を参照してください。

●画質強調についての詳細は、P. 199 を参照してください。

メモ

●本機はファクスの送受信中やスキャニング中でもコンピュータからのデータをプリントすることができます。本機がコンピュータからプリント中に、コピーあるいは用紙にファクスを受信するとプリント操作が一時停止します。コピーあるいはファクス受信が完了すると、プリント操作を再開します。ファクス送信は、プリント中でも継続されます。

●本機では双方向印字と片方向印字が選択できます。片方向印字のほうが高品質に印字できますがプリントスピードは半減します。P. 197

おぼえておきましょう ●出力するソフトウェアの種類によっては出力できない場合もあります。

ご使用の前に　準備をしましょう　ファクスをする　コピーをする　ビデオプリントする　フォトメディアキャプチャー　コンピュータと接続する　プリンタを使う　スキャナを使う　日常のお手入れ　こんなときには　用語・索引集

プリンタとして使う

アプリケーションからの印刷

■ Windows®、Mac OS からの印刷

Microsoft Windows®95/98/98SE/Me/2000Professional,Windows NT®Workstation Version 4.0、および Apple 社製 Macintosh® の USB ポート搭載機で、MacOS 8.5 以上（MacOS 9 対応）のプリンタドライバが、付属の CD-ROM でご利用になれます。これらのドライバはインストーラプログラムを使用して、Windows®、Mac OS に簡単にインストールでき、経済的な印刷モードや用紙のカスタムサイズの設定ができます。

●アプリケーションソフトウェアがカスタム用紙サイズをサポートしていない場合は、カスタム用紙サイズより大きめの最も近いサイズの用紙を選択して、アプリケーションソフトウェアで上下左右の余白（マージン）を変更して、プリント範囲を調節してください。

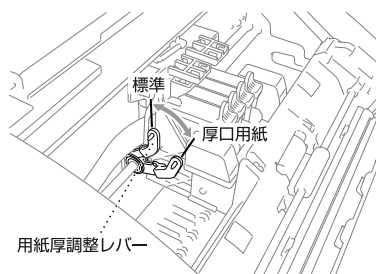
●本機をプリンタとして使用するためにはコンピュータ側のプリンタドライバの設定が必要になります。P. 189

●アプリケーションソフトウェアから、用紙サイズ、用紙方向などを設定できます。

特殊な用紙をプリントする

厚用紙にプリントする

●用紙厚調整レバーを操作するには

1. コントロールパネルカバーとトップカバーを開けます。
2. インクカートリッジ横の紫色の用紙厚調整レバーを下げます。
3. コントロールパネルカバーとトップカバーを閉じます。

厚い用紙をご利用になる場合は用紙厚調整レバーを調整する必要があります。封筒、はがき、厚口用紙（75g/m^2）以上の用紙をご利用になるとき調整してください。

●標準の用紙でプリントされるときはレバーを標準位置に戻してからプリントしてください。

●極端に厚い用紙はプリントできない場合があります。

●ご使用になれる用紙の詳細については P. 5 を参照してください。

プリンタ内のデータを消去する

リセットボタン

●ディスプレイに「データガノコッテイマス」と表示されたとき

リセット を押すと、プリンタ内のデータを消去することができます。

プリンタの設定を変更する-1

プリンタの設定変更

本機では「機能」ボタンを使って印字品質の改善をすることができます。

●テストプリントするには

印字品質が良くなかったり、各種の設定を変更したときにテストプリントをして印字品質を確認できます。

1. 機能 2 1 を押します。

1.テストプリント

●テストシートがプリントされます。印字品質の確認等にご利用ください。

2. スタート を押すとテストプリントが開始されます。

3. 停止 を押すと終了します。

●縦罫線を調整するには

縦方向のプリンタヘッドのズレを調整します。

1. 機能 2 2 を押します。

タテケイセンチョウセイ

●文字が左右にずれてプリントされるときなどに有効です。

2. スタート を押すとテストページがプリントされます。

300DPI チョウセイ

2.バンゴウセンタク(1-9)

600DPI チョウセイ

●300DPI,600DPI 両方とも番号を入力してください。

3. テストページの指示にしたがって 300dpi と 600dpi の該当する番号を入力します。

4. 停止 を押すと終了します。

●印字方法を変更するには

1. 機能 2 3 を押します。

3.ソウホウコウ インジ

2. ◁ ▷ で「ON」か「OFF」を選択し、セット を押します。

ソウホウコウインジ:ON

ヤジルシボタンデセンタク

●本機では片方向印字と双方向印字が選択できます。片方向印字のほうが高品質に印字できますがプリントスピードは半分になります。通常は双方向で印字することをお奨めします。

●お買い上げ時は「ON」（双方向印字）に設定されています。

メモ

プリンタの設定を変更する -2

プリンタドライバの設定

● Windows® でプリンタドライバの設定をする。

本機でコンピュータからプリントする際にプリンタドライバで各種の設定をすることができます。

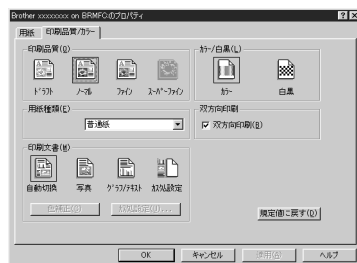
1

アプリケーションソフトの「ﾌｧｲﾙ」メニューから「ﾌﾟﾘﾝﾄ」を選択します。
「ﾌﾟﾘﾝﾄ」ダイアログボックスの中で本機のプリンター名を選択し、「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」をクリックします。
右の画面が表示され、以下の項目が設定できます。

- 用紙サイズ
- 印刷方向
- 部数 / 印刷順序
- 用紙厚さ
- レイアウト
- 給紙方法

2

手順 1 の画面でダイアログ内の「印刷品質 / ｶﾗｰ」タブをクリックすると右の画面が表示され、以下の項目が設定できます。

- 印刷品質
- 用紙種類
- 印刷文書
- カラー / 白黒
- 双方向印刷

3

上記手順 1、2 で選択した設定を有効にするために「適用」をクリックします。
お買い上げ時の設定に戻すためには「規定値に戻す」をクリックしてから「適用」をクリックします。
「OK」をクリックすると「ﾌﾟﾘﾝﾄ」ダイアログボックスに戻ります。

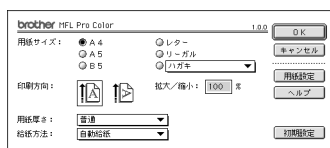
●設定内容の詳細は P. 191 を参照してください。

● Macintosh® でプリンタドライバの設定をする。

1

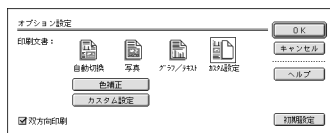
アップルメニューより「ｾﾚｸﾀ」を選択します。
MFL Pro Color アイコンをクリックします。(アイコンの色が強調表示されます。)
セレクタの右の欄にあるプリンタ名をクリックしてからセレクタを閉じます。

2

アプリケーションソフトの「ﾌｧｲﾙ」メニューから「用紙設定」を選択します。
用紙のサイズ、厚さ、給紙口、用紙の向き、倍率等が変更できます。
設定が決まったら、「OK」をクリックします。

3

アプリケーションソフトの「ﾌｧｲﾙ」メニューから、「ﾌﾟﾘﾝﾄ」を選択します。
ウィザードが表示されページの変更、品質、枚数、メディアタイプ、カラー / モノクロの変更ができます。
「ﾌﾟﾘﾝﾄ」をクリックしプリントします。

4

「ｵﾌﾟｼｮﾝ」をクリックすると、原稿のタイプとプリントオプションの設定ができます。
設定を変更し、「OK」をクリックするとプリントウィザードへ戻ります。

●オプションを設定する場合は「ﾌﾟﾘﾝﾄ」をクリックする前に設定してください。

プリンタの設定を変更する -3

プリンタドライバでの設定変更 -1

プリンタドライバで変更できる設定の内容は以下のとおりです。

●用紙サイズ

下記の用紙と封筒のサイズを選択するか、ユーザー定義サイズを入力します。

用紙	サイズ
レター	215.9 × 279.4mm
リーガル	215.9 × 355.6mm
エクゼクティブ	184.2 × 266.7mm
A4	210.0 × 297.0mm
A5	148.0 × 210.0mm
JIS B5	182.0 × 257.0mm
官製ハガキ	100.0 × 148.0mm
封筒	
洋形定形最大	120.0 × 235.0mm
洋形４号	105.0 × 235.0mm
COM-10	104.8 × 241.0mm
DL	110.0 × 220.0mm
モナーク	98.4 × 190.5mm
バイブル	95.3 × 171.5mm
B6	128.0 × 182.0mm
ユーザー定義サイズ	最小 97.0 × 127.0mm 最大 216.0 × 355.6mm

●印刷方向

プリントする方向を設定します。「縦」か「横」が選択できます。

ユーザー定義用紙サイズの設定のしかた

1. 使用したい用紙のサイズをはかります。
2. 「ﾕｰｻﾞｰ定義ｻｲｽﾞ」を選択します。
3. 用紙サイズに名前をつけます。
4. 用紙サイズの単位（ﾐﾘまたはｲﾝﾁ）を選択します。
5. 長さと幅を入力します。
6. サイズを保存するには「保存」をクリックします。

メモ

●プリンタドライバでの設定はお使いの OS が異なっていても設定できる内容は基本的に同じです。お使いのプリンタドライバによって利用できない項目がある場合もあります。

●アプリケーションソフトによっては用紙サイズの設定を無効にしてしまう場合があります。ご使用のアプリケーションソフトに適切な用紙サイズが設定されていることを確認してください。

●最小の用紙サイズを設定した場合は、余白の設定を確認してください。何もプリントされないことがあります。

プリンタの設定を変更する -3

プリンタドライバでの設定変更 -2

●部数 / 印刷順序

部数
　プリントする部数を入力します。
部単位で印刷
　複数のページを複数部プリントするとき、1 部ずつプリントします。
　全てのプリントデータを読みとってからプリントを開始しますので
　プリント時間は長くなります。
逆順で印刷
　最後のページからプリントを開始します。時間がかかりますのでご
　注意ください。

●用紙厚さ

用紙の厚さを選択します。以下の種類が選択できます。
　普通 / 薄紙 / 厚紙 / 極厚

●レイアウト

Windows®
　プリントする倍率を設定します。「100%」か「2ﾍﾟｰｼﾞ」「4ﾍﾟｰｼﾞ」
　を選択するか、50%から 200%の間に設定することができます。
Macintosh®
　20%から 400%の間に設定することができます。

●給紙方法

用紙の給紙方法を設定します。「自動給紙」か「手差し」を選択します。
「自動給紙」の場合は用紙カセットから給紙されます。

●用紙の厚さは通常の普通紙をご使用の場合は「普通」を選択してください。
封筒あるいは厚い用紙をご使用の場合は「厚紙」「極厚」を選択してください。

●「2ﾍﾟｰｼﾞ」を選択すると 2 ページを 1 枚の用紙に自動縮小してプリントします。この機能を選択した場合は倍率を設定できなくなります。

●「手差し」を選択した場合、用紙を 1 枚ずつ手差しスロットに給紙します。本機はプリントを開始する前にコンピュータのディスプレイに「用紙をセットします」というメッセージを表示します。
手差しスロットに用紙を挿入して「OK」をクリックするとプリントを開始します。

メモ

●プリンタドライバでの設定は
お使いの OS が異なっていても設定できる内容は基本的に同じです。
お使いのプリンタドライバによって利用できない項目がある場合もあります。

●お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となります。同時に使用しないでください。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語集・索引

プリンタの設定を変更する -3

プリンタドライバでの設定変更 -3

●印刷品質

プリント画質を設定します。以下の４種類から選択できます。

ドラフト .... 300dpi × 150dpi
最高速印刷モードでインク消費も押さえられます。

ノーマル .... 300dpi × 300dpi
通常、このモードを使用します。品質と印刷時間のバランスがとれています。

ファイン .... 600dpi × 600dpi
ノーマルモードより、さらに高画質でプリントします。

スーパーファイン .... 1200dpi × 1200dpi
写真のような精密なイメージをプリントするとき使用します。

●「ﾄﾞﾗﾌﾄ」モードは「ﾉｰﾏﾙ」モードの２〜３倍の速度で印字します。文書を大量にプリントするときや、校正用の文書をプリントするときに使用します。

●高画質なモードになるほどプリントデータが大きくなるためプリントに時間がかかるようになります。

●用紙種類

用紙の種類を選択します。用紙の種類によって最適な印刷品質を選択することをお奨めします。

普通紙 .... ノーマル
インクジェット紙 .... ファイン
光沢紙 .... スーパーファイン
フォト用紙 .... スーパーファイン
OHP フィルム .... ノーマル
OHP フィルム（左右反転）........ ノーマル

●プリント品質は用紙の種類に合わせた印刷品質のモードを選択することによって向上します。

メモ

●プリンタドライバでの設定はお使いの OS が異なっていても設定できる内容は基本的に同じです。お使いのプリンタドライバによって利用できない項目がある場合もあります。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語集・索引

プリンタの設定を変更する -3

プリンタドライバでの設定変更 -4

●印刷文書

プリントする文書のタイプを設定します。文書のタイプに合ったモードを選択してください。

自動切換
自動的に文書タイプを選択します。通常このモードをご使用ください。

写真
写真をプリントする場合に選択します。

グラフ / テキスト
一般のビジネス文書（テキスト、チャート、グラフを含む文書）の場合に選択します。

カスタム設定
カラーマッチングや画質強調を手動で設定したいときに選択します。
カスタム設定の詳細については P. 199 を参照してください。

●文字や写真が混在する文書の場合は「自動切換」を選択してください。
テキストやビジネスグラフィックは鮮やかにプリントされ、写真はやわらかな画像にプリントされます。

●カラー / 白黒

プリントするカラーを設定します。「カラー」か「白黒」を選択します。

●「白黒」を選択してカラーのイメージをプリントすると256階調のグレースケールでプリントされます。白黒のイメージを「カラー」でプリントしてもカラーではプリントされません。

●双方向印刷

プリントの方法を設定します。チェックマークをはずすと片方向印刷に切り替わります。プリント速度は遅くなりますがプリント品質は向上します。

メモ

●プリンタドライバでの設定は
お使いの OS が異なっていても設定できる内容は基本的に同じです。
お使いのプリンタドライバによっては利用できない項目がある場合もあります。

プリンタの設定を変更する -3

プリンタドライバでの設定変更 -5

カスタム設定について

カスタム設定を選択すると「色補正」「カスタム設定」ができるようになります。

●色補正
・マッチモニター
カラーをお使いのモニターのカラーに最も近い色に調整します。
写真のイメージに適用します。
・ビビッドカラー
カラーをより鮮やかな色に調整します。チャート、グラフ、テキストのようなビジネスグラフィックに適用します。

●カスタム設定
ハーフトーンパターンと画質強調を選択できます。
・ハーフトーンパターン
本機はハーフトーンのパターンを変更することができます。原稿に合わせて選択することができます
フォト
写真のようなイメージに適用します。なめらかなハーフトーンを作成します。
データ処理に時間がかかりますが、写真のようなイメージでプリントできます。
クラスタ
チャート、グラフ、図のようなビジネスグラフィックに適用します。よりシャープなイメージに仕上がり、処理時間も短くなります。
・画質強調
より高品質なプリントをするためにカラーを調整します。
画質強調「ON」
より鮮やかにプリントするためイメージを自動的に補正をします。この設定を選択するとプリント時間が長くなります。
シャープネス
イメージ中の輪郭部分のシャープさを強調します。ピントがぼけたイメージを調整して、はっきりとしたイメージに調整できます。
カラー濃度
イメージ中のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整します。イメージ全体をくっきりさせてプリントできます。
ホワイトバランス
イメージ中の白色部分の色合いを調整します。白色部分を調整することで、より自然に近い色合いにプリントすることができます。
明るさ
イメージ全体の明るさを調整します。
コントラスト
イメージのコントラストを調整します。
赤・緑・青
イメージ中の各色（赤・緑・青）のバランスを調整します。
【例】全体に赤味を加えるには赤の割合を増加させます。

メモ

●プリンタドライバでの設定は
お使いのOSが異なっていても設定できる内容は基本的に同じです。
お使いのプリンタドライバによって利用できない項目がある場合もあります。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語集・索引

スキャナとして使う -1

Presto!™PageManager について（Windows® 環境のみ）

Presto!™ PageManager は、書類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作ができます。Presto!™ PageManager は、スキャナから取り込んだ文書や写真を、サムネイル表示を使って見やすく管理したり、加工したり、電子コピーとしてコンピュータに保存しておく機能を兼ね備え、電子ファイリングから電子メールまで行えます。
本ソフトの操作の詳細については、電子マニュアル（PDF ファイル）とソフトに付属しているオンラインヘルプを参照してください。
また、Presto!™ PageManager をお使いいただくために必要な環境についてはインストールの前に必ずお読みください。

●スキャナ機能ボタンの使い方と設定

スキャナ機能ボタンは操作パネル上にあります。P. 1
コンピュータが「ON」の状態でスキャニングを開始し、イメージをコンピュータに転送後、ファイリング、日本語 OCR 処理によるテキストデータへの変換、E メール送信といった指定処理を、Presto!™ PageManager を介して自動的に実行させせます。
これらのボタンには初期設定によるそれぞれの機能があらかじめ割り当てられています。詳細は以下の通りです。

スキャンボタン

画像取り込み後 Presto!™ PageManager を起動し、コンピュータへの画像転送を実行します。転送された画像データは、Presto!™ PageManager のファイリング機能によって整理できます。

スキャン OCR ボタン

画像取込み後 Presto!™ MaxReader 日本語 OCR を起動し、同画像データに OCR（光学的手法による文字認識）の処理を実行します。認識処理後、MaxReader 画面にてテキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。

スキャン E メールボタン

画像取込み後 E メールソフトを起動し、コンピュータへの画像転送を実行します。転送されたデータは、自動的にメールに添付されますので、即送信が可能です。

※各ボタンの設定は変更することができます。詳しくはソフトウェアに付属の電子マニュアルをご参照ください。

内容構成

● Presto!™ PageManager は Windows® 対応です。下記ソフトウェアのバージョンは製品のヘルプメニューのバージョン情報を参照してください。
● Presto!™ PageManager［Windows® 対応］
● Presto!™ MaxReader ［Windows® 対応］

動作環境

● Pentium® プロセッサ以上を搭載した IBM PC/AT またはその互換機

● 8MB 以上の RAM （16MB 以上推奨）

● Presto!™ PageManager 61MB 以上
Presto!™ MaxReader 32MB 以上
の空きスペースを持つハードディスク、CD-ROM ドライブ

●日本語 Microsoft Windows® 95/98/98SE
Windows®2000Professional、
Windows NT® 4.0
※ Windows®Me に対応予定
（2000 年 9 月現在）

推奨システム構成

● 256 色カラー SVGA またはそれ以上のグラフィックスボード
●イメージスキャナ
●プリンタ
● Windows® の場合：電子メールソフト
（現在サポートしている電子メールソフトの詳細は、ソフトウェアに付属の電子マニュアルをご覧ください。）

おぼえておきましょう ●スキャニングを効率よく行うにはまず使用目的をはっきりさせることが大事です。

スキャナとして使う -2

Presto !™PageManager の特長

- フルカラーでスキャン可能
- スキャナ、プリンタなどの様々な入出力装置を統合して、文書や写真を入出力
- スキャンしたデータのアプリケーション(電子メールソフト含む)へのダイレクト転送
- 文書スキャンおよびレイアウト保持機能
- 取り込んだ文書や写真を電子ファイリングで効率的に管理
- サムネイル表示で文書や写真が一目瞭然
- 画像を文字認識処理（OCR）して、テキストに変換
- 文書や写真に文字、メモなどを直接追加可能
- 100 種類以上のアプリケーションとのリンク機能
- Presto!™ Wrapper による画像転送（電子メール経由）※ 1
- PhotoNet を介した画像のアップロード／ダウンロード可能
- HTML フォーマット対応
- カラー画像での文字認識処理（OCR）、および元の画像上における文字のレイアウトの保持可能
- あいまい検索機能
- 写真を補正編集
- 写真を選んでオリジナル･スライドショー
- 撮った写真を電子メールに添付して送信

メモ

※ 1 Presto!™Wrapper は、画像をビューアと一緒にパッケージできるソフトウェアです。送信したい画像を選択し、Presto!™ Wrapper を転送形式として指定して、自己ラップ型実行可能ファイルを作成すると、ファイルを電子メールメッセージに添付し送信できます。受信者はファイルを実行するだけで画像を表示できます。

画像をテキストに変換する〔OCR 機能〕

Presto!™PageManager は、取り込まれた画像ファイルをテキストファイルに変換できます。漢字、仮名（ひらがな、カタカナ）、アルファベット、アラビア数字および図表を伴うドキュメントなどが認識可能です。また、このファイルは TXT、RTF、DOC、XLS、SLK、CSV などのファイル形式で保存でき、一般的なドキュメント処理ソフト（Microsoft® Word、Microsoft® Excel など）上で開いて編集することも可能です。さらに、ファイルを HTML 形式で保存し、ブラウザ（Microsoft® Internet Explorer®、Netscape Navigator® など）を使用して、直接開くこともできます。

1. Presto!™ PageManager のメイン画面で、サムネイルを選択します。
2. サムネイルを PageManager 画面下部アプリケーションバーに表示している MaxReader 日本語 OCR のアイコン上にドラッグ＆ドロップします。
3. ドラッグ＆ドロップした画像とともに MaxReader が起動します。[自動] ボタンをクリックすると、OCR 文字認識処理を実行できます。

● OCR 機能は、画像に保持されたテキストを編集可能なテキストに変換します。ドキュメントを選択した場合はドキュメント内に保持されている全ての画像は認識された文字となります。
テキストが認識されると、OCR が実行したテキストは［検索］機能により画像の内容の一部として見なします。したがって、ドキュメントは検索がより簡単になります。

● Presto!™MaxReader 日本語 OCR に関する詳細はソフトウェアに付属の電子マニュアルをご参照ください。

テクニカルサポート

●ニューソフトジャパン株式会社
●東京都港区新橋 6-21-3
●ニューソフトカスタマーサポートセンター
● Tel:03-5472-7008
Fax:03-5472-7009
受付時間：10:00 ～ 12:00
13:00 ～ 17:00
（土曜、日曜、祝祭日を除く）
●テクニカルサポート
電子メール：　support@newsoft.co.jp
ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

●認識されたテキストファイルのデータ量は、認識処理前の画像ファイルに比べて小さくなります。

おぼえておきましょう ●きれいな原稿のほうが読み取り率が向上します。

スキャナとして使う -3

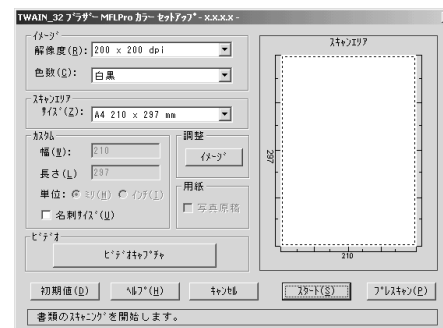
原稿のスキャニング

● TWAIN 対応
ブラザーMFL-ProJのスキャナドライバはTWAIN対応です。TWAINドライバは、スキャナとソフトウェアアプリケーション間のプロトコルに対応しています。これにより画像を本機付属の Presto!™Page Manager に直接スキャンできます。また、TWAIN 対応の他のアプリケーション（Adobe Photoshop® 等）にも直接スキャンできます。スキャナドライバをご利用になるには、インストールが必要です。ブラザー MFL-ProJ をスキャナドライバとして選択するには、「ファイルメニュー」の「TWAIN 対応機器の選択…」から選択してください。

●スキャナにアクセスする
Presto!™ PageManager 画面より Scan か TWAIN ボタンを選択するか、ドロップダウンメニューのファイルより「取り込む･･･」を選択してください。MFL-ProJ の TWAIN ダイアログボックスを表示します。

原稿をコンピュータにスキャンする

1. ADF に原稿をセットします。
2. 必要に応じて TWAIN のダイアログボックスで下記項目を設定します。
   - 画質
   - カラータイプ（白黒、グレイ [誤差拡散方式]、256 階調グレイ、256 色、24 ビットカラー）
   - サイズ
3. TWAIN のダイアログボックスから、「ｽﾀｰﾄ」ボタンを選択します。
   スキャニングが終了したら「ｷｬﾝｾﾙ」を押して Presto!™PageManager 画面に戻ってください。
   （詳しくは、Presto!™PageManager の取扱説明書をご覧ください。）

おぼえておきましょう　●グラフィックアプリケーションに直接取り込む場合はプラグインが利用できる場合があります。

スキャナとして使う -4

TWAIN のダイアログボックスでの設定

■ TWAIN のダイアログボックスでの設定
画質のドロップダウンリストからスキャニングの画質を選択してください。画質が高くなると必要なメモリや送信時間が増えますが、スキャンされた画像の質は向上します。選択できる画質は以下のとおりです。

・100 × 100dpi　・100 × 200dpi　・150 × 150dpi
・200 × 200dpi　・300 × 300dpi　・400 × 400dpi
・600 × 600dpi　・1200 × 1200dpi　・2400 × 2400dpi

■サイズ
下記のどれかにサイズを設定してください。
・レター（8 1/2 × 11 インチ）
・A4（210 × 297mm）
・リーガル（8 1/2 × 14 インチ）
・A5（148 × 210mm）
・B5（182 × 257mm）
・エクゼクティブ（7 1/4 × 10 1/2 インチ）
・名刺（90 × 60mm）
・カスタム（8.9 × 8.9mm から 215.9 × 355.6mm まで調整できます）

■カスタム
選択したサイズを表示します。スキャンする範囲を自動的に名刺サイズにするには、名刺サイズのボックスをチェックしてください。

■用紙
画像が写真の場合は写真原稿ボックスをチェックしてください。

■ビデオキャプチャー
「ビデオキャプチャー」ボタンはビデオキャプチャーを表示します。

■カラータイプ
モノクロ：
テキストや線画にはカラータイプをモノクロに設定してください。

グレイスケール：
写真画像にはカラータイプをグレイ [誤差拡散方式]、または 256 階調グレイに設定してください。

カラー：
・256 色
・24 ビットカラー
（1,677 万色でスキャン）
のどれかを選択してください。

■調整
イメージをクリックしてください。
画像の画面が表示されます。

必要に応じてカーソルを使ってインジケーターボタンを左右にドラッグして明るさやコントラストを調節してください。

メモ
● 24 ビットカラーは最適な色で画像を作成できますが、作成した画像ファイルのデータ容量は、256 カラーを使用した場合の 3 倍ほどになります。

●カスタムサイズを選択した後でも、スキャンの範囲をさらに調整できます。左マウスボタンを使って、スキャン範囲の点線をドラッグしてください。この作業はスキャンするときに画像を切り取るために必要です。

●名刺をスキャンするには名刺（90 × 60mm）サイズの設定を選択しキャリアシートの上方の中央に名刺を置いてください。キャリアシートは市販の物をお使いください。

●ワープロアプリケーション、グラフィックアプリケーション上で使用される写真や、その他の画像をスキャンする場合、濃度、モード、画質の設定を調整して、どの設定が最適か判断してください。

おぼえておきましょう　●必要以上に解像度を高く設定するとデータ容量も取り込み時間も増大します。適切な解像度を選択してください。

スキャナとして使う -5

イメージをプレスキャンする

●プレスキャンで画像を調整するには

1. ADF に原稿をセットします。

2. 「プレスキャン」ボタンを選択します。
全原稿がコンピュータにスキャンされると TWAIN のダイアログボックスのスキャンエリアに表示されます。

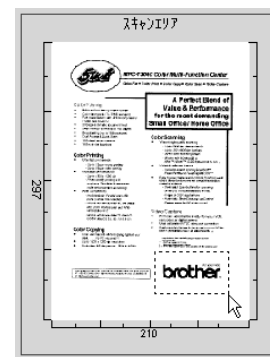
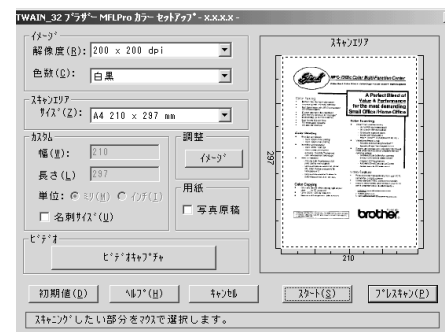
3. スキャンされた原稿の一部分を切り取るには、左マウスボタンを使ってスキャンエリアの点線の側面か端を ドラッグします。点線を調整して スキャンしたい部分を囲んでください。

4. 必要に応じて TWAIN のダイアログボックスの画質、カラータイプ、サイズの設定を調整します。

5. 「スタート」ボタンを選択します。
原稿の選択された範囲だけが Presto!™PageManager 画面に表示されます。

6. Presto™ PageManager 画面上で画像を調整してください。
詳しくは、Presto!™ PageManager のオンラインマニュアルをご覧ください。

●プレスキャンは、低い画質ですばやく画像をスキャンし、プレビューできる機能です。画像のサムネイルがスキャンエリアに表示され、どのようにスキャンされるのか確認できます。「プレスキャン」ボタンを使用して画像をプレビューし、画像の不要部分を切りとってください。プレビューのとおりでよければ、スキャナ画面よりスタートを選択して画像をスキャンしてください。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語集・索引

おぼえておきましょう ●本機でプリントする場合、印字原寸で 200dpi 程度が適切です。

スキャナとして使う -6

ビデオから画像を取り込む

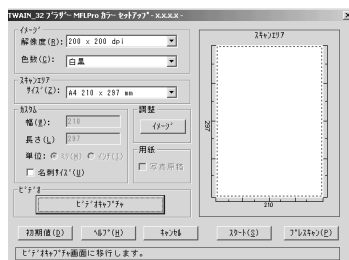
ビデオ機器（ビデオカメラやビデオカセットレコーダーなど）で再生した映像を取りこみ、コンピュータ上の画像ファイルに変換することができます。いったん画像ファイルにすれば保存、印刷、他のファイルへの挿入が可能です。

●画像を取りこむ

TWAIN ダイアログボックスを開くには、Presto!™ PageManager または TWAIN に対応するアプリケーションからも可能です。

1. ビデオ機器を本機と接続します。
2. Presto!™ PageManager で「ﾌｧｲﾙ」メニューから「取り込む」を選択するか「取り込む」アイコンをダブルクリックします。
   TWAIN のダイアログボックスが表示されます。

3. TWAIN のダイアログボックスで「ﾋﾞﾃﾞｵｷｬﾌﾟﾁｬ」ボタンをクリックします。ビデオキャプチャーダイアログボックスが表示されます。

4. ビデオの入力ソースを選択します。
   ・ビデオカメラ
   ・ビデオテープ
   ・レーザーディスク
   ・デジタルカメラ
5. ビデオのタイプを選択します。
   ・オート‥‥通常はこれを選択します。自動でどのタイプか選択されます。
   ・動画
   ・静止画
   ・画質レベル中
   ・画質レベル高
6. プレビューを選択します。
   ・モノクロ‥‥モノクロ表示で 1 秒間に 4 フレームほど表示します。
   ・カラー‥‥カラーで 2 秒ごとにほぼ 1 フレーム表示します。
7. 画像ファイルのサイズを選択します。
   ・1280 × 960（最高画質ですがコンピュータ上でのデータ容量も大きくなります。）
   ・750 × 562
   ・640 × 480
   ・320 × 240
8. ビデオ機器の電源を入れてビデオを再生させます。
9. キャプチャーしたい画面が出たら「一時停止」をクリックします。
   TWAIN のダイアログボックスのビューアに画像が表示されます。
10. 表示された画像をキャプチャーするときは、「OK」をクリックします。しないときは、「一時停止」をクリックしてビデオを再生します。
11. 「終了」をクリックするとビデオキャプチャーダイアログボックスは閉じます。
12. Presto!™ PageManager を起動させキャプチャーした画像のサムネイルを確認します。

●詳しくは Presto!™ PageManager の取扱説明書をご覧ください。

スキャナとして使う -7

Macintosh® で TWAIN ドライバを使う

● Macintosh® でスキャニングするには

Macintosh® からスキャニングするには TWAIN ドライバを使用します。TWAIN 対応のアプリケーション（Adobe Photoshop® 等）からスキャニングを行います。ここでは Adobe Photoshop® を例にして説明します。

●本機と Macintosh® が USB ケーブルで確実に接続されていることを確認してください。

1.Macintosh® を起動してアプリケーションソフトを起動します。

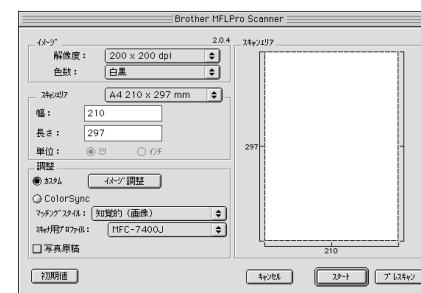
2.ADF に原稿をセットします。

3.「ﾌｧｲﾙ」メニューから「読み込み」/「TWAIN 機器の選択」を選択します。

4.再度「ﾌｧｲﾙ」メニューから「読み込み」/「TWAIN 機器からの入力」を選択します。

5.Brother MFL Pro Scaner のスキャナウインドが表示されます。

6.必要に応じてスキャナウインド内の項目をセットします。

7.「ｽﾀｰﾄ」をクリックします。スキャニングが終了するとアプリケーション上にイメージが現れます。

●スキャナウインドでは
以下の項目が設定できます。

- ・解像度
- ・色数
- ・明るさ
- ・コントラスト
- ・スキャンエリア

スキャナとして使う -8

スキャナウインドの設定

●イメージ

解像度　※1

スキャニング解像度は解像度ポップアップメニューから選択します。より高解像度を選択すると時間はかかりますが精密なイメージを取り込むことができます。
モデルによって解像度は異なります。

色数　※2

取り込む色数を設定します。
「白黒」………………………線画およびテキストのとき。
「ｸﾞﾚｲ（誤差拡散方式）」…写真を含む原稿で比較的階調がはっきりしている原稿のとき。
「256階調ｸﾞﾚｲ」…………写真を含む原稿で微妙な表現を要求されるとき。
「8ﾋﾞｯﾄｶﾗｰ」………256色のｶﾗｰで取り込みます。ビジネス文書等に最適です。
「24ﾋﾞｯﾄｶﾗｰ」…1677万色のｶﾗｰで取り込みます。「8ﾋﾞｯﾄｶﾗｰ」の約3倍の容量です。

●スキャンエリア

読み込む範囲を設定します。ポップアップメニューから選択することができます。
また、任意の寸法を入力することも任意の範囲を指定することもできます。

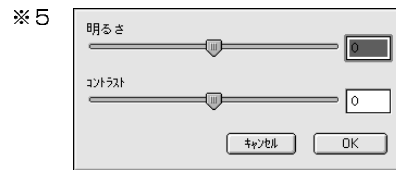
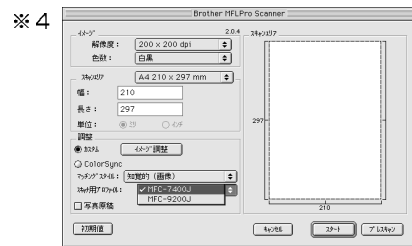
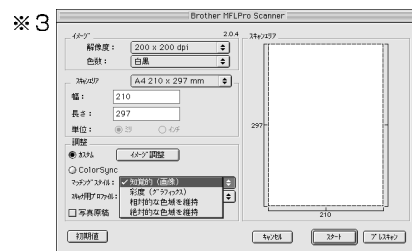
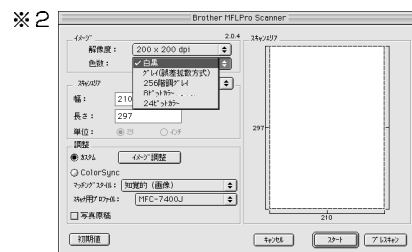
●調整

ﾏｯﾁﾝｸﾞｽﾀｲﾙ　イメージの中で何を基準に取り込むのかを設定します。※3

「知覚的（画像）」…………写真のようなイメージのとき。
「彩度ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ」……………はっきりしたイメージで彩度を要求されるとき。
「相対的な色域を維持」……色と色の関係（対比）が重要なとき。
「絶対的な色域を維持」…ｼﾝﾎﾞﾙｶﾗｰのような色そのものが持つイメージが重要なとき。

スキャナ用プロファイル　お使いの機種を選択してください。※4

イメージ調整

「明るさ」「ｺﾝﾄﾗｽﾄ」を調整します。※5
濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはｺﾝﾄﾗｽﾄを強くします。

※1

※2

※3

※4

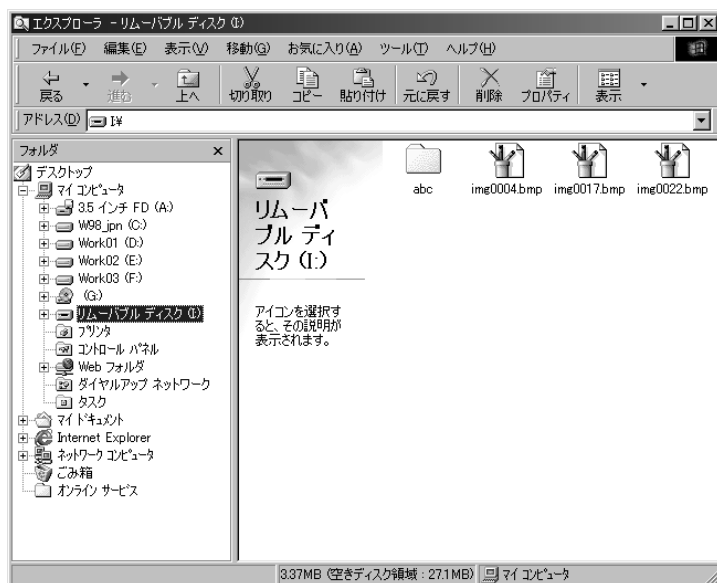
※5

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語集・索引

メディアカードを外付けメディアドライブとして使う

● Windows®98/98SE/Me のみ

本機ではコンピュータと接続することによって、メディアカードスロットを外付けメディアドライブとして使用することができます。メディアカードスロットはコンピュータに「リムーバルディスク」として認識されメディアカードへのデータの読み込み、書き込みが可能です。

1. メディアカードを対応するスロットに挿入します。
2. お使いのコンピュータでタスクバーの「ｽﾀｰﾄ」メニューから「ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」－「ｴｸｽﾌﾟﾛｰﾗ」を選択して開きます。
3. 「ﾘﾑｰﾊﾞﾌﾞﾙﾃﾞｨｽｸ」アイコンをダブルクリックで開きます。

4. 上記のようにウインドウが開き、画面上にメディアカードのフォルダとファイルが表示され、メディアカードにアクセスできるようになります。

●本機をメディアドライブとしてご利用いただくには Windows® 環境で本機とコンピュータを USB ケーブルで接続する必要があります。パラレル接続、Macintosh® には対応しておりません。

●一般のメディアカードリーダーと同様にご利用いただけます。デジタルカメラ等で撮影したイメージをお使いのコンピュータに取り込んで加工したり、保存することができます。

●本機のフォトメディアキャプチャー機能でお使いになれるメディアカードの詳細は P. 136 を参照してください。

メモ

● PC 上からデータを書き込んだ場合、本機側のフォトメディアキャプチャー機能では 4 階層までしか読み込むことができません。
本機の機能を利用してプリントするファイルを保存する場合は 5 階層以上のフォルダ に保存しないでください。

●カードからのデータ読み込み中は絶対にカードを抜いたり、ケーブルをはずしたりしないでください。
データが破損するおそれがあります。

●お使いになるアプリケーションソフトによってはカード上のファイルが読み込めない場合もあります。

カートリッジの交換

インクカートリッジ交換のしかた

本機はインクカートリッジのインク残量を自動的に検知し、残量が少なくなるとディスプレイに表示してお知らせします。ディスプレイに「インクギレ：ブラック」、「カバーヲ　アケテクダサイ」と表示されます。手順 4 からスタートしてください。「マモナクインクギレ」の表示のときは、「インクカートリッジ」ボタンを押します。

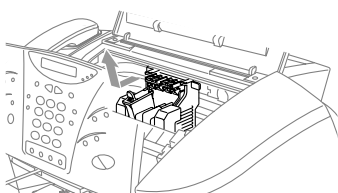
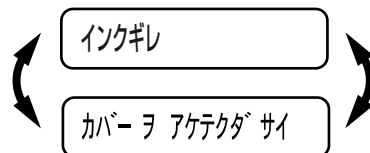
```
インクギレ
カバ－ ヲ アケテクダ サイ
```

1. インクカートリッジ を押します。
2.

で カ ABC 2 を選択します。
3. セット を押します。
4. コントロールパネルカバーを手前側に開け、トップカバーを後ろ側に開けます。数秒後インクカートリッジが取り替え位置に移動します。

5. 空になったインクカートリッジを手前に引き、上に持ち上げ取り出します。
6. 交換用ののインクカートリッジを袋から取り出しカートリッジの底からテープをはがします。

7. カートリッジを少し手前側に傾けて入れ、親指でロックする位置までしっかり押し込みます。*1
8. トップカバーとコントロールパネルカバーを静かに閉じます。
9. ディスプレイに確認メッセージが表示されます。

```
インク ヲ コウカンシマシタカ
ブラック 1.ハイ 2.イイエ
```

10. 間違いなければ ア 1 を押します。
11. クリーニングが始まります。
 1 色について約 2 分間行われます。

```
クリーニングブラック
```

インクカートリッジが残り少なくなると、ディスプレイに「マモナクインクギレ」と表示されます。さらに使いつづけるとディスプレイに「インクギレ」と表示されます。一度この表示になるとインクカートリッジを交換しないとプリントやコピーができなくなります。ディスプレイの表示に従って正しい順序でインクカートリッジを交換してください。

*1 カートリッジホルダの色に合せてインクを取り付けます。

●カートリッジの取り付けについての詳細は P. 13 を参照してください。

メモ

●必要なとき以外はインクカートリッジを交換しないでください。インク品質を損なうことがあります。さらに本機がカートリッジのインク残量を把握できなくなります。

●インクカートリッジは開封後、6ヶ月以内に使い切ってください。また、開封前の物は品質保証期限までにご使用ください。

●インクカートリッジにインクを補充しないでください。インクヘッドに障害を与える可能性があります。また、保証の対象外となります。

●新品のカートリッジに交換した場合は手順 10 で交換した各色のインクドットカウンターをリセットします。ここで「1」を押さないとインクの残量を正しく表示できません。

●「マモナクインクギレ」という表示が出たら巻末のご注文シートで新しいインクカートリッジを注文してください。

●ディスプレイにはどの色がなくなったか表示されます。

●インクが残り少なくなると文字のカスレ等が発生しやすくなります。
警告ランプが点滅を始めたら、できるだけ早くカートリッジを交換してください。

●本機は印字品質維持のためにオートクリーニング機構により電源投入中および印刷中に定期的にインクの各色の強制吐出を行い消費します。（モノクロ印刷時においてもカラー各色のインク消費をする場合があります。）

紙づまりについて -1

原稿がつまったときは

原稿がつまったときは、ブザーが鳴り、ディスプレイに右のようなエラーメッセージが表示されます。

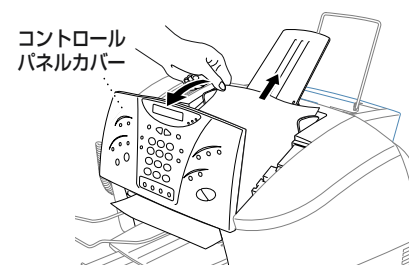
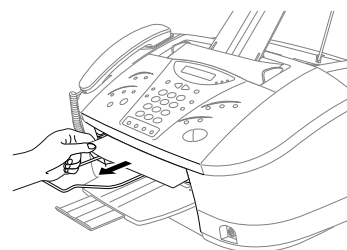
▼原稿がつまったとき

ｹﾞﾝｺｳ ｶｸﾆﾝ

●コントロールパネルの前側で原稿がつまったときは

1. 繰り込まれていない原稿を取ります。
2. つまった原稿を手前に引き、原稿を取り除きます。
3. 停止 を押します。

●コントロールパネルの後ろ側で原稿がつまったときは

1. 繰り込まれていない原稿を取り、コントロールパネルカバーを手前側に開きます。
2. つまった原稿を後ろ側に引き出します。
3. コントロールパネルカバーを閉じます。

紙づまりについて -2

記録紙がつまったときは

記録紙がつまったときは、ブザーが鳴り、ディスプレイに右のようなエラーメッセージが表示されます。

▼記録紙がつまったとき

キロクシ ツマリ

●記録紙トレイで記録紙がつまったときは

1. 繰り込まれていない記録紙を取ります。
2. つまった記録紙を上側に引きぬきます。

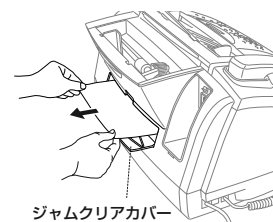
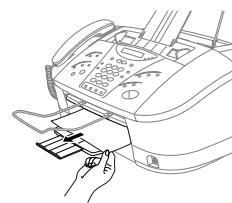
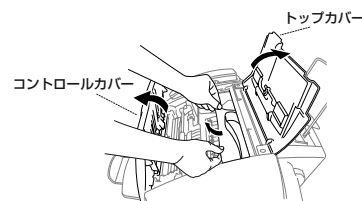
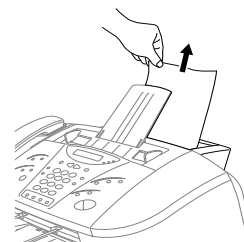
●記録紙が本機内部でつまったときは

1. コントロールカバーを手前側に開け、トップカバーを後ろ側に開けます。
2. つまった記録紙を取り除きます。
3. コントロールパネルカバーとトップカバーを閉じます。

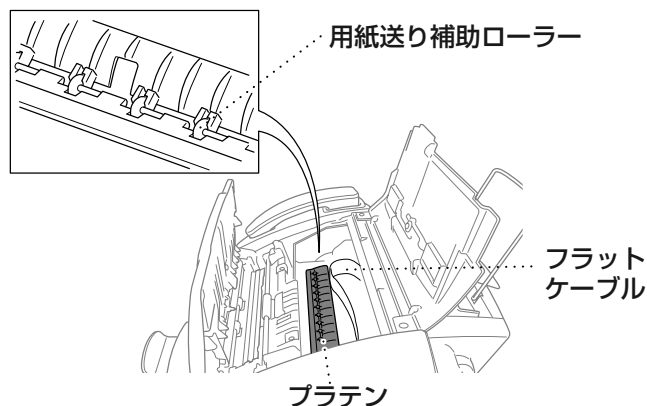
●記録紙が本機内部前方でつまったときは

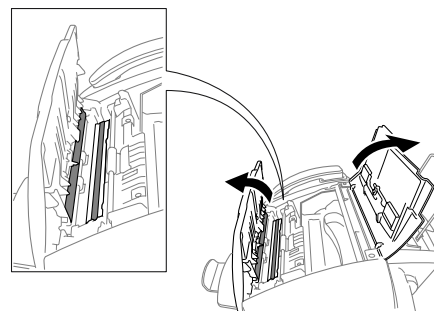
記録紙を手前側に引きぬきます。

●記録紙が本機内部後方でつまったときは

1. 後部のジャムクリアカバーを開けます。
2. 記録紙を後ろ側に引きぬきます。
3. ジャムクリアカバーを閉じます。
4. をボタンを押します。

本体の掃除

キャビネット内部のお手入れ

いつもきれいな画質を得るために読取部の清掃を行ってください。読取部が汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには読取部を清掃してください。

コントロールパネルカバーとトップカバーを開け、上部のプラテンを乾いた柔らかい布で軽く拭きます。

フラットケーブルには絶対さわらないでください。

白いプレッシャーバーを乾いた柔らかい布で軽く拭きます。

メモ

●無水エタノール、OAクリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD用レンズクリーナーなどをご使用ください。

アルコールはダメ

⚠ 注意

操作パネルはアルコールを浸した布で絶対に拭かないでください。操作パネルにひびが入るおそれがあります。

警告

⚠ 警告

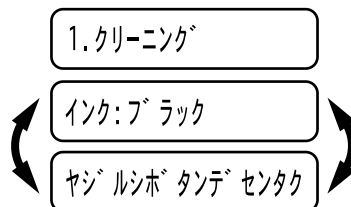
内部のお手入れをするときは、必ず電源コードをコンセントから抜き取ってから行ってください。

プリンタヘッドをクリーニングする

ヘッドクリーニング

●ヘッドクリーニングするには

1. ◯ インクカートリッジ を押します。
2. (ア 1) を選択します。
3. ◁ ▷（小 ― 音量 ― 大）でクリーニングしたい色を選択し ◯（セット）を押します。※1
   ヘッドクリーニングが開始されます。

1.ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ
ｲﾝｸ:ﾌﾞﾗｯｸ
ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞｾﾝﾀｸ

プリントの画質に問題があるときはヘッドクリーニングをお奨めします。

※1 ●プリントした画像に横縞が目立つときなどにご利用ください。

●ヘッドクリーニングは約8分ほどかかります。

●ブラック、イエロー、シアン、マゼンタ4色同時にクリーニングすることもできます。

メモ

●ヘッドクリーニングを5回行っても問題が解決しない場合はフリーダイヤル「0120-143410」へご連絡ください。

ご使用の前に
準備をしましょう
ファクスをする
コピーをする
ビデオプリントする
フォトメディアキャプチャー
コンピュータと接続する
プリンタを使う
スキャナを使う
日常のお手入れ
こんなときには
用語集・索引

17章　困ったときには

こんなときには……

本機をご利用中に問題が発生したら、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしていただき、対応する処置を行ってください。それでも問題が解決しないときは

フリーダイヤル **0120-143410**

へご連絡ください。

設定したいがどこを読んだらいいかわからない。…………… P. ⑪
ディスプレイにエラーが表示される。………………………… P. 228
トラブルの原因がわからない。………………………………… P. 230
本機の詳しい仕様が知りたい。………………………………… P. 239
用語がわからない。………………………………………………… P. 245
消耗品を注文したい。……巻末のオーダーシートをご利用ください。

エラーメッセージ

本機や電話回線に異常があるときにディスプレイに表示します。下記の処置を行ってもエラーが解決されないときは、フリーダイヤル 0120-143410 へ確認してください。

ディスプレイ表示	原　因	処　置
アイテサキ　カクニン	相手のファクスから切断されました。	もう一度、送信または受信をします。
インクギレ	インクがありません。	インクカートリッジを交換します。P. 219
インク ヲ セットシテクダサイ	インクカートリッジが正しくセットされていません。	インクカートリッジを正しくセットしなおします。
カバー　オープン	コントロールパネルカバーかトップカバーが完全に閉じていません。	カバーを一度開け、閉め直します。
キロクシ　カクニン	記録紙がなくなったか正しくセットされていません。	記録紙を補給してください。
キロクシ　ツマリ	本機内部で記録紙が詰まりました。	つまった記録紙を取り除き記録紙を正しくセットし直してください。
ゲンコウ　カクニン	原稿送りが適正に行われませんでした。 ADF にセットした原稿の長さが 90cm 以上ありました。	「紙づまり」P. 221を参照して原稿を取り除きます。
ソウチ　カクニン	本機に何らかの機械的な異常が発生しました。	フリーダイヤル「0120-143410」へ連絡してください。
ツウシン　エラー	回線状態が悪い可能性があります。	少し時間がたってからもう一度かけ直します。
	相手先がポーリングモードを設定していなかった可能性があります。	相手先のポーリング設定を確認します。
トウロクサレテイマセン	登録されていない、ワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを選んだ可能性があります。	ワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを登録します。P. 47
ハナシチュウ / オウトウナシ	相手が話し中または、応答がありません。	かけた番号が正しいか調べたのち、かけ直します。
ファイルガ　アリマセン	カード上に認識できるファイルがありません。	ファイル形式を確認してください。P. 149
マモナクインクギレ	インクが少なくなりました。	新しいインクカートリッジを注文します。 巻末のオーダーシートをご利用ください。

ディスプレイ表示	原　　因	処　　置
メディアエラー	カードが正しくフォーマットされていません。	カードを挿入し直してください。P. 149
	カードが正しく挿入されていないかカード内にデータがありません。	カードを正しく挿入してください。 データの入ったカードをお使いください。P. 149
メモリー　ゲンカイ	メモリーがいっぱいになりました。	プリントしてください。P. 99
		ファクス送信の場合、原稿を分けて送信してください。
		コピーの場合、原稿を分けてコピーしてください。
シツオンヲ　サゲテクダサイ	室温が高すぎます。	室温を下げてください。
シツオンヲ　アゲテクダサイ	室温が低すぎます。	室温を上げてください。

Q&A

本機をご使用中に起こる可能性のある問題の解決方法を説明しています。何か問題が起こったら、関連する項目を見つけて、適切な処理を行ってください。

項　目	問　題	処　　置
本機のセットアップ	本機がプリントをしない。	本機の電源が入っていますか。
		インクカートリッジは正しく取り付けられていますか。
		プリンタケーブルがきちんと接続されていますか。
USB を標準搭載したPowerMacintosh® でMacOS8.5 以上（MacOS9 対応）に接続してご使用の方へ	MFL-ProColor がセレクタに現れない。	プリンタに電源が入っているか確認してください。
		USBインターフェースが正しく接続されているか確認してください。
		プリンタドライバが正しくインストールされているか確認してください。
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	供給されているマッキントッシュのプリンタドライバがｼｽﾃﾑﾌｫﾙﾀﾞ に正しくインストールされているか、セレクタで選択されているかを確認してください。
スキャン	スキャン中に TWAIN エラーが表示される。	Brother TWAIN ドライバが選択されていることを確認してください。 Presto!™PageManager で「ファイル」ー「TWAIN 対応機器の選択」の選択をして、ブラザー TWAIN ドライバを選択し、「選択」をクリックしてください。
ビデオ	"ﾋﾞﾃﾞｵ：ｺﾋﾟｰｷｰ ｦ ｵｽ" とディスプレイに表示されない。	本機のRCAピンジャックにビデオケーブルが接続されていることを確認してください。
		ビデオ機器が信号を送信しているか確認してください。（電源が入っていて、正しい設定になっていますか。）

<table>
<tr><th>項　目</th><th>問　題</th><th>処　　置</th></tr>
<tr><td rowspan="9">ｿﾌﾄｳｪｱ</td><td>「LPT1：への書き込みエラー」か「BRMFC：への書き込みエラー」というエラーメッセージが表示される。</td><td rowspan="2">本機の電源は入っていますか。プリンタケーブルをコンピュータに直接接続していますか？
プリンタケーブルは他の周辺機器 (Zip ドライブ、外付 CD-ROM、スイッチボックス等) を経由して接続しないでください。
本機がエラーメッセージを表示していませんか。
パラレルポートに接続して使用する他のデバイスドライバがコンピュータ起動時に自動で実行する状態になっていませんか。(Zip ドライブ、外付 CD-ROM のドライバ等)
原因となりそうな領域をチェックしてください。(win.ini ファイルの Load=、Run ＝コマンド行とスタートアップグループなど)
コンピュータの製造元に、コンピュータの BIOS のパラレルポート設定が、双方向通信機器に対応しているか確認してください。
(パラレルポートモード―ECP)</td></tr>
<tr><td>「MFC 接続エラー」か「MFC はビジー状態です。」というエラーメッセージが表示される。</td></tr>
<tr><td>「2ﾍﾟｰｼﾞ」プリントがうまくプリントできない。</td><td>アプリケーションソフトの用紙設定とプリンタドライバの設定を確認してください。</td></tr>
<tr><td>アドビ・イラストレーターをご使用時にうまくプリントできないとき。</td><td>プリント解像度を低く設定してみてください。</td></tr>
<tr><td>プリントされた画像に規則的に横縞（バンディング）が現れる。</td><td>プリンタドライバの「印刷品質 / ｶﾗｰ」タブ内の設定で「双方向印刷」を解除してみてください。</td></tr>
<tr><td>ATM フォント使用時に一部の文字が消えたり同じ場所に重なって印刷されるとき。</td><td>Windows® 95, または 98 をご使用の場合は、「ｽﾀｰﾄ」メニューから「プリンタ /MFC9200」を選択し、プロパティを開きます。詳細タブの中よりスプール設定を開き、スプールデータ形式を「RAW」に設定してみてください。</td></tr>
<tr><td>「ペイントブラシ」を使用してプリントできないとき。</td><td>ディスプレイを256色に設定してみてください。</td></tr>
<tr><td>マイクロソフト「ｴｸｾﾙ」もしくは「ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ」をご使用中にオブジェクトに設定したハッチパターンがうまくプリントできないとき。</td><td>プリンタドライバの設定で「印刷品質 / ｶﾗｰ」タブより「印刷文書」の設定を「写真」にしてみてください。</td></tr>
<tr><td>プリント速度が極端に遅いとき。</td><td>プリンタドライバの設定で「印刷品質 / ｶﾗｰ」タブより「印刷文書」の設定を「自動切換」にしてみてください。</td></tr>
</table>

項　目	問　題	処　置
ソフトウェア	「画質強調」がうまく働かないとき。	プリントするデータがフルカラーでない可能性があります。フルカラー以外では「画質強調」は機能しません。この機能をご利用になるには少なくとも 24ﾋﾞｯﾄｶﾗｰ以上をご使用ください。
プリントクォリティ	文字が黒く化けたり、水平方向に線が入ったり、文字の上下が欠けてプリントされてしまうとき。	コピーをして問題がなければ、ケーブルの接続に問題があります。接続ケーブル、または電話線コードを確認してください。 それでも解決できないときは フリーダイヤル 0120-143410 にご連絡ください
	ページの中央上端にインクのシミが付着する。	用紙厚調整レバーを調節する。P. 185
	プリントした画像が明るすぎる、または暗すぎるとき。	インクカートリッジが新しいものかどうか確認してください。 カートリッジは製造後 2 年間は有効にご利用いただけますが、それ以上経過したものはインクが凝固している可能性があります。 外装箱に有効期限が印字されていますのでご確認ください。期限切れの場合は新しいカートリッジをご使用ください。
		普通紙をお使いの場合は、当社推奨紙をご利用いただくと解決する場合もあります。P. 5
		本機の使用環境温度内でご利用ください。P. 240
	インクがにじむとき。	普通紙をお使いの場合は、当社推奨紙をご利用いただくと解決する場合もあります。P. 5
	印字面に白い筋がはいるとき。	ヘッドクリーニングを行ってください。P. 225
	最終ページが汚れる。または用紙の裏側が汚れるとき。	プラテンローラー、給紙ローラーが汚れていないか確認してください。軽い汚れの場合は使用中にだんだんうすくなってきますが、堅く絞った布でローラーを清掃します。P. 225
	垂直方向に黒い筋が入るとき。	送信相手先の読み取り装置に汚れがある場合に起こります。違う相手先に送信を依頼して全く同じ状態が起こらなければ（黒線の現れる場所の違いも確認します。）最初の送信先に依頼して問題を解決してもらってください。
	カラーで受信したはずのファクスがモノクロでしかプリントされない。	カラー用のカートリッジを交換します。（カラーインクカートリッジが空かほとんど空である可能性があります。P. 219

故障かな？と思ったら

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
原稿	原稿が繰り込まれていかない。（ADF 使用時）	原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度しっかり挿入します。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの用紙を使用します。
		原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。	キャリアシートを使ってファクスやコピーをします。
		原稿が小さすぎませんか。（はがきなど）	
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、詰まっている原稿を取り除きます。
	原稿が斜めになってしまう。（ADF 使用時）	原稿ガイドを原稿に合わせていますか。	しっかり用紙ガイドを原稿に合わせます。
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	カバーを開け、詰まっている原稿を取り除きます。
記録紙	記録紙が繰りこまれていかない。	記録紙がはがきのような厚手の用紙ではありませんか。	付属のハガキ用アタッチメントを取りつけます。P. 119
	記録紙が重送されてしまう。	記録紙が OHP 用紙またはうす手の用紙で、かつハガキ用アタッチメントがついたままになっていませんか。	付属のハガキ用アタッチメントを取りはずします。
	記録紙がつまりやすい。	普通紙でも種類によってはつまりやすい場合があります。	付属のハガキ用アタッチメントを取りつけます。
送信および受信	スタートボタンを押しても送信または受信しない。	原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿をもう一度取り出し、セットし直します。
		外付の電話機が通話中ではありませんか。	外付電話の受話器を確認してください。
		回線種別は正しく設定されていますか。	回線種別を確認します。P. 11
		ターミナルアダプタは正しく設定されていますか。（ISDN 回線の場合）	ターミナルアダプタの設定を確認します。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
送信および受信	送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読取部の清掃をしてください。
		相手先に異常がありませんか。	別のファクスから相手先に送信してみます。
		画質モードは適切ですか。	画質を変更して送信します。
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンを解除してもらいます。
		並列接続された別の電話機の受話器を上げていませんか。	極力並列接続はしないようにします。
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の線が入っているという連絡があった。	本機の読み取り部分が汚れているか、もしくは受信側のプリンタのヘッドが汚れている可能性があります。	読みとり部の清掃を行って送信します。それでも症状が変わらなければ、相手のファクスの状態を調べてもらいます。
受信	リモート起動できない。	リモート起動の設定は「ON」になっていますか。	リモート起動設定を「ON」にします。P. 81
		リモート起動番号を正しくダイヤルしましたか。	リモート起動番号を正しく設定します。P. 81
		メモリーがいっぱいになっていませんか。	メモリー内のジョブを確認し、プリントアウトします。P. 99
	受信しても、用紙が出てこない。	用紙は正しくセットされていますか。	用紙を正しくセットします。P. 8
		用紙がつまっていませんか。	本機内部を確認します。
		用紙がなくなっていませんか。	カセットを確認します。
		インクの残量は充分ですか。	LCD を確認します。
プリント	プリントページの端や中央がかすむ。	本機が平らで、水平な場所に置かれているか確認してください。問題が改善されない場合は、操作パネル上のカートリッジキーを押してヘッドクリーニングを数回します。もう 1 度プリントし直しても、印刷の質がよくならない場合は、インクカートリッジを交換してください。	インクカートリッジを交換してもまだプリントの質に問題がある場合、フリーダイヤル 0120-143410 にご連絡ください。
	プリントの質が悪い。	操作パネル上の「ｲﾝｸｶｰﾄﾘｯｼﾞ」ボタンを押してヘッドクリーニングを数回します。	それでも改善されない場合は、インクカートリッジを新しい物と交換してください。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
*ISDN回線	電話を受けてもFAX本機のベルが鳴らない。（電話をかけた側は、ずっと呼び出し続けている）	電話回線が接続されているか確認します。	しっかり本機に接続します。
		電源が入っているか確認します。	電源コードを接続します。
		TAの設定を確認してください。	何も接続していない空アナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号およびダイヤルイン番号、i-ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、最寄りのNTTにおたずねください。
	1～2回おきにしか本機が接続されているアナログポートに、着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1～2回おきにしか着信できません。	「着信優先」または「応答平均化」を解除します。
	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています･･･」とメッセージが聞こえてつながらない。（電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない）	本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認します。	契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合 ・サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 ・HLC設定は「HLC設定しない」に設定してください。 ・識別着信は「識別着信しない」に設定してください。
			ダイヤルイン番号またはi-ナンバー情報のアナログポートに本機を接続している場合 ・ダイヤルイン番号またはi-ナンバー情報を登録してください。 ・サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 ・HLC設定は「HLC設定しない」に設定してください。 ・識別着信は「識別着信しない」に設定してください。
		ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認します。	異常があった場合はNTT故障係（113）へご連絡ください。

*ターミナルアダプタの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

	こんなときは	ここをチェック	対処方法
*ISDN回線	契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン追加番号のアナログポートに接続した機器の呼出ベルも一緒に鳴る。	ダイヤルイン番号または i- ナンバー情報のアナログポートはグローバル着信を確認します。	ダイヤルイン番号または i- ナンバー情報のアナログポートはグローバル着信「しない」に設定してください。
	特定の相手と FAX 通信できない。	別のファクスから送信して、うまくいくかどうか確認してください。	それでもうまくいかないときは、フリーダイヤル 0120-143410 へご連絡ください。
	FAX 送受信ができない。（電話はかけることも、受けることもできる）	ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認します。異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。	回線に異常がなければ、フリーダイヤル 0120-143410 へご連絡ください。
その他	電源が入らない。	電源コードは確実に差し込まれていますか。	電源コードを確実に差し込みます。

*ターミナルアダプタの設定項目の名称は、お使いの機器の製造メーカー、機種によって異なります。

規格

国際エネルギープログラム

この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を、開発・普及させることを目的としています。
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

VCCI 規格

この装置は、情報装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

主な仕様

●ファクシミリ

互換性	ITU-T グループ3(G3)
圧縮方式	MH/MR/MMR/JBIG/JPEG
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400bps （自動フォールバッグ付き）
原稿サイズ幅	最大；216mm 最小；148mm
原稿サイズ長さ	最大；356mm 最小；127mm
有効読取幅	208mm
用紙サイズ	A4（幅210mmx長さ297mm）、レター、A5、B5、ハガキ
電送時間	約5秒*1
中間調伝送	256階調
LCD表示	16桁
読取り方式	密着イメージセンサーによる読取
走査線密度	主走査；8ドット/mm 副走査；3.85本（標準） 7.7本（ファイン/写真） 15.4本（S.ファイン/写真）
ポーリングタイプ	スタンダード/機密
適用回線	一般電話回線

*1　A4判700字程度の原稿を標準的画質（8×3.85本/mm)、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれてお りません。
なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況により異なります。

●プリンタ

対応コンピュータ	対応コンピュータ；PC/AT互換機、Apple社製 Macintoshの USB ポート搭載機
対応OS	対応OS；Windows®95/98/98SE/Me/ 2000Professional/NT®Workstation4.0 Mac OS 8.5, 8.5.1、8.6、9.0、9.0.4
インターフェース	IEEE1284準拠パラレルインターフェース または USB
プリンタメモリー	4MB（最大750ページ）
プリント方式	インクジェット
プリント解像度	1200×1200dpi、600×600dpi、300×300dpi、 300×150dpi
プリント速度	カラー10枚/分　モノクロ12枚/分（A4）

●電源と使用環境

使用環境	温度；10～35℃、湿度；20～80%（結露なきこと）
電源	AC100V ± 10V　　50/60Hz
消費電力	待機時　約10W以下 ピーク時　約45W以下
稼働音	動作時；48dBA以下
外形寸法	468（横幅）× 352（奥行き）× 228（高さ）mm （突起部を除く）
質量	約8kg

索引

さ

索引

た

な

は

ま

や

ら

わ

AtoZ

用語集

あ

● RCA
端子ケーブル。一般オーディオで使用されている映像と音声の接続用端子です。本機では、映像入力端子（ビデオキャプチャー）として使用しています。

● ISDN
NTT が行っている電話線のサービスです。デジタルの回線で 1 回線でコンピュータと電話など 1 度に 2 回線分使うことができます。

●アイコン
画面上で、ファイルやフォルダプログラムなどを示す絵文字です。

●アプリケーションソフトウェア
ワープロや表計算など、ユーザーが直接触って操作するソフトウェアです。

● ECM 通信
Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。

●インクジェット
専用のインクを印刷ヘッドのノズルから用紙に吹き付けて印字する方式です。

●インターフェース
PC と周辺装置のように、機能や条件の違うものの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。

●ウィザード
Windows®95/98/Me などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。

● WindowsNT®
Microsoft 社が開発したネットワーク OS です。

● Windows®95/98/Me
Microsoft 社が開発した OS で、それぞれ 95 年、98 年、00 年（= Millennium edition）に発売されました。

● ADF
自動原稿送り装置。コピーするときに原稿を一枚ずつ入れるのではなく自動的に原稿を本機に送ります。

● NTSC 方式
日本やアメリカの TV やビデオに使われているカラー方式。ヨーロッパでは PAL 方式を使っています。

● MFL-ProJ
本機に付属されているソフトウェア。プリンタドライバやスキャナ機能などをもっています。

● LCD
液晶表示管です。本機ではディスプレイとして使用します。

● OS
Operating System（オペレーティングシステム）の略で、コンピュータの基本ソフトウェア群です。

● OCR 機能
画像ファイルをテキストファイルに変換する機能です。

● Automatic E-mail Printing
E メールを自動的にプリントしたり、定期的に新着メールを確認するソフトウェアです。

●オプション機能
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

か

●回線種別
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するパルス式と、周波数を検出して判別するトーン式があります。

●画質強調
解像度や明るさを自動的に調整してより鮮やかにプリントする機能です。

●機密ポーリング
受信側のファクス操作で暗証番号を入れ送信側のファクスにセットしてある原稿を暗証番号が合っているときにだけ自動的に送信させる機能です。

●キャリアシート
記録紙を本機にセットする際、サイズ別に正しい向きにセットするためのシートです。

●公衆回線
一般の電話回線です。

●コンパクトフラッシュ ™
Scan Disk 社が開発した Flash ATA Card 互換のコンパクトな記憶メモリーカード。多くのデジタルカメラで使用されます。

さ

●サムネイル
ファイルの内容を表示したラベルのことです。

●３極ー２極変換アダプタ
電源コードでアース線つき（3 極コード）のものを 2 極のコンセントに差し込むときに使うアダプタです。

●順次同報送信
同じ原稿を複数の送信先を設定して 1 度に送信させる機能です。

●親切受信
ファクスを着信したときに間違えて外付電話を取ってしまったときでも自動的に本機がファクス受信を行う機能です。

●スキャン E メール
専用キーを押すだけで読みとって原稿を自動的に E メールに添付する機能です。

●スタックコピー
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、1 枚目を希望枚数分、2枚目を希望枚数分のようにコピーしていくことです。

●スマートメディア ™
切手大の小型メモリーカード。多くのデジタルカメラで使用されます。

●ソートコピー
複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、原稿 1 部すべてコピーした後、再度 1 ページ目からコピーし、希望部数分コピーしていくことです。

た

●タスクバー
画面の上にあるプログラムの起動やフォルダの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。

● TWAIN
Technology Without Any Interested Name の略でイメージスキャナなどの画像入力装置用プロトコルです。

● DPI
Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● DPOF
Digital Print Order Format の略でデジタルカメラの写真印刷を自動化するための統一規格です。

● 2 in1
2枚の原稿を縮小し、1枚の用紙にコピーする機能です。

●デバイス
ハードディスクやプリンタのような、コンピュータで使用されるハードウェアのことです。

●デュアルアクセス
1 つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

●電話呼び出し機能
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先の電話に知らせる機能です。

●取りまとめ送信
メモリーに貯えられているタイマー送信用のデータを、同一の相手ごとにまとめてタイマーで指定された時間に送信する機能です。

は

●ハーフトーンパターン
色を表現するインクの様相で、本機ではよりなめらかに見せるフォトとよりシャープに見せるクラスタから選択できます。

●パラレルプリンタケーブル
複数の信号線をまとめてあるケーブルで同時に数ビットまとめてデータを送ることができます。コンピュータと本機を接続します。

● PC
Personal Computer（パーソナルコンピュータ）の略で、個人仕様の一般的なコンピュータです。

用語集

●PC/AT 互換機
IBM 社が開発したパーソナルコンピュータ（IBM.PC/AT）の互換パソコンに付いた名称です。日本ではDOS/Vパソコンとも言われます。

●ビデオキャプチャー
ビデオ機器で再生した映像を本機に撮り込み、コンピュータ上の画像ファイルに変換したり、そのままプリントしたりできる機能です。

●ファクス転送
ファクスメッセージがメモリーに貯えられると、外出先のファクスに転送させる機能です。

●４ in1
４枚の原稿を縮小し、１枚の用紙にコピーする機能です。

●フォトメディアキャプチャー
メディアカードなどに保存されている画像をデータとして取り込み、本機から直接プリントできる機能です。

●プリンタケーブル
本機とコンピュータを接続するケーブルです。

●プリンタドライバ
アプリケーションソフトウェアのコマンドをプリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェアです。

●Presto!™ PageManager
書類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作ができるソフトウェアです。

●ポーリング通信
受信側のファクス操作で送信側のファクスにセットしてある原稿を自動的に送信させる機能です。

ま

●メディアカード
小型の記憶媒体。デジタルカメラなどで使用されています。

●メモリー送信
ファクス原稿を初めに読み取りそれをメモリーに貯えてから送信する機能です。

●メモリー代行受信
用紙がセットされていないときなど、着信したデータをいったんメモリーに貯えておく機能です。

●メディアドライブ
MFC本体付属のデジタルメディアスロットが外付けリムーバブルディスクドライブとして機能し、データの読み書きが可能です。

や

●USB ケーブル
Universal Serial Bus
「ユニバーサル　シリアル　バス」の略。ハブを介して最大127台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、コンピュータの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

ら

●リアルタイム送信
メモリーに貯えず、原稿を読み取りながら送信する機能です。

●リモート起動
本機に接続された外付け電話機から本機を操作する機能です。

●リモコンアクセス
外出先から本機をリモートコントロールして操作を行う機能です。

●ログオン（ログイン）
コンピュータやシステムでアクセスするときに行なう操作です。

AtoZ

● ADF
自動原稿送り装置。コピーするときに原稿を一枚ずつ入れるのではなく自動的に原稿を本機に送ります。

● Automatic E-mail Printing
E メールを自動的にプリントしたり、定期的に新着メールを確認するソフトウェアです。

● DPI
Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印字できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● DPOF
Digital Print Order Format の略でデジタルカメラの写真印刷を自動化するための統一規格です。

● ECM 通信
Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけ送り直し、画像の乱れのない通信を行います。

● ISDN
NTT が行っている電話線のサービスです。デジタルの回線で 1 回線でコンピュータと電話など 1 度に 2 回線分使うことができます。

● LCD
液晶表示管です。本機ではディスプレイとして使用します。

● MFL-ProJ
本機に付属されているソフトウェア。プリンタドライバやスキャナ機能などをもっています。

● NTSC 方式
日本やアメリカの TV やビデオに使われているカラー方式。ヨーロッパでは PAL 方式を使っています。

● OCR 機能
画像ファイルをテキストファイルに変換する機能です。

● OS
Operating System (オペレーティングシステム) の略で、コンピュータの基本ソフトウェア群です。

● PC
Personal Computer (パーソナルコンピュータ) の略で、個人仕様の一般的なコンピュータです。

● PC/AT 互換機
IBM 社が開発したパーソナルコンピュータ (IBM.PC/AT) の互換パソコンに付いた名称です。日本では DOS/α パソコンとも言われます。

● Presto!™ PageManager
書類や写真のスキャン、シェア、分類などの操作ができるソフトウェアです。

● RCA
端子ケーブル。一般オーディオで使用されている映像と音声の接続用端子です。本機では、映像入力端子 (ビデオキャプチャー) として使用しています。

● TWAIN
Technology Without Any Interested Name の略でイメージスキャナなどの画像入力装置用プロトコルです。

● USB ケーブル
Universal Serial Bus
「ユニバーサル シリアル バス」の略。ハブを介して最大127台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。機器の接続を自動的に認識するプラグアンドプレイ機能や、コンピュータの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● WindowsNT®
Microsoft 社が開発したネットワーク OS です。

● Windows®95/98/Me
Microsoft 社が開発した OS で、それぞれ 95 年、98 年、00 年 (= Millennium edition) に発売されました。

ご注文シート

・消耗品のご注文は、インターネット、フリーダイヤル、FAXにてご注文を承っております。
・FAXにてご注文される場合は下記オーダーシートにご記入の上、お申し込み下さい。
・配送料は、お買い上げ金額の合計が5,000円以上（消費税加算前）の場合は全国無料です。
・5,000円未満の場合は1,000円の配送料を頂きます。（代引き手数料は全国一律無料）
・配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

〈代引き〉・・・・・・・・・・・**ご注文後2〜3営業日後の商品発送**
〈お振込（銀行・郵便）〉・・・・**ご入金確認後2〜3営業日後の商品発送**
　※代金は先払いとなります。
　※振込手数料はお客様負担となります。
〈クレジットカード〉・・・・・**カード番号確認後2〜3営業日後の商品発送**
　※カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせて頂きます。
　　又、弊社からの領収書の発行は致しかねますのでご了承願います。

【ご注文先】

ブラザー販売(株)情報機器事業部ダイレクトclub
インターネット　:　http://www.brother.co.jp/direct/
FAX　:　052-825-0311
フリーダイヤル　:　0120-118-825（土・日・祝日、長期休暇を除く9時〜17時）
振込先　:　口座名義：ブラザー販売株式会社
銀行：さくら銀行　上前津支店　普通　6428357
郵便：振り込み番号　00860 - 1 - 27600

〈キリトリ線〉

お客様ご住所〒

お名前　　TEL　　FAX

お支払い方法　銀行振込・郵便振込・代引き・カード
カード種類　①VISA ②JCB ③UC ④DINERS ⑤CF ⑥Master ⑦JACCS

カードNo.

カード名義人名　　有効期限　年　月

品　名	部品コード	単価（税別）	ご注文数	金　額
インクカートリッジ　黒　（LC50BK）	8XC301 - 00104	￥2,200		
インクカートリッジ　シアン　（LC50C）	8XC302 - 00104	￥1,300		
インクカートリッジ　マゼンタ　（LC50M）	8XC302 - 00204	￥1,300		
インクカートリッジ　イエロー　（LC50Y）	8XC302 - 00304	￥1,300		
ハイクオリティーコート紙　200枚（BP-72CA）	58XW02 - 00204	￥2,000		
専用光沢紙　20枚　（BP-GLA）	58XW04 - 00104	￥2,000		
		送　料		
		消費税		
		合　計		

（コピーしてお使いください。）

アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。
ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

【お客様MFC-7400J専用お問い合わせ窓口】

フリーダイヤル　TEL:0120ー143410

受付時間　午前10:00～11:45
　　　　　午後1:00～5:00
営業日　　月曜日～金曜日
（土日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます）

【添付ソフトウェア Presto!™ PageManager & MaxReader テクニカルサポート窓口】

ニューソフトジャパン株式会社
ニューソフトカスタマーサポートセンター
TEL:03ー5472ー7008
FAX:03ー5472ー7009
受付時間　午前10:00～12:00
　　　　　午後1:00～5:00
（土日・祝日を除く）
テクニカルサポート　電子メール：support@newsoft.co.jp
ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

【消耗部品のお問い合わせ窓口】

ブラザー販売 (株) 情報機器事業部　ダイレクトClub
〒467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町15ー1
TEL：(052)824ー3410
FAX：(052)825ー0311
インターネット：http://www.brother.co.jp/direct/

・消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。
・万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトClubにて対応させていただきます。
・なお、ご注文の際は、取扱説明書の「FAX消耗品等のご注文について」の注文書にてFAXなどの方法でご注文願います。
（本機のリストプリント機能の消耗品シートをご利用いただき、FAXなどの方法でご注文いただくこともできます。）

brother

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が本製品に適切でないおそれがあります。
海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。

LE3754047③
Printed in Malaysia